

平成27年度
広島県立美術館年報

平成27年度
広島県立美術館年報



目 次

I. 沿革	2
II. 展覧会	
展覧会一覧	4
特別展	
1. スペイン・リアリズム絵画の異才 磯江毅	5
-広島への遺言-展	
2. 生誕80周年記念 藤子・F・不二雄展	8
3. 広島・長崎 被爆70周年 戦争と平和展	11
4. 浮世絵師 歌川国芳展	16
5. 京都市美術館名品展	
うるわしの京都 あこがれの美	19
6. 北斎の富士 富嶽三十六景と富嶽百景	21
7. 第62回日本伝統工芸展広島展	24
所蔵作品展(HPAMコレクション展)	28
III. 普及活動	
1. 第3回新県美展(第67回広島県美術展)	42
2. 第4回広島県ジュニア美術展	43
3. 博物館実習	45
4. 学校、地域との連携事業	
美術作品鑑賞教室	46
5. 新規作成ワークシート・リスト	49
6. 学校等による利用状況	50
7. 県民ギャラリー利用状況	51
8. 友の会事業報告	54
IV. 事業実施状況	57
V. 業務一覧	65
VI. 入館者数一覧	74
VII. 美術品等収集状況	76
VIII. 美術品等の貸出し	82
IX. 関係法規	84
X. 名簿	95

I 沿革

昭和31年	美術館建設の募金運動はじまる	昭和53年 10月	開館10周年記念展開催
昭和38年 4月	調査費計上	昭和54年 3月	開館10周年記念「広島県立美術館所蔵作品集」発刊
昭和39年 4月	設計委託料計上		
10月	建設促進委員会開催	12月	収蔵庫拡張工事着工
昭和40年 4月	整地費など計上	昭和55年 2月	収蔵庫拡張工事完了
昭和41年 5月	文部省社会教育施設整備費補助金の交付内定	4月	定宗一宏館長(非常勤)任命
12月	建設募金委員会発足		広島県立美術館条例一部改正(昭和55年広島県条例第19号)施設使用料
昭和42年 1月	起工式挙行	10月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和55年広島県教育委員会規則第10号)
昭和43年 3月	旧館竣工	昭和56年 4月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和56年広島県教育委員会規則第5号)課の名称変更・入館料の免除
4月	広島県立美術館条例施行(昭和43年広島県条例第20号)		広島県立美術館美術品等取得基金条例施行(昭和56年広島県条例第5号 基金額1億円)
	広島県立美術館管理運営規則施行(昭和43年広島県教育委員会規則第1号)	10月	広島県美術品等取得基金運用規定制定
	加藤豊館長(常勤)任命		美術品等収集委員会設置要領制定
6月	広島県立美術館協議会条例施行(昭和43年広島県条例第38号)	昭和57年 3月	定宗館長辞職
7月	広島県立美術館協力会結成	4月	広島県立美術館条例一部改正(昭和57年広島県条例第10号)入館料・施設使用料
9月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和43年広島県教育委員会規則第13号)分掌事務		阿川静明館長(非常勤)任命
21日	落成式挙行	9月	縮景園窓口入園窓口を設置
22日	旧館開館	昭和60年 3月	阿川館長辞職
10月	広島県立美術館美術品収集要領制定	4月	赤木博典館長(常勤)任命
12月	広島県立美術館展示施設運営要領制定	昭和61年 10月	事務局職員による県立美術館整備計画検討会議を設置
昭和44年 4月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和44年広島県教育委員会規則第2号)職員の職・職員の仕事	昭和62年 2月	渋谷文庫開設
	館蔵品常設展開設	3月	県立美術館整備計画検討会議、整備構想案をまとめる
昭和46年 4月	宮地貫一館長事務取扱任命		赤木館長辞職
昭和47年 1月	広島県立美術館友の会発足	4月	吉岡典成館長(兼務)任命
5月	浜本正弘館長事務取扱任命	11月	県教育委員会、広島県立美術館整備構想検討委員会を設置、委員8名を委嘱
6月	佐々木司郎館長事務取扱任命	昭和63年 4月	菅川健二館長(兼務)任命
8月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和47年広島県教育委員会規則第11号)職員の仕事		広島県立美術館条例一部改正(昭和63年広島県条例第7号)入館料・施設使用料
	羽白幸雄館長(非常勤)任命		広島県立美術館美術品等取得基金、1億円を増額(基金額2億円)
11月	開館5周年記念「広島県立美術館所蔵作品集」発刊	11月	広島県立美術館整備構想検討委員会、整備構想をまとめ県教育委員会に答申
昭和48年 6月	広島県立美術館条例一部改正(昭和48年広島県条例第30号)	平成元年 3月	さところ文庫開設
	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和48年広島県教育委員会規則第14号)補助職員の仕事及び職務	5月	広島県立美術館整備基金計画検討委員会を設置、委員14名を委嘱(座長 橋口収県商工会議所連合会会長)
10月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和48年広島県教育委員会規則第19号)職員の仕事	7月	広島県立美術館美術品等収集評価委員会を設置、委員6名を委嘱
昭和49年 3月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和49年広島県教育委員会規則第4号)その他の職員の仕事	平成2年 4月	広島県立美術館美術品など取得基金、5億円を増額(基金額7億円)
昭和50年 4月	広島県立美術館条例一部改正(昭和50年広島県条例第25号)施設使用料	12月	知事、県議会本会議において「新美術館は隣接する縮景園の景観を損なうことなく、両施設の一体化を図った文化ゾーンの一環として一体的に整備する必要がある」と答弁
昭和51年 4月	広島県立美術館条例一部改正(昭和51年広島県条例第9号)入館料	平成3年 2月	知事、県議会本会議において「基金設計に着手する」ことを提案
昭和52年 2月	広島県美術展開催運営規則施行(昭和52年広島県教育委員会規則第2号)	3月	県議会、平成3年度予算案(基本設計予算)

	を可決		年 広島県教育委員会規則第7号)入館料の減免
	広島県立美術館整備基本計画をまとめる	12月20日	平山郁夫名誉館長辞任
4月	美術品等特別収集に着手	平成14年 3月25日	広島県立美術館条例一部改正(平成14年 広島県条例第18号)小・中・高校生の無料化
	広島県立美術館美術品等取得基金、3億円を増額(基金額10億円)	4月1日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成14年 広島県教育委員会規則第10号)開館時間の変更
平成4年 7月	施設利用業務休止。館蔵品常設展示室休室	平成16年 7月1日	関靖直館長(兼務)就任
9月	閉館記念式典挙行	平成17年 12月20日	広島県立美術館条例一部改正(平成17年 広島県条例第57号) 展示施設等の利用許可の条件、取消し等及び制限
10月	事務所を広島市西区観音新町四丁目9-43に移転、仮事務所とする		広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成17年 広島県教育委員会規則第16号)開館時間表記の改正及び条例改正に伴う改正
	旧県立図書館及び旧県立美術館の解体工事に着手	平成19年 4月1日	榎田好一館長(兼務)就任
	広島県立美術館美術品等取得基金、10億円を増額(基金額20億円)	6月18日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成19年 広島県教育委員会規則第9号)休館日の変更及び条例改正に伴う改正
平成5年 3月	解体工事、整地完了	12月25日	広島県立美術館条例一部改正(平成19年 広島県条例第56号)学校教育法等の一部改正に伴う改正
	新館建設工事安全祈願祭が挙行され、工事に着手	平成20年 4月1日	指定管理者制度導入
4月	久保信保館長(兼務)任命	平成21年 4月1日	所管先が広島県教育委員会生涯学習部文化課から広島県環境県民局総務管理部文化芸術課へ移行
12月	寺脇研館長(兼務)任命		広島県立美術館の入館料に関する規則施行(平成21年 広島県規則第33号)
	広島県立美術館美術品等取得基金、10億円を増額(基金額30億円)		広島県美術館展開催運営規則(平成21年 広島県規則第34号)
平成6年 5月	事務所を西区観音新町から広島市中区八丁堀3-2 幟会館(2階)に移転	平成21年 12月1日	藤田雄山館長(兼務)就任
	広島県立美術館美術品等取得基金、10億円を増額(基金額40億円)	平成22年 4月1日	平田光章館長(兼務)就任
平成7年 4月	常廣泰登館長(専任)任命	6月1日	抹香尊文館長(兼務)就任
	広島県立美術館美術品等取得基金、5億円を増額(基金額45億円)	28日	広島県美術館等取得基金条例を廃止する条例の施行(平成22年 広島県条例第22号)
12月	新館竣工		広島県立美術館条例一部改正(平成22年 広島県条例第31号)施設使用料額の下限撤廃に伴う改正
平成8年 1月	新館鍵引渡し式を挙行	平成23年 4月1日	越智裕二郎館長就任
	事務所を新館に移転	6月29日	広島県立美術館評価委員会設置
4月1日	木曾功館長(兼務)就任	7月11日	広島県立美術館条例一部改正(平成23年 広島県条例第31号)指定管理者による管理、入館料の納付等および減免、利用料金の納付等・減免及び収入
7月1日	平山郁夫名誉館長就任	平成25年 2月18日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成25年 教育委員会規則第1号)講堂の利用申込期間の変更
5日	広島県立美術館条例施行(平成8年 広島県条例第16号)入館料・施設使用料	3月14日	広島県立美術館の特別展の観覧に係る入館料に関する規則一部改正(平成24年 広島県規則第13号)広島県立美術館条例一部改正に伴う改正
22日	広島県立美術館管理運営規則一部改定(平成8年 広島県教育委員会規則第9号)施設使用料	平成26年 3月26日	広島県立美術館条例施行(平成26年 広島県条例第17号、第23号)入館料・施設使用料及び開館時間
10月5日	新館開館記念式挙行	平成27年 3月16日	広島県立美術館条例一部改正(平成27年 広島県条例第3号)展示施設等の利用料金の減免
6日	新館開館	4月1日	千足伸行館長就任
	広島県立美術館美術品等取得基金、5億円を増額(基金額50億円)	平成28年 3月22日	広島県立美術館条例一部改正(平成28年 広島県条例第7号)入館料・利用料金の減免、所蔵作品展の利用料金の範囲
平成9年 3月26日	広島県立美術館条例施行(平成9年 広島県条例第3号)入館料・施設使用料		
4月1日	広島県立美術館管理運営規則(平成9年 広島県教育委員会規則第6号)全面改定		
平成10年 3月24日	広島県立美術館条例施行(平成10年 広島県条例第5号)入館料等の納付		
	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成10年 広島県教育委員会規則第4号)		
7月1日	辰野裕一館長(兼務)就任		
平成12年 2月1日	広島県立美術館美術品等収集評価委員会設置要領一部改正		
平成13年 3月26日	広島県博物館協議会条例施行(平成13年 広島県条例第3号)広島県美術館協議会条例廃止		
29日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成12年 広島県教育委員会規則第5号)入館料等の減免		
7月10日	常盤豊館長(兼務)就任		
10月22日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成13		

Ⅱ 展覧会

展覧会一覧

特別展

No.	展覧会名	会期
1	スペイン・リアリズム絵画の異才 磯江毅 - 広島への遺言 - 展	平成27年3月25日(水)～5月24日(日)
2	生誕80周年記念 藤子・F・不二雄展	平成27年7月18日(土)～9月6日(日)
3	広島・長崎 被爆70周年 戦争と平和展	平成27年7月25日(土)～9月13日(日)
4	浮世絵師 歌川国芳展	平成27年9月11日(金)～10月18日(日)
5	京都市美術館名品展 うるわしの京都 あこがれの美	平成27年10月31日(土)～12月23日(水)
6	北斎の富士 富嶽三十六景と富嶽百景	平成28年1月2日(土)～2月14日(日)
7	第62回日本伝統工芸展広島展	平成28年2月24日(水)～3月13日(日)

所蔵作品展(HPAMコレクション展)

	展覧会名	会期		
第1期	彫刻展示 スペース	磯江毅展開催記念展示 驚くべき「技と美」		
	第1室			
	第2室			
	第3室			
	第4室			
第2期	第4室	戦争と平和展開催記念展示 日本とアジア の工芸作品 - つながる心 平和の礎	平成27年7月4日(土)～9月27日(日)	
第3期	第1室	京都市美術館名品展開催記念展示 美の競演 - 京都の美へのオマージュ	平成27年9月20日(日)～平成28年1月6日(水)	
	第2室			
	第3室			
	彫刻展示 スペース			
	第4室			新しい仲間たちを紹介！ - 平成26年度に収集した作品を中心に
第4期	彫刻展示 スペース	形と彩の前衛 - 高橋秀を中心に	平成28年1月10日(日)～4月10日(日)	
	第1室			
	第2室			
	第3室			北斎の富士展開催記念展示 絶景かな絶景かな
	第4室			

1 スペイン・リアリズム絵画の異才 磯江毅 —広島への遺言—展

会 期／平成27年3月25日(水)～5月24日(日)
主 催／広島県立美術館、株式会社広島ホームテレビ、
中国新聞社
後 援／中国放送、広島テレビ放送、テレビ新広島、
広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、
エフエムふくやま、尾道エフエム放送、
FMはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7
協 賛／広島県信用組合
企画協力／彩鳳堂画廊
入 館 料／一 般 1,200(1,000)円
高・大学生 900(700)円
小・中学生 600(400)円
※()内：前売・20名以上の団体料金
入館者数／20,820人(61日間)



リアリズム絵画に鮮烈な足跡を残した磯江毅(1954～2007)は大阪に生まれ、20歳で単身、スペインに渡り30年余りの永きにわたり、油彩による写実絵画を探究した。やがて、スペイン・リアリズム絵画の重要な作家の一人として認められ、巨匠アントニオ・ロペス・ガリシアからも高い評価を受けた。

1996年からは創作活動の場を日本にも拡げ、意欲的に制作に取り組んだ。2005年には広島市立大学芸術学部教授として後進の育成に当たり、広島美術界にも多大な影響を与えるなど、創作、教育、それぞれの面で更なる活躍が期待されたが、2007年、53歳の若さで世を去った。

彼のリアリズム表現は、人物や静物の細部まで深く入り込んで具象的に描ききることにとどまらない。東洋的な哲学を背景とする、視覚の揺らぎさえ記録しようとする表現は、現実世界が内包する神秘性、さらには崇高さすら感じさせる。

本展は、磯江の初期から絶作までの代表作約100点を一堂に集め、彼の藝術の軌跡をたどるとともに、その稀有な画業を紹介した。(本展担当者：角田 新)

関連事業

- (1) 講演会 「磯江毅 —スペイン・リアリズムを超えて—」
日 時：4月11日(土) 13:30～15:00
講 師：木下 亮(昭和女子大学大学院生活機構研究科教授)
共 催：広島県立美術館友の会
参加者：136人

- (2) ワークショップ「ちょっと磯江体験」
日 時：5月10日 13:30～15:30
講 師：森永 昌司(広島市立大学准教授)
参加者：22人

- (3) ギャラリートーク
日 時：3月27日(金)、4月3日(金)、4月10日(金)、4月17日(金)、4月24日(金)、5月1日(金)、
5月8日(金)、5月15日(金)、5月22日(金) 各11:00～
3月27日(金)、4月10日(金)、4月24日(金)、5月8日(金)、5月22日(金) 各18:00～
参加者：計425人



- (4) ウェブレポーター大募集
日 時：3月27日(金) 17:00～18:30
参加者：14人

主要関連番組

広島ホームテレビ

3～5分のミニ番組「磯江毅の世界」全8話を制作し放送(3/30、4/4、4/6、4/13、4/18、4/20)
4/25 11:45～ニュース「スペインフェア」
5/4 11:42～ニュース(16:49～)「1万人セレモニー」

主要関連記事

(1) 新聞

中国新聞 記事：3/22 特集紙面、3/24 夕刊掲載、3/25 朝刊掲載、4/3 事業PR
愛媛新聞
朝日新聞 (イベントナビ)／4/3
読売新聞 (福岡版)／4/9
聖教新聞 4/4

(2) 雑誌等

美術の窓「2015年必見の展覧会ベスト200」、
不動産ニュース／4月、一枚の繪4月号、
月刊ギャラリー3月号、つくりびと32号／3月、
TJ Hiroshima 4月号、
ザ・ウィークリー・プレスネット「あーと散歩」3月号、
Wink 4月号、月刊美術／3/20、月刊くれえばん4月号、
アートコレクターズ4月号、月刊タウン情報トライアングル4月号、
arch 4月号
L'ala Pado、ウェンディ広島4月号、
GetHiroshima、CHIC (シック) Vol.19、
ホットペッパー4月号、to-you

その他

RCCタウンdポン

タブロイド誌

広島リビング新聞／3/28／広島リビング新聞社
会報誌

広島県医師会速報(第2228号)／3/25／広島県医師会

(3) ウェブ

Dokka! おでかけ探検隊／4月～、チラシミュージアム、
わくわくつくログ!、ミニナルアート、
ひろしまナビゲーター、Walkerplus、インターネットミュージアム、net TAM
イベント情報(イベスタ)、イベントぷらぷら、いこーよ、こどものための博物館情報、あそぼうcom、
ことさが、全国イベントガイド、イベントナビ、eventcast、
ブンカッキーネットひろしま、ESJAPON (エスハポン)、まいぶれ広島、JAPAN PORTAL／3/20



カタログ内容

『深い眠り』羽鳥書店、2015年(図録扱いで先行発売)

真の写実を求めて 磯江毅

写実という自由 今福龍太

言葉たちをあつめて 諏訪敦

スペインでの濃密な時間

現実へのこだわり 肉眼が捉えた絵画の記憶

深い眠り-磯江毅の光跡 山本浩二

写実考 磯江毅

作品コメント

略年譜

作品一覧

参考文献



2 生誕80周年記念 藤子・F・不二雄展 FUJIKO・F・FUJIO 80th ANNIVERSARY EXHIBITION

会 期／平成27(2015)年7月18日(土)～9月6日(日)

51日間 会期中無休

主 催／広島県立美術館、広島ホームテレビ、イズミテクノ、
テレビ朝日、中国新聞社

後 援／広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、
広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、
エフエムふくやま、尾道エフエム放送、
FMはつかいち76.1MHz

特別協賛／にしき堂

協 賛／広島県信用組合、JAバンク広島、イズミ・ゆめタウン、
広島電鉄、三井不動産

特別協力／藤子プロ／川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム

企画・制作／生誕80周年記念「藤子・F・不二雄展」制作委員会

(藤子プロ、小学館、テレビ朝日、シンエイ動画、
アサツーディ・ケイ、小学館集英社プロダクション、乃村工藝社)

入 館 料／一 般：1,200(1,000)円

高・大学生：1,000(800)円

小・中学生： 600(400)円

※()内は前売り・20人以上の団体料金

入館者数／111,934人(51日間)



ドラえもんやパーマンなど数々の人気キャラクターを生み出し、こどもたちのためにSF(すこしふしぎ)な物語を描き続けた藤子・F・不二雄。展覧会では、原画や少年時代に藤子不二雄[Ⓐ]と手描きで制作した自作まんが冊子『少太陽』をはじめ、室内型4Dプロジェクションマッピングを体感できる「SFシアター」、体験型フォトスポット「なりきりキャラひろば」など、様々な角度から藤子・F・不二雄の世界を紹介した。子どもから大人まで、幅広い世代がそれぞれのアプローチで楽しめることから、展覧会は好評を得て、予想を超える入館者を迎えることができた。また、構成上、最初に「SFシアター」が設けられたことが、混雑の要因となった。(本展担当者：石川 哲子)

関連事業

(1) 握手会(ドラえもん、パーマン、オバケのQ太郎との握手会)

ドラえもん 7月18日(土)・25日(土)、8月12日(水)

パーマン 7月19日(日)・26日(日)、8月29日(土)

オバケのQ太郎 7月20日(祝)、8月11日(火)・30日(日)

各日①9:30 ②11:30 ③15:00～

(※ 7月18日・25日は②11:30と ③15:00の回のみ)

各回先着50名

- (2) ウェブレポーター大募集
7月24日(金) 17:00-19:30
受付場所: 3Fロビー
参加者: 26名

主要関連番組等

- (1) テレビ
広島ホームテレビ ニュース(開会式) 7月18日
広島ホームテレビ 「アートフルな夏」イベント告知 8月6日
広島ホームテレビ 「Jステーション」 8月7日
広島ホームテレビ 「アートフルな夏」イベント告知 8月8日
- (2) ラジオ
FMふくやま イブニングステーション「ふれあいネットワーク」 7月24日
FM尾道 「ユウガッタ・レイディオ」 7月28日

主要関連記事

- (1) 新聞
中国新聞 社告 5月16日
中国新聞 ちゅーピー子ども新聞 7月5日
中国新聞 展覧会開幕 7月19日
中国新聞 イベントナビ 7月24日
中国新聞SELECT イベントナビ 7月25日
中国新聞 「ミュージアムで会いましょう」 7月25日
中国新聞 「どこでもみじ」 7月28日
中国新聞 5万人セレモニー 8月15日
中国新聞 「ハイどこでもみじ」 8月18日

- (2) 雑誌、フリーペーパー等

『旅の手帖』7月号、(株)交通新聞社/『7ぴあ』6月号、株式会社セブンドリーム・ドットコム/
『JAFMATE』7月号、一般社団法人 日本自動車連盟広島支部/『MFBドラえもん』5/2、株式会社小学館集英社プロダクション/『GetHiroshima』、GetHiroshima/『まいんど』、日本フルハップ/『arch』、アートコレクションハウス/『福利ひろしま』Vol.274、平成27年6月号、公立学校共済組合広島支部/『Lamp(ランプ)』5月号、株式会社プレスシード/『ウェンディ広島』7月号、ウェンディ広島編集部/『TJHiroshima』7月号、産興株式会社/『ザ・マイカー 8月号』、株式会社GOOD SPEED/『CAR and DRIVER』8月号、株式会社 カー・アンド・ドライバー/『7ぴあ』7月号、株式会社セブンドリーム・ドットコム/『Cue』6/12号、メディア中国/『Wink』7月号、広島版6/23・備後版6/25発売、株式会社アスコン/『JAF PLUS』8・9月号、一般社団法人 日本自動車連盟広島支部/『トライアングル』7月号、株式会社ふじたプリント社/フリーペーパー『lalaぱど』(株)エルネット 広島営業所/フリーペーパー『かわら版』、縮景園/『つくりびと』Vol.36、株式会社国民みらい出版/『美術の窓』8月号、株式会社生活の友社/『経済春秋』7月号、春秋社/『色絵馬』7月号、通巻72号、広島県立美術館友の会/『くれえばん』8月号、(株)クレ・マスメディア・スタディオ

- (3) Web

ニュースポータルサイト「マイナビニュース」、シマダデザインオフィス/「JAPAN PORTAL」、共同通信社/広島ものづくりポータルサイト「TECRE(テクレ)」、広島県庁/「ホルベインアーチストナビ」、ホルベイン「ひろしまナビゲーター」、公益財団法人 広島観光コンベンションビューロ/「わくわくつくログ!」、NPOひろしまインターネット美術館/「ミニナルアート」、株式会社イーエム/「トレたび」、(株)交通新聞社/「JAPAN PORTAL」、共同通信社/「Walkerplus」、株式会社KADOKAWA(写真工房アンセル)/「ブンカッキーネット」7/15、公益財団法人ひろしま文化振興財団



(4) その他

セブン-イレブン店内掲示のマルチコピー機販促物 POP 6月号、株式会社セブンドリーム・ドットコム／新型マルチコピー機のおすすめボタン、6/1 - 6/30、セブンドリーム・ドットコム

広告

(1) テレビ(スポット) 広島ホームテレビ

5/17～ スポット15秒・30秒

5/17～ 天気フィラー30秒・60秒

5/25～ 番組内(Jステーション等) POP

(2) 新聞広告

中国新聞 5/17～ 半5段、半3段、全3段広告

カタログ内容

藤子・F・不二雄まんがヒストリー

Fまんが展示作品ガイド

大長編ドラえもん のび太の恐竜

SF短編

藤子・F・不二雄キャラクター&作品

藤子まんがのはじまり「少太陽」

藤子・F・不二雄作品と東京タワー

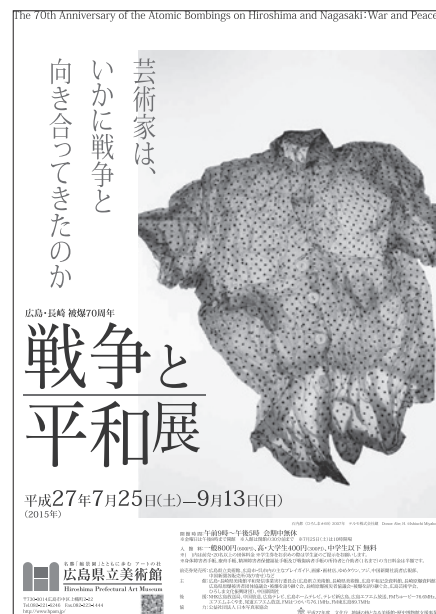
DORAEMON&SECRET GADGETS

[ふろく]飛び出す1コマ[未来の国からはるばると]



3 広島・長崎 被爆70周年 戦争と平和展

- 会 期／平成27(2015)年7月25日(土)～9月13日(日)
- 主 催／広島・長崎県美術館平和発信事業実行委員会
(広島県立美術館、長崎県美術館、広島平和記念資料館、
長崎原爆資料館、広島県原爆被害者団体協議会・被爆
を語り継ぐ会、長崎原爆被災者協議会・被爆を語り
継ぐ会、広島芸術学会、ひろしま文化振興財団)、
中国新聞社
- 後 援／NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、
広島ホームテレビ、広島エフエム放送、
FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、
尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz、
FM東広島89.7MHz
- 協 力／公益社団法人 日本写真家協会
- 助 成／文化庁 平成27年度 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業
- 入 館 料／一 般 800(600)円
高・大学生 400(300)円
中学生以下無料
※()内は前売・20人以上の団体料金
- 入館者数／8,267人(51日間)



被爆70周年を迎える2015年、広島・長崎の両県立美術館が協働し、両館のコレクションと国内の美術館・大学等の所蔵品を通じて、戦争の惨禍と、その対極にある恒久平和への希求を照らし出す展覧会を開催。戦争を大規模化・総力戦化し、近代戦争へと変容させた19世紀のナポレオン戦争を始点として、20世紀の2つの世界大戦を取り上げ、美術は戦争をどのように描いたのか、広島と長崎の悲劇と祈りはどのように表象され続けてきたのか、今日までの歴史を約200点の作品を通して紹介しました。

(本展担当者：山下 寿水)

関連事業

- (1) 被爆手記朗読劇「夏の雲は忘れない」
日 時：7月25日(土) 15：00～16：15
公 演：夏の会
会 場：地下講堂
聴講者：65人
- (2) 記念講演会「描かれた戦争：ナポレオン時代を中心として」
日 時：7月26日(日) 13：30～15：00
講 師：千足 伸行(広島県立美術館長)
会 場：地下講堂
聴講者：68人



- (3) シンポジウム「戦争画と『原爆の図』をめぐって－その政治性と芸術性の問題－」
 日 時：8月1日(土) 14:30～16:30
 講 師：平瀬 礼太(美術史家)、岡村 幸宣(原爆の図丸木美術館学芸員)、大井 健地(広島市立大学名誉教授)、
 西原 大輔(広島大学大学院教授)
 共 催：広島芸術学会
 会 場：地下講堂
 参加者：82人
- (4) 記念講演会「〈戦争の世紀〉と葛藤する美術－二つの世界大戦とその狭間で」
 日 時：8月2日(日) 13:30～15:00
 講 師：河本 真理(本展学術協力者、日本女子大学教授)
 共 催：広島県立美術館友の会
 会 場：地下講堂
 参加者：67人
- (5) キッズゲルニカ・ワークショップ
 日 時：8月10日(月) 10:00～16:00
 講 師：加藤 宇章(アトリエばお代表)
 共 催：広島芸術学会
 会 場：地下講堂
 参加者：23人
 ※ワークショップ成果物は、8月12日(水)～22日(土)まで地下ロビーに展示。
- (6) 特別セミナー「戦時中のファッションを考える」
 日 時：8月16日(日) 13:30～15:00
 講 師：津島由里子(安田女子大学非常勤講師)
 協 力：石田あさきトータルファッション専門学校
 会 場：地下講堂
 参加者：32人
- (7) シンポジウム「〈現代〉戦争の表象－絵画／写真／文学が交差する戦場」
 日 時：8月23日(日) 13:30～16:30
 講 師：河本 真理(本展学術協力者、日本女子大学教授)、飛嶋 隆信(東京農工大学准教授)、
 久保 昭博(関西学院大学准教授)、山下 寿水(本展担当学芸員)
 会 場：地下講堂
 参加者：35人
- (8) 美術講座「国内外の展覧会から見る美術と戦争」
 日 時：9月5日(土) 13:30～14:30
 講 師：山下 寿水(本展担当学芸員)
 会 場：地下講堂
 参加者：35人
- (9) 被爆体験継承講話「平和の語り部」
 日 時：8月7日(金)・21日(金)、9月4日(金) 各日11:00～11:45
 講 師：被爆を語り継ぐ会
 会 場：1階ロビー
 参加者：計65人
- (10) ギャラリートーク
 日 時：7月31日(金)、8月14日(金)・28日(金)、9月11日(金) 各日11:00～11:45
 講 師：山下 寿水(当館学芸員)
 会 場：2階展示室
 参加者：計57人
- (11) ウェブ・レポーター募集
 日 時：7月31日(金) 17:00～19:30
 会 場：2階展示室内
 対 象：ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックにて情報発信をされている一般の方
 参加者：4人

主要関連番組

(1) テレビ

- 7/21 広島テレビ「テレビ派」
- 7/31 NHK広島放送局「おはようひろしま」
- 8/2 NHK「日曜美術館アートシーン」
- 8/7 広島テレビ「テレビ派ランチ」

(2) ラジオ

- 7/28 エフエムはつかいち「昼はまるごと！761」
- 8/4 エフエム尾道「You Gotta Radio」
- 8/6 エフエムはつかいち「いきいきFactory」
- 8/14 エフエムふくやま「GO！GO！Bびんご〜」



主要関連記事

(1) 中国新聞

- 5/30 戦争と平和展《あす前売り券発売》
- 6/12 原爆・戦争テーマ展覧会相次ぐ
- 7/21 広島・長崎 被爆70周年戦争と平和展 芸術家の視線の先は
- 7/21 あれこれ キッズゲルニカ・ワークショップ
- 7/22 ふれあいプレゼント 戦争と平和 芸術家の視線
- 7/24 美術散歩被爆の記憶 布に織り込む(竹田信平氏関連記事)
- 7/26 芸術家が問う「戦争と平和」
- 7/26 WEEKLY SHOT「戦争と平和展」が開幕(中国新聞セレクト)
- 7/31 中国新聞イベントナビ 芸術にみる戦争と平和
- 8/29 政治性・芸術性 どう判断 戦争画と「原爆の図」テーマ広島でシンポ
- 9/5 「広島・長崎被爆70周年 戦争と平和展」に寄せて(担当学芸員寄稿)
- 9/9 芸術と政治危うさ検証を美術史家平瀬礼太さん
- 9/18 戦闘と美術 戦後70年の潮流 中 ヒロシマ 苦悩の点描 見る者圧倒(中国新聞セレクト)
- 9/19 戦争と美術 戦後70年の潮流 下 若い世代 記憶の継承 続ける模索(中国新聞セレクト)

(2) その他新聞

- 2/7 朝日新聞／被爆70年 長崎と企画展
- 2/7 読売新聞／広島・長崎 共同の原爆展
- 2/8 産経新聞／長崎と協力「被爆70年」展
- 4/23 毎日新聞／画家と戦争
- 6/26 朝日新聞／広島・長崎 被爆70周年 戦争と平和展
- 7/1 公明新聞／広島・長崎 被爆70周年 戦争と平和展
- 7/16 ビジネス朝日／ひろしまアートめぐり 広島県立美術館 特別展
- 7/24 愛媛新聞／展覧会紹介
- 7/25 聖教新聞／美術館 被爆70年「戦争と平和展」
- 7/26 読売新聞／編集手帳
- 7/26 読売新聞／「戦争と平和」画家たちの思い
- 7/30 四国新聞／展覧会紹介
- 7/31 朝日新聞／戦争と美術 広島で問う
- 8/3 産経新聞／芸術が描いた戦争170点 県立美術館で被爆70年展
- 8/6 山陽新聞／展覧会紹介
- 8/10 読売新聞／文化をつなぐ戦後70年美術 未来へ願い託した「斉唱」
- 8/12 北海道新聞／プロパガンダあり 反戦ありの200点
- 8/13 山陽新聞／展覧会紹介

8/21 毎日新聞／戦争と平和展
8/23 読売新聞／語りたい伝えたいヒロシマ433 県立美術館学芸員山下寿水さん
8/27 毎日新聞／毎日美術館 未曾有の惨状 記憶継承へ広島・長崎 被爆70周年 戦争と平和展
8/27 産経新聞／画家の遺品に宿る歴史(石内都氏関連記事)
9/ 1 毎日新聞／広島の今 切り取る(三田村陽氏関連記事)
9/ 3 読売新聞／展覧会に見る戦争と美術 憂い、悲しみ……渦巻く表現
9/10 毎日新聞／原爆テーマに生死表現 県立美術館「マンガラ」写真鑑賞会

(3) 雑誌等掲載

『70年目の広島の旅』広島市経済観光局 観光政策部
『Lamp』2015年5月号、プレスシード
『arch』2015年6月号、アートコレクションハウス
『Cue』2015年6月12日号、メディア中国
『CHIC』2015年6月15日号、トマトコーポレーション
『ウエンディ広島』2015年7月号、合人社グループ出版部
『ギャラリー』2015年7月号、ギャラリーステーション
『月刊 経済春秋』2015年7月号、春秋社
『JAFMATE』2015年7月号、日本自動車連盟広島支部
『色絵馬』2015年7月10日号、広島県立美術館友の会
『週刊読書人』2015年7月17日号、読書人
『新美術新聞』2015年7月21日号、美術年鑑社
『Day Art』2015年7月31日号、パブリック・ブレイン
『美術の窓』2015年8月号、生活の友社
『月刊美術』2015年8月号、サン・アート
『Wink』2015年8月号、アスコン
『TJ Hiroshima』2015年8月号、産興
『to you』2015年8月号、広島市文化財団文化事業部事業課
『lalaぼど』2015年8月号、エルネット広島営業所
『美術手帖』2015年8月号、美術出版社
『広響第351回定期演奏会プログラム』公益財団法人広島交響楽協会
『美じょん新報』2015年8月1日号、ビジョン企画出版社
『進研ゼミ』2015年8月号「小6 未来！発見BOOK」、ベネッセコーポレーション
『月刊 書道界』2015年8月号、藤樹社
『Cue』2015年8月7日号、中国新聞社
『広島芸術学会会報』2015年8月28日号、広島芸術学会事務局
『JAF MATE』2015 8・9月号、JAF MATE
『美術手帖』2015年9月号、美術出版社
『ザ・マイカー』2015年9月号、GOOD SPEED
『思想運動』2015年9月1日号、小川町企画

(4) ウェブ

『KATYCOM』(今見られる全国の展覧会100)ケイティコム、「トレたび」交通新聞社、「ひろしまナビゲーター」広島観光コンベンションビューロー、「わくわくつくログ!」NPOひろしまインターネット美術館、「ミニナルアート」イーエム、「Walkerplus」KADOKAWA、「Yahoo! ロコ」協同組合インフォメーションテクノロジー関西、「じゃらんnet」リクルート、「おでかけネット」JR西日本、「旅どきnet」JR東日本、「ブンカッキーネット」ひろしま文化振興財団、「GetHiroshima」GetHiroshima、「広島県ホームページ」広島県、「チラシミュージアム」イープラス

カタログ内容

描かれた戦争と平和——ナポレオン時代を中心として(千足伸行)

〈戦争の世紀〉と葛藤する美術——二つの世界大戦とその狭間で(河本真理)

広島・長崎における希望の表象——生き残るイメージ(山下寿水)

図版) I 総力戦の先触れ——ナポレオン戦争の栄光と悲惨

II 最初の総力戦となる戦争の予感——第一次世界大戦と両大戦間期の美術(1914-1938)

III 史上最大の戦争と破局の表象——第二次世界大戦と美術(1939-1945)

IV 被爆70年——広島・長崎に残された記憶のかたち(1945-)

Commentary on Chapters

Images of War and Peace In and Around the Age of Napoleon (Senzoku Nobuyuki)

The “Century of War” and Art in Conflict: The Two World Wars and The Years Between (Komoto Mari)

Surviving Images: Representations of Hope in Hiroshima and Nagasaki (Yamashita Hisana)

主要参考文献

出品目録

巡回先

長崎県美術館 9月20日(日)～10月25日(日)



4 浮世絵師 歌川国芳展

会 期／平成27(2015)年9月11日(金)～10月18日(日)
主 催／広島県立美術館、中国新聞社、中国放送、イズミテクノ
後 援／広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、
広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、
エフエムふくやま、尾道エフエム放送、
FMはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7
協 賛／広島県信用組合、リベラ
企画協力／アートワン
入 館 料／一 般 1,100(900)円
高・大学生 700(500)円
小・中学生 400(200)円
※()内は前売・20人以上の団体料金
入館者数／41,081人(38日間)



歌川国芳(1797-1861)は、幕末の江戸で活動した浮世絵師。近年、その斬新な表現とユーモアにより、国内外で高い評価を得ている。

本展では、中国の歴史小説に登場する英雄を迫力満点に描いた出世作「水滸伝」シリーズや三枚続きのワイド画面に巨大な骸骨や鯨たちがダイナミックに躍動する武者絵。猫や雀、金魚など身近な動物を愛らしく擬人化した戯画に、洋風の遠近法や陰影法を取り入れた風景画など。代表作から希少な肉筆画の里帰り品まで、約200点により、幕末の江戸で喝采を浴びた奇想天外な世界を紹介した。なお本展は全国6会場を巡回したが、広島会場では、前後期各25点の展示替えを実施すると共に、「木曾街道六十九次之内」シリーズのうち12点、「唐土二十四孝」シリーズのうち14点の特別出品を加えた。

(本展担当者：隅川 明宏)

主要関連事業

- (1) 記念講演会「江戸の劇画家 国芳の時代」
日 時：9月12日(土) 13:30～
場 所：地下講堂
講 師：中右 瑛(本展監修者、国際浮世絵学会常任理事)
共 催：広島県立美術館友の会
参加者：155人
- (2) ワークショップ「フィギュアで楽しむ国芳キャラクター」
日 時：10月10日(土) 13:30～
場 所：地下講堂
講 師：松尾真由美(広島市立大学芸術学部講師)
協 力：泉美術館
参加者：22人
- (3) 美術講座「国芳の魅力を探る」
日 時：9月27日(日) 13:30～
場 所：地下講堂
講 師：隅川 明宏
参加者：127人

- (4) 学芸員によるギャラリートーク
 日 時：9月11日を除く金曜日 11：00～(9/18、10/ 2、16) 18：00～(9/25、10/ 9)
 場 所：3階企画展示室
 参加者：計201(54、32、34、38、43)人
- (5) ウェブレポーター大募集！
 日 時：9月11日(金) 18：00～19：30
 場 所：3階ロビー
 参加者：22人

主要関連番組・広告・記事

- (1) ラジオ番組
 8/31(月)：RCCラジオ「伊藤文のらじぼん」(学芸員出演)
 9/12(土)：RCCラジオ「ラジオカー中継」(学芸員出演)
 9/15(火)：RCCラジオ「おひるーな」(学芸員出演)
 9/16(水)：広島FM放送「5 COLORS」(学芸員出演)
 9/23(水)：尾道エフエム放送「You Gotta Radio」(学芸員出演)
 9/26(土)：RCCラジオ「週末ナチュラルリスト」(着物デー)
 10/ 1(木)：FM東広島「和のこころ」(学芸員出演)
 10/ 2(金)：RCCラジオ「バリシャキ」(国芳ふせんプレゼント)
- (2) テレビ番組
 9/11(金)：NHK広島放送局 地域ニュース(開会式)
 9/11(金)：中国放送 地域ニュース(開会式)
 9/22(火・祝)：中国放送「イマなまっ！」
 9/25(金)：中国放送 地域ニュース(1万人)
 9/29(火)：テレビ新広島「満点ママ」(縮景園・展覧会・国芳ランチ紹介、学芸員出演)
 10/14(木)：中国放送 地域ニュース(3万人)
- (3) 新聞記事
 8/23(日)、30(日)、9/ 6(日)：中国新聞 予習シリーズ
 9/ 8(火)：中国新聞 編集特集
 9/12(土)：中国新聞 (開会式)
 9/18(金)：中国新聞 イベントナビ
 9/26(土)：中国新聞 文化面(学芸員寄稿)
 9/26(土)：中国新聞、産経新聞 (来場1万人)
 9/29(火)、10/ 1(木)、2(金)、3(土)、4(日)：中国新聞 連載「奇才の粹」
 10/ 8(木)、9(金)、10(土)、14(水)、15(木)：中国新聞 連載「幕末ポップ」
 10/ 1(木)：毎日新聞 備後面「毎日美術館」(学芸員寄稿)
 10/15(木)：中国新聞 (来場3万人)
- (4) 雑誌等広告・記事
 ア 雑誌等広告・記事
 株式会社good speed 『ザ・マイカー』10月号(8/20発売)
 株式会社アスコン『ウイंक』9月号(広島版8/23・備後版8/25発売)
 株式会社アドプレックス『TJ Hiroshima』9月号(8/25発売)
 春秋社『月刊 経済春秋』9月号(8/25発売)(学芸員寄稿)
 ウェンディ広島編集部『ウェンディ広島』9月号(9/ 1 発売)
 株式会社amico design 『ワイエムレポート』9月号(9/ 1 発売)
 株式会社グリーンブリーズ『Grandeひろしま』秋号(9/ 1 発売)(学芸員寄稿)
 『GetHiroshima』Autumn

『ふえにつくす』9月号

リクルート『ホットベッパー』(9/25発行)

広島県立美術館友の会『色絵馬』73号(10/10発行)(学芸員寄稿)

一般社団法人日本自動車連盟『JAF PLUS』10月号

『博物館研究』9月号

『Get Hiroshima MAG』秋号

『小説推理』10月号(8/27発売)

イ ウェブ

株式会社マイナビ『マイナビニュース』

NPOひろしまインターネット美術館『わくわくつくログ!』

株式会社イーエム『ミニナルアート』

カタログ内容(A4カラー、作品図版200点含む)

江戸の劇画家・国芳私論 中右 瑛

謎解き－国芳の「土蜘蛛の妖怪」 稲垣進一

国芳作品の面白さ 恵 俊彦

図版

第1章 武者絵のはじまり・豪傑・合戦の図

第2章 ヒーローの妖怪退治・怨霊・幽霊

第3章 ダンディ 役者と伊達男

第4章 洒落とユーモア 擬人パロディ(猫・狐・狸など)

第5章 粋のファッション・鉄火肌の女たち

第6章 洋風実験二十四孝・洋風表現の風景画

第7章 歴史物語と忠臣蔵など

第8章 国芳と一門たち

第9章 肉筆

歌川国芳年譜 小池満紀子編

作品目録



展覧会巡回先

鹿児島市立美術館 平成26年3月28日～5月6日

高岡市美術館 平成26年9月9日～10月19日

美術館「えき」KYOTO 平成26年10月24日～11月24日

札幌芸術の森美術館 平成27年4月25日～6月28日

横浜・そごう美術館 平成27年8月1日～8月30日

名古屋・松坂屋美術館 平成27年10月24日～11月23日

「江戸の劇画家 歌川国芳の世界」展より、「浮世絵師 歌川国芳」展に改題しています。

5 京都市美術館名品展 うるわしの京都 あこがれの美

会 期／平成27年10月31日(土)～12月23日(水・祝)
主 催／広島県立美術館、イズミテクノ、中国新聞社
後 援／中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、
テレビ新広島、広島エフエム放送、
FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、
尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz、
FM東広島89.7

協 賛／広島県信用組合、乃村工藝社

特別協力／京都市美術館

入 館 料／一 般：1,100円(900円)
高・大学生： 700円(500円)
小・中学生： 400円(200円)
※()内は前売・団体(20名以上)

入館者数／10,171人(54日間)



1928(昭和3)年に京都で挙行された天皇即位の大典を契機に開設された京都市美術館は、明治以降の京都を中心とした多くの美術・工芸品を収集し、日本近代美術の流れを物語るコレクションを所蔵している。今回の展覧会では京都市美術館所蔵の日本画作品の中から精選した72点の名品を通して、明治・大正・昭和にいたる女性像のさまざまな表現と変遷を紹介した。

(本展担当者：福田 浩子)

関連事業

- (1) 記念講演会「美人画というジャンルの使命とは」

日 時：10月31日(土) 13：30～15：00

講 師：尾崎 真人(京都市美術館学芸課長)

場 所：地下1階講堂

聴講者：66人

- (2) ギャラリートーク

日 時：11月6日、20日、12月4日、18日(金) 11：00～

11月6日(金)、12月11日(金) 17：00～

講 師：福田 浩子(当館主任学芸員)、12月11日は隅川 明宏(当館学芸員)

場 所：3階企画展示室

参加者：計142人

- (3) ワークショップ「カード織りで紐作りを体験しよう！」

日 時：11月7日(土) 10：00～16：00頃(12：00～13：00昼休)

講 師：久保田寛子、佐藤 衣里、平濱あかり(広島市立大学芸術学部TA博士前期課程在籍)

場 所：3階ロビー

参加者：18人

共 催：広島県立美術館友の会



- (4) ワークショップ「はんなり和色吹寄せ」
 日 時：12月12日(土) 13：30～15：30頃
 講 師：松尾真由美(広島市立大学芸術学部講師)
 場 所：地下1階講堂
 参加者：18人
 協 力：泉美術館
- (5) ウェブレポーター大募集
 日 時：11月6日(金) 17：00～18：30
 場 所：3階ロビー・展示室
 参加者：7人
- (6) ロビーコンサート「たおやかな麗人“柳原白蓮”の短歌を歌う」
 日 時：10月31日(土) 12：00～
 出演者：二野宮賀子(ソプラノ)、福政 歩(ピアノ)
 場 所：1階ロビー
 参加者：237人
- (7) アートと私の美味しい時間「ノヴェットと京野菜で楽しむイタリアン」
 日 時：11月6日(金) 17：00～20：45頃
 クイズ出題：福田 浩子(当館主任学芸員)
 参加者：40人



主要関連広報

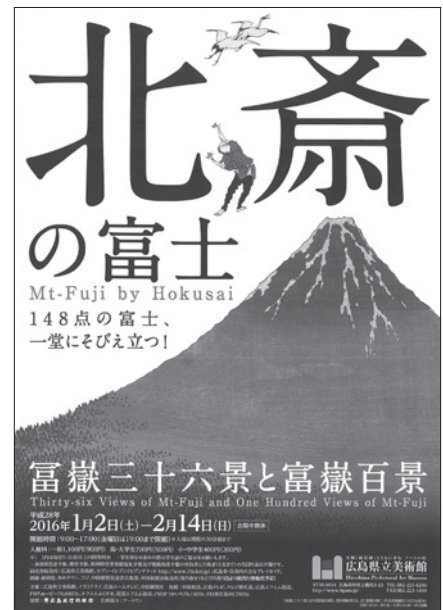
- 中国新聞 8月31日社告、9月11日国芳展抜き刷り広告、10月26日特集紙面、10月28日「ふれあい」、11月13日中国新聞事業PR、11月26日、11月27日、11月28日、12月1日、12月2日作品紹介連載、広告(全3段、半3段、半5段)
- その他ラジオ 11/ 3 展覧会紹介(エフエムおのみち)、11/27展覧会紹介(エフエムふくやま)
- その他テレビ 11/ 1 ニュース(NHK広島放送局)
- その他新聞 11月6日展覧会紹介記事(山陽新聞)、12月10日毎日美術館(寄稿)(毎日新聞 備後面)、展覧会紹介記事『朝日新聞』(朝日新聞)
- その他掲載 『広島県立美術館友の会会報色絵馬』No.73(広島県立美術館友の会)、『サライ』11月号(ウイングダム)、『lalaぱど』(エルネット広島営業所)、『Get Hiroshima』9月号(Get Hiroshima)、『CHIC』9/15(トマトコーポレーション)、『ウエンディ広島』10月号(ウエンディ広島編集部)、『CHIC』9/15(トマトコーポレーション)、『TJHiroshima』11月号(アドプレックス)、『Wink』11月号広島版、備後版アスコン)、『ホットベッパ―広島版』10/23(リクルート)、『to-you』10/25(広島市文化財団)、『広島バスセンター観光冊子「バスびより」』12/ 1 (広島バスセンター)、『不動産ニュース』(せとうち文化出版)、『7ぴあ』12月号(株式会社セブンドリーム・ドットコム)、『リビングひろしま』11/ 7 (広島リビング新聞社)、『生活情報誌「Cue」』11/13号(メディア中国)、『arch』(アートコレクションハウス)
- インターネット 当館公式ホームページ、メールマガジン、Facebook、ツイッター、ひろしまナビゲーター(広島観光コンベンションビューロー)、まいぶれ広島(システムフレンド)、Yahoo! ロコ(協同組合インフォメーションテクノロジー関西)、じゃらん net(株式会社リクルート(協同組合インフォメーションテクノロジー関西)、おでかけネット(JR 西日本(協同組合インフォメーションテクノロジー関西)、旅どき net(JR 東日本(協同組合インフォメーションテクノロジー関西)、和楽公式サイト「ニッポンの美術館 100 イマコレ」(和楽)、チケットぴあ HP (ぴあ)、ブンカッキーネットひろしま(ひろしま文化振興財団)、(アプリ) チラシミュージアム/ 11/ 1 (イープラス)、まいぶれ広島(システムフレンド)、個展ナビ(個展ナビ) など

カタログ なし

巡回先 なし

6 北斎の富士 富嶽三十六景と富嶽百景

会 期／平成28(2016)年1月2日(土)～2月14日(日)
主 催／広島県立美術館、イズミテクノ、
広島ホームテレビ、中国新聞社
後 援／中国放送、広島テレビ、テレビ新広島、
広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、
エフエムふくやま、尾道エフエム放送、
FMはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7MHz
入 館 料／一 般 1,100(900)円
高・大学生 700(500)円
小・中学生 400(200)円
※()内は前売・20人以上の団体料金
入館者数／34,360人(44日間)



江戸後期の画人・葛飾北斎(1760-1849)は、絵師として制作を続けた約70年間、「森羅万象」を描いたと形容されるほど、ありとあらゆる画題に取り組み続けました。とりわけ、円熟期に描かれた『富嶽三十六景』は、浮世絵に風景画(名所絵)というジャンルを確立した金字塔といわれています。また、『富嶽三十六景』の刊行後には、冊子本『富嶽百景』に着手。墨の濃淡を見事に使い分け、富士誕生の神話的場面から、花鳥画や故事人物画に至るまで、様々な意匠をこらした富士の姿が作中には描かれています。本展では、これら二大連作・全148点と関連作品を一堂に紹介。また、現代作家・石上和弘(1966-)による、富士山をモチーフにした登頂可能な木彫作品もロビーに特別展示。北斎が描いた富士の魅力を多角的に紹介しました。(本展担当者：山下 寿水)

関連事業

- (1) 記念講演会「世界を驚かせた北斎」
日 時：1月11日(月・祝) 13:30～15:00
講 師：浦上 満(浦上蒼穹堂代表、国際浮世絵学会常任理事)
会 場：地階講堂
共 催：広島県立美術館友の会
参加者：268人
- (2) ワークショップ「私の富士さん」
日 時：1月23日(土) 13:30～15:30
講 師：松尾真由美(広島市立大学芸術学部講師)
会 場：地階講堂
対 象：全年齢(小学生以下は保護者同伴)
参加者：20人
- (3) ギャラリートーク
日 時：1月8日(金)、1月15日(金)、1月22日(金)、1月29日(金)、
2月5日(金)、2月12日(金)各日11:00～
講 師：山下 寿水(当館学芸員)
会 場：3階企画展示室
参加者：計248人



- (4) ウェブレポーター大募集
 日 時：1月15日(金) 17:00～
 会 場：3階企画展示室
 対 象：ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックにて情報発信をされている一般の方
 参加者：15人
- (5) ロビーコンサート番外編「謡&北斎展トーク」
 日 時：1月30日(土) 12:00～
 演 目：羽衣(独吟)
 講 師：山下 寿水(当館学芸員)
 会 場：1階ロビー(終演後、3階企画展示室にて希望者対象にギャラリートーク)
 参加者：62人
- (6) 撮影会「富士山に登って記念撮影をしよう！」
 日 時：1月31日(土) 9:00～17:00
 会 場：3階ロビー
 対 象：全年齢
 参加者：253人
 ※石上 和弘による作品《裾野を歩く、山腹に寝転がる》への登頂者を撮影し、写真を提供した。

主要関連番組

- (1) テレビ
 1/3 中国放送/ニュース
 1/7 NHK広島放送局「お好みワイド」
 1/12 広島ホームテレビ/ニュース
 1/17 NHK「日曜美術館アートシーン」
- (2) ラジオ
 12/22 FMはつかいち「昼はまるごと！761」
 1/1 エフエムふくやま「GO! GO! Bびんご～」
 1/5 FM東広島「モーニングNAVI」
 1/5 尾道エフエム放送「You Gotta Radio」
 1/14 FMはつかいち「いきいきFactory」
 2/1 FMはつかいち「昼はまるごと！761」



主要関連記事

- (1) 中国新聞
 10/31 社告
 1/3 展覧会紹介
 1/5 特集誌面
 1/15 事業PR
 1/16 1万人セレモニー
 1/21 『『北斎の富士』展に寄せて』(担当学芸員寄稿)
 1/22 事業ガイド(魅惑の逸品)
- (2) その他新聞
 1/7 毎日新聞備後面「毎日美術館」(担当学芸員寄稿)
 1/8 朝日新聞/展覧会紹介
 1/9 聖教新聞/展覧会紹介
 1/22 読売新聞/展覧会紹介
- (3) 雑誌等掲載
 『美術の窓』2015年2月号[2015年必見の展覧会ベスト200]、生活の友社
 『プレスネット』2015年12月号[あーと散歩]、プレスネット
 『ゆめプレス』2015年12月号、ゆめカード



『L'ala Pado 広島版』 2015年12月号、エルネット広島支店
 『リビングひろしま』 12月26日号、広島リビング新聞社
 『おとなスタイル』 2015年冬号[おとなカレンダー]、講談社
 『Grandeひろしま』 2015年冬号、グリーンブリーズ
 『GetHiroshima』 2015年冬号、GetHiroshima
 『CHIC』 2015年冬号[美術館特集]、トマトコーポレーション
 『りーぶら』 2015年冬季号、広島市経済観光局観光政策部観光プロモーション
 『ウイंक』 2016年1月号、アスコ
 『月刊ギャラリー』 2016年1月号、ギャラリーステーション
 『茶道の研究』 2016年1月号、三徳庵
 『TJ Hiroshima』 2016年1月号、アドプレックス
 『トライアングル』 2016年1月号、ふじたプリント社
 『ひととき』 2016年1月号、JR東海
 『不動産ニュース』 2016年1月号、せとうち文化出版
 『りぶる』 2016年1月号、自由民主党
 『ホットペッパー広島版』 1月29日号、リクルート
 『JAF PLUS』 2016年1・2月号、日本自動車連盟(JAF)
 『大人のおしゃれ手帖』 2016年2月号、宝島社

(4) ウェブ

「広島県立美術館メールマガジン」(12月25日・1月2日・10日・13日・20日・2月4日・6日・9日・12日)、「広島県立美術館Facebook」(10月23日・11月2日・10日・12月22日・28日・29日・30日・31日・1月2日・4日・5日・6日・10日・11日・12日・13日・14日・15日・22日・23日・24日・29日・30日・31日・2月2日・5日・6日)、「チラシミュージアム」イープラス、「SPICE」イープラス、「わくわくつくログ!」NPOひろしまインターネット美術館、「ミニナルアート」イーエム、「ひろしまナビゲーター」広島観光コンベンションビューロー、「まいぶれ広島」システムフレンド、「ART Agenda」FAITH、「個展なび」個展なび、「ブンカッキーネットひろしま」ひろしま文化振興財団、「Yahoo! ロコ」協同組合インフォメーションテクノロジー関西、「じゃらんnet」リクルート、「おでかけネット」JR西日本、「旅どきnet」JR東日本、「JNTOタイ市場向け日本インバウンド」I-Comm Avenu Thailand Co.,Ltd.、「るるぶ.com」GMOクリエイターズネットワーク、「広島県ホームページ」広島県

カタログ内容

北斎 二つの富嶽図(大久保純一)
 図版) 富嶽三十六景
 富嶽百景
 「富嶽三十六景」北斎はどこから富士を描いたか
 富嶽三十六景以降の風景版画の系譜(市川信也)
 北斎 ふたつのコレクションについて(月本寿彦)
 開板時期再考「富嶽三十六景」の場合(新藤茂)
 作品目録
 葛飾北斎略年譜
 北斎に関する主要参考文献

展覧会巡回先

パラミタミュージアム 2015年4月4日～5月10日
 富山県民会館 2015年7月31日～8月16日
 安城市歴史博物館 2015年9月12日～10月18日
 水野美術館 2016年8月6日～9月19日



7 第62回日本伝統工芸展広島展

会 期／平成28(2016)年2月24日(水)～3月13日(日)
 (会期中無休)
 主 催／広島県、広島県教育委員会、広島県立美術館、
 NHK広島放送局、朝日新聞社、公益社団法人日本工芸会
 助 成／文化庁
 入 館 料／一 般 700円(500円)
 高・大学生 400円(200円)
 中学生以下無料
 入館者数／9,141人(19日間)



日本伝統工芸展は、日本の風土から生まれた世界に誇る工芸技術を発展・継承し、新しい時代の生活に即した美を築くことを目的にしている。広島展では、全入選作品606点及び遺作3点の中から重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品や受賞作品、広島県や中国地方からの入選作品を中心に陶芸105点、染織47点、漆芸44点、金工33点、木竹工47点、人形18点、その他の工芸29点、合計323点を厳選して一堂に展示した。県内からは14名の作家の作品が入選した。日本の伝統を引き継ぐ優れた工芸作品を展示し、広く県民に鑑賞の機会を提供することにより、伝統工芸に対する理解を深め、地域文化の向上に資することに努めた。

(本展担当者：宮本 真希子)

広島県在住入選者

陶 芸 赤毛 敏男《備前花器》
 今田 拓志《隔壁の陶》
 小林 良巳《緋襷花器》
 染 織 山城 直子《型絵染着物「物語・春」》
 漆 芸 金城一 国斎《卵殻彫漆箱「滝宿り」》
 田代 昭夫《籃胎箱》
 木竹工 藤井 義久《千鳥編花籠「夕風」》
 松岡 裕治《楓縮空造蓋物》
 門田 篁玉《千鳥編花籠「せとうち」》
 人 形 西村 芳弘《彩色陶俑「望」》
 部谷きよみ《木彫胡粉「ラベンダーの丘」》
 諸工芸 栗根 仁志《有線七宝蓋物「秋麗」》
 宇田勢津子《有線七宝蓋物「風清か」》
 菅坂 安子《有線七宝花器「大地の祈り」》

関連事業

(1) 記念講演会・作品解説会(広島県立美術館友の会共催)

日 時：平成28年2月28日(日) 10:30~12:00

場 所：広島県立美術館地階講堂

内 容：「藍染木綿絣／倉吉絣の魅力～その伝統と創作～」

講 師：福井 禎(染織(倉吉絣)作家、日本工芸会正会員、鳥取県無形文化財保持者)

参加者：111名

(2) ギャラリートーク(作品解説、場所：3階企画展示室)

(ア)入選作家による作品解説

平成28年2月27日(土)	11:00~	部谷きよみ(人形)	82名
2月27日(土)	13:30~	松岡 裕治(木工)	25名
2月28日(日)	13:30~	井戸川 豊(陶芸)	85名
3月5日(土)	11:00~	田代 昭夫(漆芸)	29名
3月6日(日)	11:00~	栗根 仁志(七宝)	41名
3月6日(日)	13:30~	小林 良巳(陶芸)	39名
3月12日(土)	11:00~	菅坂 安子(七宝)	31名
3月12日(土)	13:30~	佐古 龍平(金工)	62名
3月13日(日)	11:00~	金城一国齋(漆芸)	85名
3月13日(日)	11:00~	今田 拓志(陶芸)	57名

(イ)学芸員による作品解説

平成28年2月26日(金)	11:00~	23名
3月4日(金)	11:00~	27名
3月11日(金)	11:00~	29名

(3) その他関連イベント

(ア)アートと私の美味しい時間

日 時：平成28年2月26日(金) 17:00~

場 所：広島県立美術館3階企画展示室及び1階レストラン

内 容：・特別鑑賞会(17:00~17:40)

・トークイベント(18:30~20:45)

ゲスト：金城一国齋(本展出品作家(漆芸)、日本工芸会正会員、広島県無形文化財保持者)

坂田 賀昭(美和桜酒造有限会社社長)

参加者：49名

(イ)ウェブレポーター

日 時：平成28年2月26日(金) 17:00~18:30

場 所：広島県立美術館 企画展示室

参加者：3名

子ども鑑賞コース

(1) 出張授業

平成27年12月11日(金)	福山市立山手小学校	1-6年生(19名)	講師：山根 宏造(陶芸)
12月15日(火)	安芸太田町立戸河内小学校	1-6年生(45名)	講師：今田 拓志(陶芸)
平成28年1月19日(火)	廿日市市立吉和小学校	1-6年生(24名)	講師：小林 松斎(木工)
1月28日(木)	県立尾道特別支援学校	1-6年生(9名)	講師：栗根 仁志(七宝)
2月9日(火)	三原市立沼田西小学校	4-5年生(27名)	講師：田代 昭夫(漆芸)

- (2) 団体学習鑑賞会
 平成28年3月2日(水) 広島市立白島小学校 5年生(72名)
 平成28年3月3日(木) 広島市立白島小学校 4年生(70名)
- (3) ワークショップ
 内 容:「みんなでけん玉を楽しみ、木工芸の伝統を学ぼう!」
 講 師:今田弘武(公益社団法人日本けん玉協会西中国地区総支部長)
 日 時:3月5日(土) 13:30~15:30
 場 所:広島県立美術館地階講堂
 参加者:35名
- (4) 親子鑑賞ガイドブック作成・配布
 A5版16ページ、5,000部

主要関連記事

朝日新聞

- 平成27年8月22日 「日本伝統工芸展入賞決まる」
 平成28年1月27日 広島展特集記事「技と美 華麗な結晶」
 1月29日 「七宝の奥深さ体感 伝統工芸展前に「授業」」
 2月9日 社告
 2月19日 「伝統工芸展催し多彩」
 2月23日 「日本伝統工芸展広大・井戸川准教授 高松宮記念賞を受賞」
 2月24日 県内入選作品解説記事①
 2月25日 「7部門の技と美 一堂に 日本伝統工芸展広島展開幕」
 県内入選作品解説記事②
 2月26日 県内入選作品解説記事③
 2月27日 県内入選作品解説記事④
 2月29日 県内入選作品解説記事⑤
 3月3日 「伝統工芸 創作の苦心と喜び 初入選 福山の2人に聞く」
 3月4日 県内入選作品解説記事⑥
 3月7日 県内入選作品解説記事⑦

読売新聞

- 平成27年9月10日 「井戸川さん 高松宮記念賞 広大准教授伝統工芸展で最高評価」

中国新聞

- 平成28年1月20日 「宮島細工 児童が体験 吉和小で職人が出張授業」
 3月2日 「輝き放つ手仕事の技 広島で日本伝統工芸展」

産経新聞

- 平成28年2月29日 「全国の入選作323点紹介 県立美術館 最優秀・井戸川さんが解説も」

主要関連番組

NHK(テレビ)

- 平成28年2月9日 ローカルニュース(出張授業/三原市立沼田西小学校)
 2月24日 ローカルニュース(伝統工芸展開幕)
 2月29日 日曜美術館 第62回日本伝統工芸展 再放送(教育TV・広島県内)
 3月9日 ひるまえ直送便(総合TV・中国地方)

NHK(ラジオ)

- 平成28年2月19日 金曜ど〜かいの(ラジオ第1・広島県内)

NHK(データ放送)

- 平成27年12月25日~平成28年3月13日

RCC(テレビ)

平成28年3月6日 お昼のローカルニュース

情報誌

色絵馬1月号(広島県立美術館友の会会報)、CHIC冬号(トマトコーポレーション)、arch2月号(アートコレクションハウス)、不動産ニュース(有限会社せとうち文化出版)、ウイंक3月号(株式会社アスコ)、TJHiroshima2月号(株式会社アドプレックス)、to-you2月号(広島市文化財団)、広島リビング新聞2月号(広島リビング新聞社)、GetHiroshima春号(GetHiroshima)、ビジネス朝日2月号(広島朝日広告社)

インターネット

広島県立美術館ホームページ、ブンカッキーネットひろしま(公益財団法人ひろしま文化振興財団)、チラシミュージアム(株式会社イープラス)

カタログ内容

趣旨 出品目録 出品作品図版

特別展示「わざを伝える」文化財保存事業報告

第62回日本伝統工芸展入選作品及び受賞作品の決定について

展覧会巡回先

東京	平成27年9月16日(水)～9月28日(月)	日本橋三越本店
名古屋	9月30日(水)～10月5日(月)	名古屋栄三越
京都	10月7日(水)～10月12日(月・祝)	京都高島屋
大阪	10月17日(木)～10月23日(月)	大阪府咲洲庁舎咲洲ホール
金沢	10月30日(金)～11月8日(日)	石川県立美術館
岡山	11月12日(火)～11月29日(日)	岡山県立美術館
松江	12月2日(水)～12月23日(水・祝)	島根県立美術館
高松	平成28年1月2日(金)～1月17日(日)	香川県立ミュージアム
仙台	1月21日(木)～1月26日(火)	仙台三越
福岡	2月2日(火)～2月7日(日)	福岡三越
松山	2月16日(火)～2月21日(日)	松山三越

所蔵作品展

平成27年度はHPAMコレクション展と題し、全5室ある展示室のうち、夏期に4室分を特別展「戦争と平和展」で使用。

他期間は所蔵品の展示を実施した。

入場者数／74,545人(344日間)

第1期 (彫刻展示スペース・第1室・第2室)

磯江毅展開催記念展示 驚くべき「技と美」

平成27(2015)年4月15日(水)～7月18日(土)

前期 4月15日(水)～6月7日(日)

後期 6月9日(火)～7月18日(土)

彫刻展示スペース

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
1	梶山 明細	生没年不詳	蒔絵やつで香篋	江戸時代末期～明治時代	高11.1 12.2×15.9	漆、蒔絵	1合		
2	植松 抱民	1845-1899	桜に燕研出蒔絵 硯箱	不詳	高4.3 4.0×21.0	木、漆、銀、蒔絵	1合		
3	植松 抱民		萩に雁研出蒔絵 文台	不詳	高12.5 35.6×61.2	木、漆、銀、蒔絵	1具		
4	平櫛 田中	1872-1979	落葉	1913 (大正2)	高74.5	木	1点	第7回文展	
5	平櫛 田中		五柳先生	1960 (昭和35)	高51.8	木、彩色	1点		
6	平櫛 田中		西山逍遙	1957 (昭和32)	高62.5	木、彩色	1点		
7	清水 南山	1875-1948	獅子図手板	1943 (昭和18)	21.3×30.1	銀、銅、赤銅、彫金	1枚		
8	清水 南山		獅子図目貫	1935 (昭和10)	2.5×4.5	銀、金、彫金	1対		
9	清水 南山		飛龍躍浪文硯屏	1942 (昭和17)	高27.5 23.5×8.9	銀、彫金	1面		

第1室

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
10	日比野勇次郎	1864?	老人像	明治年間	57.2×42.0	油彩・画布	1面		
11	小林 千古	1870-1911	母ワキ肖像	1899 (明治32頃)	68.0×51.0	油彩・画布	1面		
12	小林 千古		茶器と梅花	1903 (明治36)	18.5×65.5	油彩・画布	1面	第10回白馬会展	
13	吉田 博	1876-1950	瀬戸内海集「帆船 朝」	1926 (大正15)	50.8× 35.9	木版・紙	1面		前期
14	吉田 博		瀬戸内海集「帆船 午前」	1926 (大正15)	50.8× 36.1	木版・紙	1面		後期
15	吉田 博		瀬戸内海集「帆船 午後」	1926 (大正15)	50.9× 36.1	木版・紙	1面		前期
16	吉田 博		瀬戸内海集「帆船 霧」	1926 (大正15)	50.9× 36.0	木版・紙	1面		後期
17	吉田 博		瀬戸内海集「帆船 夕」	1926 (大正15)	50.5× 36.0	木版・紙	1面		前期
18	吉田 博		瀬戸内海集「帆船 夜」	1926 (大正15)	50.8× 36.1	木版・紙	1面		後期
19	南 薫造	1883-1950	インドの港	1907 (明治40)	31.3×24.4	水彩・紙	1面		前期
20	南 薫造		坐せる女	1908 (明治41)	112.1×83.3	油彩・画布	1面	第4回文展	
21	南 薫造		ホテルの庭 (バナレス)	1916 (大正5)	35.5×25.2	水彩・紙	1面		後期
22	神田 周三	1894-1972	自画像イ	不詳	19.5×13.7	インク・紙	1面		前期
23	神田 周三		自画像ロ	1915 (大正4)	23.6×14.8	水彩・インク・紙	1面		後期
24	岡田 謙三	1902-1982	北市場	1942 (昭和17)	104.2× 87.0	油彩・画布	1面	第29回二科展	
25	山路 商	1903-1944	T型定規のある静物	1932 (昭和7)	87.0×69.0	油彩・画布	1面	第6回全関西展	
26	サルボールダ	1904-1989	ヴィーナスの夢	1939	243.8×487.6	油彩・画布・パネル	1面	ニューヨーク万国博覧会	
27	巖 光	1907-1946	畠山雅介氏の像	1941 (昭和16)	106.0×78.0	紙本淡彩	1面		前期
28	巖 光		娘	1941 (昭和16)	79.0×81.5	紙本淡彩	1面		後期
29	細田 政義	1908-1999	No.13	1962 (昭和37)	36.2×18.0	銅版・紙	1面		前期
30	細田 政義		ガラス器	1962 (昭和37)	36.0×21.0	銅版・紙	1面		前期
31	細田 政義		L-26	1965 (昭和40)	36.0×25.5	銅版・紙	1面		後期
32	細田 政義		L-79	1966 (昭和41)	28.5×36.5	銅版・紙	1面		前期
33	細田 政義		Table No.64	1966 (昭和41)	27.0×36.5	銅版・紙	1面		後期
34	細田 政義		L-55	1966 (昭和41)	41.0×27.5	銅版・紙	1面		後期
35	角 浩	1909-1994	ジブシーとドンキホーテ	1966 (昭和41)	145.5×112.1	油彩・画布	1面		
36	水船 六洲	1912-1980	旗 (Flag)	1960 (昭和35)	43.8× 65.0	木版・紙	1面		前期

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
37	水船 六洲	1912-1980	魚の窓	1966 (昭和41)	67.9×45.6	多色木版・紙	1面		後期
38	菅井 汲	1919-1996	DIABLE PARTANT POUR LA LUNE (月へ旅立つ鬼)	1963 (昭和38)	162.0×130.2	アクリル・油彩・画布	1面		
39	小林 敬生	1944-	蘇生の刻-白い朝・92-5	1992 (平成4)	108.0×142.0	木口木版・紙	1面		

第2室

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
40	望月 玉泉	1834-1913	山水図		各50.0×69.1	紙本墨画淡彩	双幅		後期
41	橋本 雅邦	1835-1908	風神雷神	1895 (明治28)	各138.0×52.0	絹本彩色	双幅		前期
42	川合 玉堂	1873-1957	溪村春麓図	1907 (明治40)	150.5×85.0	絹本彩色	1面		後期
43	川合 玉堂		浦の春	1934 (昭和9)	41.9×56.5	絹本彩色	1幅	東西大家密画小品展覧会	前期
44	児玉 希望	1898-1971	暮春	1930 (昭和5)	266.0×176.0	絹本彩色	1面	第11回帝展(特選)	
45	児玉 希望		山とよむ	1932 (昭和7)	257.0×175.0	絹本彩色	1面	第13回帝展	
46	児玉 希望		溪谷の秋	1943 (昭和18)	153.5×69.0	絹本彩色	1面	第7回児玉画塾展	前期
47	児玉 希望		驟雨来	1947 (昭和22)	73.5×84.0	絹本彩色	1面		後期
48	児玉 希望		室内	1952 (昭和27)	171.0×131.0	絹本彩色	1面	第8回日展	
49	児玉 希望		烟雨	1954 (昭和29)	132.0×173.0	絹本彩色	1面	第10回日展	前期
50	児玉 希望		氷川	1955 (昭和30)	208.0×171.0	絹本彩色	1面	第11回日展	後期
51	児玉 希望		七面鳥	1956 (昭和31)	199.0×152.0	紙本金泥墨画	1面	第12回日展	前期
52	児玉 希望		奥多摩の家	1956 (昭和31)	60.0×74.5	紙本金泥墨画	1面	第7回日月社展	後期
53	児玉 希望		山下橋付近	1956 (昭和31)	60.0×72.5	紙本金泥墨画	1面	第7回日月社展	後期
54	児玉 希望		ブロンニュの森1	1958 (昭和33)	28.0×38.0	彩色・紙	1面		前期
55	児玉 希望		ブロンニュの森2	1958 (昭和33)	28.0×38.0	彩色・紙	1面		後期
56	児玉 希望		バドニアにてジョットの壁画のある カペラ・デリス・クロベリ教会	1958 (昭和33)	23.0×32.0	彩色・紙	1面		前期
57	児玉 希望		ベニスにて4	1958 (昭和33)	23.0×32.0	彩色・紙	1面		後期
58	児玉 希望		群棲	1958 (昭和33)	68.0×72.5	絹本墨画	1面		
59	児玉 希望		海禾 (新水墨画十二題)	1959 (昭和34)	57.0×67.0	絹本墨画	1面	新水墨画展	
60	児玉 希望		雲似 (新水墨画十二題)	1959 (昭和34)	59.0×69.5	絹本墨画	1面	新水墨画展	
61	児玉 希望		円鎖 (新水墨画十二題)	1959 (昭和34)	54.5×66.0	絹本墨画金泥	1面	新水墨画展	
62	児玉 希望		山	1960 (昭和35)	97.0×134.5	絹本彩色	1面	第3回新日展	
63	児玉 希望		踊	1962 (昭和37)	176.5×109.5	絹本彩色	1面	第5回新日展	
64	児玉 希望		涅槃	1963 (昭和38)	156.0×150.5	絹本彩色	1面	第6回新日展	
65	児玉 希望		降魔	1969 (昭和44)	200.5×167.0	絹本彩色	1面	第1回改組日展	
66	奥田 元宋	1912-2003	泉響	1963 (昭和38)	259.1×193.9	紙本彩色	1面	第6回新日展	
67	奥田 元宋		妙高新緑		23.0×34.5	紙・水彩	1面		前期
68	奥田 元宋		湯河原安井邸見ゆ		24.0×34.4	紙・水彩	1面		後期
69	奥田 元宋		嵐山の春		37.0×52.7	紙・水彩	1面		前期
70	奥田 元宋		奥入瀬の初夏	1985 (昭和60)	37.0×53.0	紙・水彩	1面		後期
71	平山 郁夫	1930-2009	天山南路 (昼)	1960 (昭和35)	164.2×218.8	紙本彩色	1面		

第1期 (第3・4室)

民芸運動の旗手たち—河井寛次郎を中心に

平成27(2015)年4月22日(水)～7月1日(水)

前期 4月22日(水)～6月7日(日)

後期 6月9日(火)～7月1日(水)

第3室

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
1	富本 憲吉	1886-1963	白磁壺	1928 (昭和3)	高23.3 径29.0	磁器	1口	
2	富本 憲吉		壺		47.0×33.0	木版・紙	1面	前期
3	バーナード・リーチ	1887-1979	染付山水文壺	1926 (大正15) 頃	高19.8 径21.2	陶器	1口	
4	バーナード・リーチ		鉄絵山樹文大壺	1950 (昭和25) 頃	高39.4 径29.2	陶器	1口	
5	バーナード・リーチ		灰釉櫛目文花瓶	1950 (昭和25) 頃	高34.3 径20.0	陶器	1口	
6	バーナード・リーチ		鉄絵魚文花瓶	1960 (昭和35) 頃	高31.5 径14.8	陶器	1口	
7	バーナード・リーチ		鉄紅絵角扁壺	1960 (昭和35)	高19.0	陶器	1口	
8	バーナード・リーチ		灰釉櫛描扁壺	1960 (昭和35)	高28.2	陶器	1口	
9	バーナード・リーチ		鉄釉柳文扁壺	1965 (昭和40)	高28.2	陶器	1口	
10	河井寛次郎	1890-1966	紅壺		高10.4	磁器	1合	
11	河井寛次郎		淺血文青磁		高3.1	磁器	1枚	
12	河井寛次郎		青磁観音菩薩像	1918 (大正7)	高さ33.1 幅20.3 奥行15.1	青磁	1体	
13	河井寛次郎		青磁盃	1922 (大正11)	高11.6	青磁	1口	
14	河井寛次郎		青瓷桃子 k	1923 (大正12)	高10.8 口径9.5	青磁	1口	
15	河井寛次郎		紅壺		高9.3 口径8.3	磁器	1口	
16	河井寛次郎		赤盒子		高4.2 径5.8	磁器	1合	
17	河井寛次郎		青磁瓜形盒子		高9.4 径10.4	青磁	1合	
18	河井寛次郎		辰砂香器		高7.7 径10.4	磁器	1口	
19	河井寛次郎		トルコ青碗		高11.8	陶器	1口	
20	河井寛次郎		紫紅六角鉢		高7.0	陶器	1口	
21	河井寛次郎		花盒子		高4.2	陶器	1合	
22	河井寛次郎		練上鉢		高7.1	陶器	1口	
23	河井寛次郎		鉛釉草花文壺		高23.0	陶器	1口	
24	河井寛次郎		呉州辰砂鉄葉草花文蓋付小壺		高17.2 径12.9	陶器	1合	
25	河井寛次郎		少女図陶板		一辺15.6	陶器	1枚	
26	河井寛次郎		黄釉流描き皿		高7.7 34.2×29.2	陶器	1枚	
27	河井寛次郎		辰砂蠟抜魚文鉢		高13.4 径42.2	陶器	1口	
28	河井寛次郎		練上鉢		高8.6 径21.8	陶器	1口	
29	河井寛次郎		象嵌黄鉢		長径37.2×高7.8	陶器	1口	
30	河井寛次郎		蓋方壺		高18.4 一辺11.4	陶器	1合	
31	河井寛次郎		象嵌黄鉢		高5.2 径34.7	陶器	1口	
32	河井寛次郎		四足扁壺		高26.3	陶器	1口	
33	河井寛次郎		辰砂碗	1939 (昭和14)	高7.0 径13.0	陶器	1口	
34	河井寛次郎		辰砂扁壺		高20.2	陶器	1口	
35	河井寛次郎		青葉菱花食籠		高15.5 18.5×18.3	陶器	1合	
36	河井寛次郎		辰砂草花文扁壺		高19.9	陶器	1口	
37	河井寛次郎		鉄葉蠟抜花文鉢		高14.5 14.5×14.5	陶器	1合	
38	河井寛次郎		鉄釉碗		高5.0 16.7×11.2	陶器	1面	
39	河井寛次郎		辰砂鉛釉重箱		高22.0 長径25.4	陶器	1合	
40	河井寛次郎		白地丸紋草花図隅切鉢		高8.7 一辺32.9	陶器	1枚	
41	河井寛次郎		呉州丸紋鉢		高8.1 径39.5	陶器	1口	
42	河井寛次郎		白鉄葉土瓶		高11.8	陶器	1口	
43	河井寛次郎		呉州辰砂草花図碗		高8.9 口径12.8	陶器	1口	
44	河井寛次郎		呉州辰砂草花文陶板		15.3×15.0	陶器	1枚	
45	河井寛次郎		呉州鉄葉草文盒子		高4.5 一辺4.5	陶器	1合	
46	河井寛次郎		鉄葉水滴		高4.7 10.7×6.0	陶器	1点	
47	河井寛次郎		鉄辰砂草文碗		高8.2 口径8.9	陶器	1口	
48	河井寛次郎		鉄辰砂盃		高5.1 口径5.5	陶器	1口	

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
49	河井寛次郎		辰砂菱花扁壺		高25.3	陶器	1口	
50	河井寛次郎		鉄釉草文扁壺		高22.3	陶器	1口	
51	河井寛次郎		辰砂菱花食籠		高20.9 径21.8	陶器	1合	
52	河井寛次郎		玉手食籠		高13.5 長径16.3	陶器	1合	
53	河井寛次郎		辰砂菱花長角筥		高15.0 長径22.2	陶器	1合	
54	河井寛次郎		辰砂花碗	1949 (昭和24)	高8.7 径15.1	陶器	1口	
55	河井寛次郎		呉州花碗		高8.7	陶器	1口	
56	河井寛次郎		辰砂菱花扁壺		高20.7 18.0×12.4	陶器	1口	
57	河井寛次郎		辰砂筒描扁壺		高15.9 12.0×19.6	陶器	1口	
58	河井寛次郎		辰砂碗		高10.3 径10.2	陶器	1口	
59	河井寛次郎		辰砂文字陶板		32.6×23.1	陶器	1面	
60	河井寛次郎		飛躍成就花陶板		32.4×23.1	陶器	1面	
61	河井寛次郎		呉州三色碗		高7.7 径15.4	陶器	1口	
62	河井寛次郎		辰砂草文盒子		高8.9 径10.3	陶器	1合	
63	河井寛次郎		鉄呉州角瓶子		高15.0	陶器	1口	
64	河井寛次郎		呉州辰砂水指		高18.5	陶器	1口	
65	河井寛次郎		呉州草文碗		高8.7 径13.7	陶器	1口	
66	河井寛次郎		三彩手壺		高25.6 17.1×13.0	陶器	1口	
67	河井寛次郎		呉州鉄葉陶硯		高5.9 20.6×16.4	陶器	1面	
68	河井寛次郎		花手陶板		34.7×23.0	陶器	1枚	
69	河井寛次郎		呉州硯		高6.8 22.8×12.4	陶器	1面	
70	河井寛次郎		泥刷毛目呉州花瓶		高20.5	陶器	1口	
71	河井寛次郎		呉州泥掛刷毛目皿		高5.6 径29.6	陶器	1口	
72	河井寛次郎		鉄釉菱花扁壺		高22.9	陶器	1口	
73	河井寛次郎		色絵梅花図蓋物		高9.8 一辺10.7	陶器・色絵	1合	
74	浜田 庄司	1894-1978	ガレナ釉搔落文蓋壺	1922 (大正11) 頃	高15.2	陶器	1合	
75	浜田 庄司		黒釉鑄流描大鉢	1955-1964 昭和30年代後半	高13.8 径47.0	陶器	1口	
76	芹沢 銈介	1895-1984	晴雨屏風	1962 (昭和37)	49.5×174.0	型染・二曲一隻	1隻	
77	芹沢 銈介		文字入り四季文屏風	1954 (昭和29)	165.0×171.8	型染・二曲一隻	1隻	
78	芹沢 銈介		みのケラ屏風	1955 (昭和30)	177.5×174.8	紬・型染・二曲一隻	1隻	
79	芹沢 銈介		紙を造る人	1950 (昭和25)	171.5×162.0	木綿 型染 二曲一隻	1隻	
80	黒田 辰秋	1904-1982	朱塗円座卓		高30.0 径84.0	木・漆	1基	
81	黒田 辰秋		耀貝螺鈿飾筐	1981 (昭和56)	高19.0 15.5×30.5	木・漆・螺鈿	1合	
82	黒田 辰秋		朱沃地大名縞飾筐	1982 (昭和57)	高22.5 17.0×33.5	木・漆・螺鈿	1合	
83	宗廣 力三	1912-1989	茜茶ほぐし どぼんこ染緋着物	1985 (昭和60)	桁65.5 丈173.0	絹・紬・経緋	1領	
84	志村ふくみ	1924-	紬織着物 水かげ	1984 (昭和59)	桁66.4 丈169.6	絹・紬	1領	
85	志村ふくみ		紬織着物 おだまき	1985 (昭和62)	桁67.0 丈166.0	絹・紬	1領	
86	渡辺 溥子	1938-	紬織着物 「月影」	1999 (平成11)	桁68.0 丈171.5	絹・紬・経緯緋	1領	
87			『工藝』	1931-1951 (昭和6-26)		紙・木綿など	120冊	

第2期 (第4室)

戦争と平和展開催記念展示 日本とアジアの工芸作品—つながる心 平和の礎

平成27(2015)年7月4日(土)～9月27日(日)

前期 7月4日(土)～8月24日(月)

後期 8月25日(火)～9月27日(日)

国境を越え、人々を魅了した工芸作品

〈シルクロードを超えて〉

No.	作者/制作地	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	展示
1	ウズベキスタン		女性用外衣 (ハラト)	1900年頃	129.0×162.8	経絹/緯綿/経緋/裏に木綿	前期
2	ウズベキスタン		女性用外衣 (ハラト)	19世紀末	125.8×165.8	経:絹/緯:綿/経緋	後期
3	ウズベキスタン		子ども用外衣	1900年頃	91.8×146.7	経絹/緯綿/経緋/裏に木綿	
4	イラン		青銅輪花胴瓶	8-9世紀	36.0×18.0×22.0	青銅/鑄造	
5	清水 南山	1875-1948	波に龍文水瓶	昭和12 (1937) 年	高33.0 径13.0	銀/鍍金/彫金	
6	六角 紫水	1867-1950	花を弄ぶ人 婦人用二重文具箱	昭和7 (1932) 年	22.2×14.5×高8.1	漆/平文/螺鈿/蒔絵/彫刻	

〈大航海時代〉

・伊万里柿右衛門様式

No.	作者/制作地	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	展示
7	日本		重文 伊万里色絵花卉文輪花鉢 (柿右衛門様式)	17世紀後半	口径24.4 高11.5	磁器/色絵	
8	日本		伊万里柿右衛門様式色絵馬	17世紀後半	高44.3	磁器/色絵	
9	日本		伊万里柿右衛門様式色絵馬	17世紀後半	高45.0	磁器/色絵	

・南蛮様式漆芸品

No.	作者/制作地	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	展示
10	日本		草花蒔絵螺鈿書見台	桃山～江戸時代初期	高34.0 幅32.3	木/漆/蒔絵/螺鈿	
11	日本		鮫皮張草花鳥獸蒔絵螺鈿大筆筒	桃山～江戸時代初期	89.0×65.0×52.0	木/漆/鮫皮/蒔絵/螺鈿	

・インド更紗

No.	作者/制作地	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	展示
12	インド		生命の樹文更紗	1770年頃	310.0×219.0	木綿/手描媒染防染	前期
13	インド		茜地花入格子文更紗	17-18世紀	266.5×110.4	木綿/手描媒染防染	前期
14	インド		茜地唐花文金更紗	20世紀初頭	244.5×98.3	木綿/木版媒染/印金	前期
15	インド		聖樹とゴビ文金更紗裂	18世紀	31.7×60.7	木綿/手描媒染防染/金箔置	前期
16	インド		菱形染分パッチワーク文更紗	17-18世紀	324.8×231.4	木綿/手描媒染防染	後期
17	インド		茜地花入花菱文更紗	17-18世紀	283.0×104.0	木綿/木版媒染	後期
18	インド		茜地花櫻文金更紗	20世紀初頭	220.7×112.1	木綿/木版媒染/印金	後期
19	インド		花唐草文更紗	18-19世紀	70.4×31.7	木綿/手描媒染防染	後期

時空を超えてつながる心・デザイン

〈幸多かれ、平安と繁栄を祈る心は世界共通～祖先崇拝・子孫繁栄・息災長寿～〉

No.	作者/制作地	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	展示
20	ウズベキスタン		刺繍布 (スザニ)	1850年頃	244.0×154.0	木綿/絹糸/刺繍	
21	ウズベキスタン		刺繍布 (ジャイナマズ)	19世紀末	242.0×162.0	木綿/絹糸/刺繍	
22	ウズベキスタン		刺繍布 (スザニ)	19世紀後半	210.0×150.0	木綿/絹糸/刺繍	
23	トルクメニスタン		女性用被衣 (チルビ)	19世紀	総丈126.0	絹/絹刺繍/裏に木綿	前期
24	トルクメニスタン		女性用被衣 (チルビ)	19世紀	総丈124.0	絹/絹刺繍/裏に木綿	前期
25	トルクメニスタン		女性用被衣 (チルビ)	19世紀	総丈125.0	絹/絹刺繍/裏に木綿	後期
26	トルクメニスタン		女性用被衣 (チルビ)	20世紀	総丈122.0	絹/絹刺繍/裏に木綿	後期
27	トルクメニスタン		花嫁用頭飾り	19世紀前半	幅33.0	銀/金鍍金/カーネリアン	
28	トルクメニスタン		花嫁用頭飾り (エグメ)	18-19世紀	幅20.0	銀/金鍍金/カーネリアン	前期
29	トルクメニスタン		花嫁用頭飾り (エグメ)	19世紀中期	幅23.0	銀/鍍金/カーネリアン/絹布/木版木綿	後期
30	トルクメニスタン		首胸飾り (ブカウ)	19世紀中期	高31.5 幅26.0	銀/鍍金/カーネリアン	
31	トルクメニスタン		護符入れ (トゥマル)	18世紀後半	幅27.0	銀/金鍍金/カーネリアン	
32	トルクメニスタン		護符入れ (トゥマル)	19世紀初期	高13.5 幅11.5 鎖長62.5	銀/金鍍金/ガラス	
33	トルクメニスタン		胸飾り (ダグダン)	19世紀後半	幅10.0	銀/金鍍金/カーネリアン/ガラス	

No.	作者/制作地	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	展示
34	トルクメニスタン		護符 (ダグダン)	19世紀後半	高14.0、幅8.0	銀/鍍金/カーネリアン	
35	トルクメニスタン		背飾り (アシク)	19-20世紀	高22.0	銀/鍍金/カーネリアン	
36	トルクメニスタン		背飾り (アシク)	19世紀中期	高22.0	銀/鍍金/カーネリアン	
37	トルクメニスタン		背飾り (ゴシヤ・アシク)	19世紀初期	高15.0	銀/鍍金/カーネリアン	
38	トルクメニスタン		背飾り (ゴシヤ・アシク)	19世紀初期	高24.0 幅18.5	銀/鍍金/カーネリアン	
39	トルクメニスタン		留め飾り (チャブラズ)	19世紀前半	幅28.0	銀/鍍金/カーネリアン	
40	トルクメニスタン		留め飾り (チャブラズ)	19世紀中期	幅19.0	銀	
41	トルクメニスタン		耳飾り (グラク・ハルカ)	19世紀後期	径9.5	銀/鍍金/カーネリアン	
42	トルクメニスタン		耳飾り (グラク・ハルカ)	18-19世紀	径8.0	銀	
43	トルクメニスタン		指輪 (キュケンリ・ユズユク)	19世紀中期	径2.4 長20	銀/鍍金/カーネリアン	
44	トルクメニスタン		指輪 (キュケンリ・ユズユク)	19世紀後期	径2.4 長15	銀/カーネリアン	
45	トルクメニスタン		子供用胸掛け	19世紀後半	長63.0 幅56.0	銀/貝/絹経緋布/綿布/絹刺繍	前期
46	トルクメニスタン		子供用胸掛け	19-20世紀	長73.0 幅34.0	銀/貝/綿布/絹刺繍/ベルベット	後期
47	トルクメニスタン		男児用背飾り (オク・ヤイ)	19世紀初期	幅13.0	銀	
48	トルクメニスタン		男児用背飾り (オク・ヤイ)	19世紀後半	幅13.0	銀/鍍金/カーネリアン	
49	トルクメニスタン		男児用背飾り	19世紀	幅14.5	銀/鍍金/カーネリアン/トルコ石	
50	トルクメニスタン		男児用下げ飾り	18世紀初期	長18.5	銀	
51	トルクメニスタン		男児用下げ飾り	19-20世紀	長22.7	銀	
52	トルクメニスタン		男児用護符または女児用帽子飾り	19世紀前半	径15.5	銀/鍍金/カーネリアン/色ガラス	
53	トルクメニスタン		男児用護符または女児用帽子飾り	19世紀後期	径11.5	銀	
54	トルクメニスタン		女児用護符入れ (ボズベント)	18世紀	幅7.5	銀	
55	トルクメニスタン		護符 (ドガ)	19世紀初期	高14.0 幅12.0	銀/珊瑚/ガラスビーズ/絹刺繍	
56	トルクメニスタン		護符 (ドガ)	19世紀	高10.0	銀/カーネリアン	
57	トルクメニスタン		男児用背飾り (ゴンジュク)	19世紀前半	高16.0 幅8.0	銀/カーネリアン/珊瑚/ガラス	
58	トルクメニスタン		男児用背飾り (ゴンジュク)	19世紀後半	高21.0 幅16.0	銀	
59	トルクメニスタン		男児用背飾り (ゴンジュク)	19世紀中期	高11.0 幅6.0	銀	
60	トルクメニスタン		女児用留め飾り (チャブラズ)	19世紀後半	高10.5 幅10.0	銀	
61	トルクメニスタン		女児用留め飾り (チャブラズ)	19世紀中期	高12.5 幅12.0	銀	

〈古今東西、デザインはつながる〉

No.	作者/制作地	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	展示
62	アフガニスタン		胡銅銀象嵌盒子	14世紀後期	高21.0 径18.5	銅合金/鑄造/彫金	
63	六角 紫水	1867-1950	末金鍍蓬菜硯筥	19-20世紀	24.3×21.1×高5.0	木/漆/蒔絵/練描き	
64	赤塚 自得	1871-1936	金地蝶牡丹唐草蒔絵文庫	19-20世紀	29.0×23.0×高17.0	木/漆/蒔絵/螺鈿	

くつろぎの場、集う人々の心をつなぎ、いやす品々

No.	作者/制作地	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	展示
65	二十代堆朱楊成	1829-1915	唐華紋彫漆碁笥	19-20世紀	高123 胴径154 口径128	漆 堆漆 彫漆	
66	三代金城一国斎	1829-1915	高盛絵四季之花棗	明治25 (1892) 年	高6.3 径5.8	漆/高盛絵	
67	三代金城一国斎	1829-1915	高盛絵小型弁当重箱	明治44 (1911) 年	10.2×10.2×高5.8	漆/高盛絵	
68	三代金城一国斎	1829-1915	高盛絵蛤香合	明治40 (1907) 年	奥行7.6 幅9.6	貝/漆/高盛絵	
69	三代金城一国斎	1829-1915	ざくろ高盛絵菓子箱 道中茶箱の内	大正2 (1913) 年	5.4×6.7×高2.5	木/漆/高盛絵	
70	三代金城一国斎	1829-1915	水仙高盛絵茶巾立 道中茶箱の内	大正2 (1913) 年	高7.5 径2.5	竹/漆/高盛絵	
71	三代金城一国斎	1829-1915	白梅高盛絵茶筥立 道中茶箱の内	大正2 (1913) 年	高9.7 径3.2	木/漆/高盛絵	
72	三代金城一国斎	1829-1915	金銀双鶴高盛絵香合 道中茶箱の内	大正2 (1913) 年	径4.0	木/漆/高盛絵	
73	鯉江 良二	1938-	電車の皿	20-21世紀	16.5×12.0×高3.9(ほか)	陶器/11点組	
74	鯉江 良二	1938-	紅葉手鉢	20-21世紀	21.2×18.4×高12.0	陶器	
75	鯉江 良二	1938-	紅葉手鉢	20-21世紀	17.1×16.6× 高11.7	陶器	
76	鯉江 良二	1938-	紅葉手鉢	20-21世紀	18.0×20.5×高10.1	陶器	
77	鯉江 良二	1938-	韓国手茶盤	平成8 (1996) 年	15.9×15.9× 高9.0	陶器	
78	鯉江 良二	1938-	キセト茶盤	20-21世紀	11.5×11.5×高9.0	陶器	
79	鯉江 良二	1938-	オリベ茶盤	20-21世紀	16.7×16.5×高7.6	陶器	

No.	作者／制作地	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	展示
80	鯉江 良二	1938-	しの茶盃	20-21世紀	11.0×11.8×高10.5	陶器	
81	鯉江 良二	1938-	chawan	20-21世紀	15.0×17.0×高9.0	陶器	
82	鯉江 良二	1938-	chawan	20-21世紀	14.3×14.2×高9.4	陶器	
83	鯉江 良二	1938-	chawan	20-21世紀	13.7×12.6×高10.0	陶器	
84	鯉江 良二	1938-	chawan	20-21世紀	17.5×15.1×高9.8	陶器	

おわりに ～夏に贈る一（逸）品

No.	作者／制作地	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	展示
85	楠部 彌弍	1897-1984	緑釉向日葵花瓶	昭和30（1955）年	高34.0 胴径39.2 口径18.5	陶器	

第3期 (第1室・第2室・第3室)

京都市美術館名品展開催記念展示 美の競演—京都の美へのオマージュ

平成27(2015)年9月20日(日)～平成28(2016)年1月6日(水)

前期 9月20日(日)～11月30日(月)

後期 12月1日(火)～1月6日(水)

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
1	フランシス・ピカビア	1879-1953	アンビトリテ	1935頃	92×73.5	油彩・画布	1面		
2	エーリッヒ・ヘッケル	1883-1970	木彫りのある静物	1913	70.5×60.7	油彩・画布	1面		
3	サルバドール・ダリ	1904-1989	ヴィーナスの夢	1939	243.8×487.6	油彩・画布・パネル	1面	ニューヨーク万国博覧会	
4	小林 千古	1870-1911	やし(静物)	1893(明治26)	34.0×44.0	油彩・画布	1面		
5	小林 千古		ミルク・メイド	1897(明治30)	69.0×50.8	油彩・画布	1面	第10回白馬会展	
6	南 薫造	1883-1950	坐せる女	1908(明治41)	112.1×83.3	油彩・画布	1面	第4回文展	
7	南 薫造		白壁の農家	1908(明治41)	75.5×101.0	油彩・画布	1面		
8	小林 和作	1888-1974	春の山	1967(昭和42)	80.0×100.0	油彩・画布	1面		
9	須田国太郎	1891-1961	るりみつどり	1956(昭和31)	65.0×91.0	油彩・画布	1面	第24回独立展	
10	田中 万吉	1895-1945	婦人像	1925(大正14)	90.7×72.5	油彩・画布	1面	第6回春陽会展	
11	里見 勝蔵	1895-1981	娘の化粧	1928(昭和3)	80.3×65.2	油彩・画布	1面	第15回二科展	
12	国盛 義篤	1897-1951	江の浦風景	1940(昭和15)	60.4×72.7	油彩・画布	1面	第18回春陽会展	
13	山路 商	1903-1944	犬とかたつむり	1937(昭和12)	80.1×116.4	油彩・画布	1面		
14	檜山 武夫	1906-1932	ブラットホーム	1930(昭和5)	60.0×73.0	油彩・画布	1面	第4回全関西展	
15	巖 光	1907-1946	コミサ(洋傘による少女)	1929(昭和4)	80.0×65.0	油彩・画布	1面	第7回槐樹社展	
16	巖 光		花園の虫	1942(昭和17)頃	26.7×34.8	油彩・板	1面		
17	鶴岡 政男	1907-1979	ライフルマン	1968(昭和43)	193.9×390.9	油彩・画布	1面	個展(68日本画廊)	
18	福井 芳郎	1912-1974	蓮	1928(昭和3)	115.0×89.0	油彩・画布	1面	第9回帝展	
19	菅井 汲	1919-1996	NATIONAL ROUTE (ナショナル・ルート)	1964(昭和39)	195.0×130.0	アクリル・油彩・画布	1面		
20			伊万里 柿右衛門様式 色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高44.3	磁器・色絵	1軀		9/29～展示
21			伊万里 柿右衛門様式 色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高45.0	磁器・色絵	1軀		9/29～展示
22			重要文化財 伊万里色絵花卉文輪花鉢 (柿右衛門様式)	江戸時代 17世紀後半	口径24.4 高11.5	磁器・色絵	1口		9/29～展示
23	三代金城一國斎	1829-1915	菊雲鶴文食籠	1902(明治35)	高13.7 径22.3	木・漆・高盛絵	1合		
24	三代金城一國斎		獅子に牡丹高盛絵菓子器	1912(明治45)	径20.5	木・漆・高盛絵	1合		
25	六角 紫水	1867-1950	刀筆天部奏楽方盆	1927(昭和2)	高2.2 19.6×19.6	木・漆・漆絵・彫刻	1枚	第8回帝展	
26	六角 紫水		暁天獅子吼号の図蒔絵手箱	1930(昭和5)	高8.8 31.5×24.0	木・漆・蒔絵	1合	第11回帝展	
27	迎田 秋悦	1881-1933	平野の松歌蒔絵料紙文庫	1921(大正10)	高14.3 41.2×34.5	木・漆・蒔絵・平文	1合		
28	北大路魯山人	1883-1959	織部魚鱗文組板角鉢	1950(昭和25)	高4.9 20.0×43.5	陶器	1面		
29	荒川 豊蔵	1894-1985	黄瀬戸竹花入	1967-68(昭和42-43)頃	口径12.5 高24.5	陶器	1口		
30	林万 寿人	1896-1985	鍍銅結び紐文花器	1956(昭和31)	31.0×29.0	青銅・鍍金	1口	第12回日展	
31	加藤 卓男	1917-2005	青釉金彩鉢		高25.5 径41.0	陶器	1口		
32	八木 一夫	1918-1979	盲亀	1964(昭和39)	高34.0 13.0×31.0	黒陶	1点		
33	鈴木 治	1926-2001	秋の馬	1975(昭和50)	高20.6 25.5×11.6	青磁	1点		
34	今井 政之	1930-	「禅鯉」壺	1977(昭和52)	高45.0 胴径39.5	陶器	1口		
35	笹山 忠保	1939-	金彩六曲屏風	1983(昭和58)	75.0×258×8.5	陶器	1点		
36	奥田 元宋	1912-2003	嶽	1959(昭和34)	110.0×210.0	紙本彩色	1面	第2回新日展	
37	奥田 元宋		寂	1984(昭和59)	175.5×211.0	紙本彩色	1面	第15回改組日展	
38	奥田 元宋		青山白雲	1987(昭和62)	180.3×124.4	紙本彩色	1面	幽玄讃歌 奥田元宋展	
39	平山 郁夫	1930-2009	内海の春	1954(昭和29)	145.0×208.0	紙本彩色	1面	第39回院展	
40	平山 郁夫		浅春	1955(昭和30)	181.0×200.0	紙本彩色	1面	第40回院展	
41	平山 郁夫		受胎霊夢	1962(昭和37)	179.5×178.8	紙本彩色	1面	第47回院展	
42	望月 玉蟾	1692-1755	松下猛虎図	(江戸時代)	117.0×55.2	絹本墨画	1幅		後期
43	曾我 蕭白	1730-1781	伯顔図	1767(明和4)頃	133.2×57	紙本墨画	1幅		後期
44	長沢 芦雪	1754-1799	林和靖図	1792(寛政4)以降	各166.1×369.0	紙本金地墨画	六曲一双		後期
45	岸 竹堂	1826-1897	月下狸図	1859(万延元年)	142.9×69.5	絹本彩色	1幅		後期
46	里見 雲嶺	1849-1928	紀貫之蟻通社之図		106.0×39.5	紙本彩色	1幅		前期
47	里見 雲嶺		足柄山之月山姥之図		112.0×41.5	紙本彩色	1幅		後期
48	竹内 栖鳳	1864-1942	城址	1924(大正13)	80.6×94.2	紙本墨画淡彩	1幅		前期

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	頁数	出品歴・備考	展示期間
49	田中 頼璋	1868-1940	漁樵問答図	1927 (昭和2)	178.5×95.0	絹本彩色	1幅		前期
50	田中 頼璋		山村図		174.0×88.0	紙本彩色	1幅		後期
51	上村 松園	1875-1949	観書	1940(昭和15)頃	48.0×58.0	絹本彩色	1幅		前期
52	北野 恒富	1880-1947	風	1917 (大正6)	155.0×172.0	絹本彩色	二曲一隻	第3回大阪美術展	後期
53	土田 麦僊	1887-1936	早春図		114.5×36.5	絹本彩色	1幅		前期
54	村上 華岳	1888-1939	菩薩図		58.2×50.6	絹本墨画彩色	1幅		前期
55	小野 竹喬	1889-1979	松江の武家屋敷	1971 (昭和46)	47.7×62.8	絹本彩色	1面	「日本美を描く」展	前期
56	大村 廣陽	1891-1983	藤の花かけ	1926 (大正15)	196.8×345.2	絹本彩色	四曲一隻	第7回帝展	前期
57	金島 桂華	1892-1974	牡丹	1948 (昭和23)	各163.0×171.0	紙本彩色	二曲一双	第4回日展	
58	甲斐庄楠音	1894-1978	横櫛	1918 (大正7)	165.0×72.0	絹本彩色	1面		後期
59	徳岡 神泉	1896-1972	白梅		28.0×45.0	紙本彩色	1面		
60	福田 恵一	1897-1956	イスパニアに寄る常長	1923 (大正12)	111.3×115.8	絹本彩色	1幅	日本美術展	前期
61	福田 恵一		加藤清正像		94.0×113.0	絹本彩色	1幅		後期
62	猪原 大華	1897-1980	池	1961 (昭和36)	165.0×142.8	紙本彩色	1面	第4回新日展	
63	児玉 希望	1898-1971	荊軻	1939 (昭和14)	各153.5×69.0	絹本彩色	2面	第10回戊辰会展	前期
64	児玉 希望		忠貞双絶	1941 (昭和16)	各149.5×68.0	絹本彩色	2面	第5回児玉画塾展	後期
65	和高 節二	1898-1990	仔牛誕生	1970 (昭和45)	158.3×263.2	紙本彩色	四曲一隻		
66	丸木 位里	1901-1995	ラクダ	1938 (昭和13)	171.0×183.0	紙本彩色	二曲一隻	第6回春の青龍社展	後期
67	丸木 位里		牛	1942 (昭和17)	93.0×124.0	紙本墨画	1面	第3回美術文化協会展	前期
68	上村 松篁	1902-2001	緑雨	1958(昭和33)頃	56.2×66.6	紙本彩色	1幅		
69	黒光 茂樹	1909-1993	青桐	1953 (昭和28)	206.0×168.0	紙本彩色	1面	第9回日展	
70	益井三重子	1910-2010	大原女踊り	1972 (昭和47)	169.3×214.5	紙本彩色	1面	第57回院展	
71	船田 玉樹	1912-1991	すすきの原の秋	1950 (昭和25)	180.0×68.0	絹本彩色	1面		
72	塩出 英雄	1912-2001	清泉	1953 (昭和28)	231.1×189.6	紙本彩色	二曲一隻	第38回院展	
73	尾瀬 泰山	1914-1991	山稜の雪	1967 (昭和42)	141.0×212.0	紙本彩色	1面		前期
74	上村 淳之	1933-	秋汀		59.5×49.0	紙本彩色	1面		

第3期（彫刻展示スペース・第4室）

新しい仲間たちを紹介！－平成26年度に収集した作品を中心に

彫刻展示スペース

平成27(2015)年9月30日(水)～平成28(2016)年1月6日(水)

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴	備考
1	芥川 永	1915-1998	冬至の日	1965 (昭和40)	高174	石膏	1点	第29回新制作協会展	
2			おとなの影	1970 (昭和45)	高62	ブロンズ	1点	第34回新制作協会展	
3			たき火する人(かえる人/たき火)	1977 (昭和52)	高84	ブロンズ	1点	第41回新制作協会展	
4			若いコダイ	1979 (昭和54)	高46	ブロンズ	1点	第3回彫刻日動展	
5	吉田 正浪	1936-2011	頭像A	1963 (昭和38)	高26	石膏	1点	第27回新制作協会展	新収蔵
6			T氏像	1974 (昭和49)	高53	ブロンズ	1点	第38回新制作協会展	
7			立像	1977 (昭和52)	高183	石膏	1点	第41回新制作協会展 新作家賞受賞	新収蔵
8			座像	1979 (昭和54)	高132	ブロンズ	1点	第43回新制作協会展	新収蔵

第4室

平成27(2015)年9月30日(水)～平成28(2016)年1月6日(水)

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴	備考
1	作者不詳		源氏物語図	19世紀後半	各157.0×360.4	紙本金地彩色	六曲一双		新規寄託
2	六角 紫水	1867-1950	菊図	1915 (大正4)	120.1×28.0	紙本彩色	1幅		新収蔵
3	六角 紫水		刀筆春日野軸盆	1930 (昭和5)	高2.1 34.0×15.9	漆	1枚	第12回帝展	
4	六角 紫水		神苑之朝図	1938 (昭和13)	123.3×34.8	紙本墨画	1幅		新収蔵
5	河面 冬山	1882-1955	冬山式蒔絵法資料(蒔絵膜)	昭和20年代	径6.0 厚0.1	乾漆	1点		新収蔵
6	河面 冬山		冬山式蒔絵法資料(ブローチ)	昭和20年代	径4.2 厚0.6	乾漆	6点		新収蔵
7	河面 冬山		大楠公像乾漆額	1944(昭和19-20)頃	径31.2 厚2.0	乾漆	1面		
8	伝・河面冬山		扇面散し蒔絵料紙箱		40.0×32.0×35.0	木、漆、蒔絵	1合		
9	神田 周三	1894-1972	晩秋	1932 (昭和7)	24.3×33.4	油彩・板	1面		新規寄託
10	緒方 亮平	1901-1979	静物(水差し、グラス)		61.0×50.0	油彩・画布	1面		新収蔵
11	緒方 亮平		二人の女	1931 (昭和6)	160.2×130.3	油彩・画布	1面	第12回帝展	新収蔵
12	緒方 亮平		南の室	1959 (昭和34)	98.5×84.2	油彩・画布	1面	第2回新日展	新収蔵
13	緒方 亮平		鞆の港		85.5×99.0	油彩・画布	1面		新収蔵
14	マリノ・マリーニ	1901-1980	二人の軽業師と馬	1955	64.0×47.0	リトグラフ・紙	1面		新収蔵
15	マリノ・マリーニ		黄色で縁取られた3頭の馬	1954	64.0×44.0	リトグラフ・紙	1面		新収蔵
16	マリノ・マリーニ		驚きII	1973	67.5×52.5	エッチング・紙	1面		新収蔵
17	マリノ・マリーニ		小さな踊りI	1973	67.5×52.5	エッチング・紙	1面		新収蔵
18	夔 光	1907-1946	ばら	1930(昭和5)頃	14.2×21.0	油彩・画布	1面		
19	夔 光		花	1941(昭和16)頃	23.6×32.8	油彩・板	1面		新収蔵
20	夔 光		窓辺の花(百合)	1944 (昭和19)	71.0×59.0	油彩・画布	1面		
21	船田 玉樹	1912-1991	日輪	1940 (昭和15)	各181.0×181.0	紙本彩色	二曲一双	紀元二千六百年 奉祝日本画展	新収蔵
22	船田 玉樹		秋意	1957 (昭和32)	207.0×161.0	紙本彩色	1面		

第4期 (彫刻展示スペース・第1室・第2室) 形と彩の前衛－高橋秀を中心に

平成28(2016)年1月10日(日)～4月10日(日)

彫刻展示スペース

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	頁数	出品歴・備考
1			伊万里柿右衛門様式色絵馬	17世紀後半(江戸時代)	高44.3	磁器・色絵	1 軀	
2			伊万里柿右衛門様式色絵馬	17世紀後半(江戸時代)	高45.0	磁器・色絵	1 軀	
3			重要文化財 伊万里色絵花卉文輪花鉢 (柿右衛門様式)	17世紀後半(江戸時代)	口径24.4 高11.5	磁器・色絵	1 口	
4	高橋 秀	1930-	サザエのある静物	1959(昭和34) 頃	12.0×18.0	エッチング、紙	1 面	
5	高橋 秀		8つの作品	1973(昭和48)	76.5×56.5	セリグラフ・紙	8 面	
6	高橋 秀		ufu(空間の中の6つの形)	1974(昭和49)	80.0×80.0	シルクスクリーン、ステンレス	1 面	第11回リュブリアナ国際版画 ビエンナーレ(1975)
7	高橋 秀		mo(空間の中の6つの形)	1974(昭和49)	80.0×80.0	シルクスクリーン、ステンレス	1 面	第11回リュブリアナ国際版画 ビエンナーレ(1975)
8	高橋 秀		afu(空間の中の6つの形)	1974(昭和49)	80.0×80.0	シルクスクリーン、ステンレス	1 面	第11回リュブリアナ国際版画 ビエンナーレ(1975)
9	高橋 秀		Qu(空間の中の6つの形)	1974(昭和49)	80.0×80.0	シルクスクリーン、ステンレス	1 面	第11回リュブリアナ国際版画 ビエンナーレ(1975)
10	高橋 秀		e-e(空間の中の6つの形)	1974(昭和49)	80.0×80.0	シルクスクリーン、ステンレス	1 面	第11回リュブリアナ国際版画 ビエンナーレ(1975)
11	高橋 秀		pau(空間の中の6つの形)	1974(昭和49)	80.0×80.0	シルクスクリーン、ステンレス	1 面	第11回リュブリアナ国際版画 ビエンナーレ(1975)

第1室

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	頁数	出品歴・備考
12	高橋 秀	1930-	Nagaré	1969(昭和44)	60.0×60.0	ラッカー・画布	1 面	
13	高橋 秀		海	1963(昭和38)	90.0×72.7	ミクストメディア	1 面	
14	高橋 秀		机上静物	1956(昭和31)	90.9×72.7	油彩・画布	1 面	
15	高橋 秀		カラスと瓶	1956(昭和31)	90.0×116.7	油彩・画布	1 面	
16	高橋 秀		かにもある静物	1960(昭和35)	110.0×134.0	油彩・画布	1 面	
17	高橋 秀		覗いた春	1970(昭和45)	64.0×48.0	リトグラフ、エンボス、紙	1 面	
18	高橋 秀		春	1970(昭和45)	63.8×47.6	シルクスクリーン、紙	1 面	
19	高橋 秀		作品-1	1971(昭和46)	63.5×47.8	石版・紙	1 面	
20	高橋 秀		作品-2	1971(昭和46)	47.8×63.5	石版・紙	1 面	
21	高橋 秀		作品-3	1971(昭和46)	47.8×63.5	石版・紙	1 面	
22	高橋 秀		作品-4	1971(昭和46)	47.8×63.5	石版・紙	1 面	
23	高橋 秀		作品-5	1971(昭和46)	47.8×63.5	石版・紙	1 面	
24	高橋 秀		作品-6	1971(昭和46)	47.8×63.5	石版・紙	1 面	
25	高橋 秀		作品-7	1971(昭和46)	47.8×63.5	石版・紙	1 面	
26	高橋 秀		作品-8	1971(昭和46)	47.8×63.5	石版・紙	1 面	
27	高橋 秀		フィンガー・ボール・青-(32種の版画)	1973(昭和48)	69.0×85.0	シルクスクリーン、エンボス、紙	1 面	
28	高橋 秀		泉(32種の版画)	1973(昭和48)	68.0×101.0	シルクスクリーン、エンボス、紙	1 面	
29	高橋 秀		レズボール・白-(32種の版画)	1973(昭和48)	69.0×69.0	シルクスクリーン、エンボス、紙	1 面	
30	高橋 秀		レズボール・ピンク-(32種の版画)	197(昭和48)	69.0×69.0	シルクスクリーン、エンボス、紙	1 面	
31	高橋 秀		愛のはじまり-オレンジ-(32種の版画)	1973(昭和48)	68.0×57.0	シルクスクリーン、エンボス、紙	1 面	
32	高橋 秀		乱	1976(昭和51)	76.0×56.0	リトグラフ、シルクスクリーン、紙	1 面	
33	高橋 秀		黒い蝶	1976(昭和51)	76.0×56.0	リトグラフ、シルクスクリーン、紙	1 面	
34	高橋 秀		白の瞑想	1980(昭和55)	65.0×46.2	シルクスクリーン、紙	1 面	
35	高橋 秀		赤のハート	1984(昭和59)	64.0×71.0	ドライポイント、アクアチント、紙	1 面	
36	高橋 秀		はぐくむ(日本の神話)	1987(昭和62)	60.0×89.0	和紙のコラージュ、アクアチント	1 面	個展 (1987, M.ギャラリー)
37	高橋 秀		うずまき起源(日本の神話)	1987(昭和62)	60.0×89.0	和紙のコラージュ、アクアチント	1 面	個展 (1987, M.ギャラリー)
38	高橋 秀		いわと(日本の神話)	1987(昭和62)	60.0×89.0	和紙のコラージュ、アクアチント	1 面	個展 (1987, M.ギャラリー)
39	高橋 秀		くにづくり(日本の神話)	1987(昭和62)	60.0×89.0	和紙のコラージュ、アクアチント	1 面	個展 (1987, M.ギャラリー)
40	高橋 秀		天真爛漫(aからω)	1987(昭和62)	32.0×41.0	ドライポイント、紙	1 面	個展 (1987, M.ギャラリー)
41	高橋 秀		宙	1992(平成4)	19.0×19.0	シルクスクリーン、紙	1 面	
42	高橋 秀		遊-黒-	1995(平成7)	19.0×19.0	シルクスクリーン、銀箔、紙	1 面	
43	高橋 秀		ジョーカー	1995(平成7)	19.0×12.0	シルクスクリーン、紙	1 面	
44	高橋 秀		おめでとうサン	2000(平成12)	27.0×24.0	シルクスクリーン、紙	1 面	
45	高橋 秀		赤の構図	2001(平成13)	10.0×12.2	シルクスクリーン、紙	1 面	
46	高橋 秀		渚-あけぼの	2002(平成14)	10.0×12.4	シルクスクリーン、紙	1 面	
47	高橋 秀		記憶の風景	2004(平成16)	10.0×13.0	シルクスクリーン、紙	1 面	

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考
48	高橋 秀		山河	2005(平成17)	24.0×27.0	シルクスクリーン、紙	1面	
49	高橋 秀		早暁の船出	2007(平成19)	12.0×8.5	シルクスクリーン、金箔、紙	1面	
50	高橋 秀		渚	2007(平成19)	9.0×6.5	シルクスクリーン、錫箔、紙	1面	
51	高橋 秀		赤不動(悠久への回帰)	2009(平成21)	18.0×23.0	シルクスクリーン、紙	1面	
52	高橋 秀		黒不動(悠久への回帰)	2009(平成21)	18.0×23.0	シルクスクリーン、紙	1面	
53	高橋 秀		黄金階段(悠久への回帰)	2009(平成21)	18.0×23.0	シルクスクリーン、金箔、紙	1面	
54	高橋 秀		黄金階段(悠久への回帰)	2009(平成21)	14.9×16.8	シルクスクリーン、色紙	1面	
55	高橋 秀		朝霧の陽光(悠久への回帰)	2009(平成21)	18.0×23.0	シルクスクリーン、紙	1面	
56	高橋 秀		天と地と(悠久への回帰)	2009(平成21)	18.0×23.0	シルクスクリーン、金箔、紙	1面	
57	高橋 秀		日月図・黄金の天	2010(平成22)	20.0×60.0	シルクスクリーン、金箔平押し紙コラージュ、紙	1面	
58	高橋 秀		日月図・黄丹の天	2010(平成22)	20.0×60.0	シルクスクリーン、金箔平押し紙コラージュ、紙	1面	
59	高橋 秀		日月図 四季・秋	2010(平成22)	20.0×60.0	シルクスクリーン、金箔平押し紙コラージュ、紙	1面	
60	高橋 秀		黄天の雲	2011(平成23)	6.5×12.6	シルクスクリーン、紙	1面	
61	高橋 秀		金波銀波	2012(平成24)	7.3×12.0	シルクスクリーン、紙	1面	
62	高橋 秀		黄金の天	2013(平成25)	11.8×8.7	シルクスクリーン、紙	1面	
63	高橋 秀		年賀状1976年	1975(昭和50)	16.0×12.2	シルクスクリーン、紙	1面	
64	高橋 秀		年賀状1979年	1978(昭和53)	15.5×20.0	シルクスクリーン、紙	1面	
65	高橋 秀		年賀状1980年	1980(昭和55)	16.0×13.6	シルクスクリーン、紙	1面	
66	高橋 秀		年賀状1981年	1981(昭和56)	12.0×17.0	シルクスクリーン、紙	1面	
67	高橋 秀		年賀状1983年	1982(昭和57)	11.0×16.0	エンボス、色鉛筆、紙	1面	
68	高橋 秀		年賀状1985年	1984(昭和59)	15.0×11.6	シルクスクリーン、紙	1面	
69	高橋 秀		年賀状1987年	1986(昭和61)	8.0×15.9	シルクスクリーン、紙	1面	
70	高橋 秀		年賀状1988年	1988(昭和63)	6.0×17.0	シルクスクリーン、紙	1面	
71	高橋 秀		年賀状1991年	1990(平成2)	8.0×17.1	シルクスクリーン、紙	1面	
72	高橋 秀		年賀状1992年	1991(平成4)	6.0×18.2	シルクスクリーン、紙	1面	
73	高橋 秀		年賀状1993年	1993(平成5)	8.0×18.5	シルクスクリーン、紙	1面	
74	高橋 秀		年賀状1995年	1995(平成7)	7.0×18.5	シルクスクリーン、紙	1面	
75	高橋 秀		年賀状1996年	1995(平成7)	6.0×6.2	シルクスクリーン、銀箔、紙	1面	
76	高橋 秀		年賀状1997年	1997(平成9)	12.0×7.2	シルクスクリーン、紙	1面	
77	高橋 秀		年賀状1998年	1997(平成9)	4.0×9.1	シルクスクリーン、紙	1面	
78	高橋 秀		年賀状1999年	1999(平成11)	8.0×10.0	シルクスクリーン、紙	1面	
79	高橋 秀		年賀状2000年	2000(平成12)	4.0×7.0	シルクスクリーン、金箔、紙	1面	

第2室

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考
80	金光 松美	1922-1992	FAREWELL MISHIMA	1970(昭和45)	214.0×171.0	アクリル・画布	1面	
81	金光 松美		AUGUST	1960(昭和35)	182.8×182.8	油彩・画布	1面	
82	金光 松美		FRAGMENT	1958(昭和33)	152.8×152.8	油彩・画布	1面	
83	金光 松美		Mt. WHITNEY	1976(昭和51)	112.0×243.9	油彩・画布	1面	
84	金光 松美		Crest II	1965(昭和40)	56.0× 56.0	石版・紙	1面	
85	金光 松美		Crest III	1965(昭和40)	56.0× 53.1	石版・紙	1面	
86	金光 松美		In Memory of a Visit	1968(昭和43)	71.0× 56.0	石版・紙	1面	
87	金光 松美		No Title 1580	1965(昭和40)	76.0× 56.0	石版・紙	1面	
88	金光 松美		San Francisco '38	1968(昭和43)	76.3× 56.2	石版・紙	1面	
89	金光 松美		SORCERY HOLIDAY	1972(昭和47)	75.0× 56.0	石版・紙	1面	
90	金光 松美		North Wind	1977(昭和52)	91.4×62.2	石版・紙	1面	
91	菅井 汲	1919-1996	Adam et Eve(アダムとイブ)	1952(昭和27)	117.5×81.0	油彩・画布	1面	
92	菅井 汲		DIABLE PARTANT POUR LA LUNE (月へ旅立つ鬼)	1963(昭和38)	162.0×130.2	アクリル・油彩・画布	1面	
93	菅井 汲		NATIONAL ROUTE(ナショナルルート)	1964(昭和39)	195.0×130.0	アクリル・油彩・画布	1面	
94	菅井 汲		SOLEIL ET SOLEIL(太陽と太陽)	1968(昭和43)	114.2×192.6	アクリル・画布	1面	
95	菅井 汲		SOLEIL BLEU(青い太陽)	1969(昭和44)	235.5×236.0	アクリル・画布	1面	
96	菅井 汲		VARIATION(ヴァリエーション)	1970年代後半	200.5×200.5	アクリル・画布	1面	
97	菅井 汲		V6	1979(昭和54)	230.0×200.0	アクリル・画布	1面	
98	菅井 汲		V10	1980(昭和55)	200×200	アクリル・画布	1面	
99	菅井 汲		FESTIVAL DE TOKYO (フェスティヴァル・ド・トーキョー)	1969(昭和44)	50.5×182.0	シルクスクリーン・紙	1面	
100	菅井 汲		SOLEIL BLEU(青い太陽)	1969(昭和44)	57.3×58.4	シルクスクリーン・紙	1面	

第4期 (第3室・第4室)

北斎の富士展開催記念展示 絶景かな絶景かな

平成28(2016)年1月10日(日)～4月17日(日)

前期 1月10日(日)～2月29日(月)

後期 3月1日(火)～4月17日(日)

プロローグ 山を眺めて

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
1	川端 玉章	1842-1913	山水人物図	1908 (明治41)	167.0×104.0	紙本墨画淡彩	4面		前期
2	寺崎 広業	1866-1919	山水図	1907 (明治40)	167.0×104.0	紙本墨画	4面		後期
3	佐々木邦彦	1909-1972	連嶺	1970 (昭和45)	80.5×116.8	紙本彩色	1面		

絵画で名所をたずねて

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
4	川瀬 巴水	1883-1957	巖島の雪	1932 (昭和7)	36.5×24.4	木版・紙	1面		前期
5	川瀬 巴水		宮島の月夜	1947 (昭和22)	36.3×24.0	木版・紙	1面		後期
6	小林 千古	1870-1911	華巖の滝	1906 (明治39)	60.8×41.0	油彩・画布	1面		
7	小林 和作	1888-1974	隠岐白鳥	1968 (昭和43)	80.0×100.0	油彩・画布	1面		
8	不 詳		宮島図	18世紀 (江戸時代)	各149.9×355.6	紙本彩色	六曲一双		前期
9	川端 玉章	1842-1913	ナイアガラ瀑布図		32.0×58.0	絹本墨画彩色	1面		後期
10	石谷 柑圃	1885-1942	三段峡	1937 (昭和12)	38.5×1197.0 38.5×1272.0	絹本彩色	2巻		後期
11	塩川 文麟	1801-1877	峨眉山図	1843 (天保14)	58.6×85.1	絹本彩色	1幅		後期
12	望月 玉泉	1834-1913	嵐山図	1906 (明治39)	127.2×55.2	絹本彩色	1幅		後期
13	里見 雲嶺	1849-1928	三保松原図		122.7×252.6	紙本彩色	六曲一隻		前期
14	里見 雲嶺		管絃祭之図	1917 (大正6)	51.5×74.1	絹本墨画彩色	1幅		後期
15	横山 大観	1868-1958	霊峰不二		49.1×57.1	絹本彩色	1幅		
16	児玉 希望	1898-1971	箱根旧街道	1959 (昭和34)	20.0×26.5	彩色・紙	1面		前期
17	児玉 希望		戸田港	1963 (昭和38)	20.0×26.0	彩色・紙	1面		後期
18	浜崎左髪子	1912-1989	巖島		65.5×91.5	紙本彩色	1面		
19	平山 郁夫	1930-2009	波斯黄堂旧址	1974 (昭和49)	166.7×367.4	紙本彩色	六曲一隻	第59回院展	
20	志村ふくみ	1924	紬織着物 巖島	1985 (昭和60)	173.0×158.0	絹・紬	1領		

幻想的な世界を旅して

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
21	サルバドール・ダリ	1904-1989	ヴィーナスの夢	1939	243.8×487.6	油彩・画布・パネル	1面	ニューヨーク万国博覧会	
22	ルネ・マグリット	1898-1967	人間嫌いだち	1942	54.0×73.0	油彩・画布	1面		
23	ライネルフ・フィンガー	1871-1956	海辺の夕暮	1927	45.0×77.0	油彩・画布	1面		
24	土屋 幸夫	1911-1996	果てしなき餐食	1938 (昭和13)	37.9×45.5	油彩・画布	1面	創期美術協会 京都前哨展	
25	寺田 政明	1912-1989	二つの道	1954 (昭和29)	116.9×91.2	油彩・画布	1面	第18回自由美術展	
26	善 鳩人	1916-1989	巢 (冬壁)	1961 (昭和36)	141.0×180.0	紙本彩色	1面		

移ろいを感じて 朝から夜へ、冬から春へ

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
27	南 薫造	1883-1950	日の出	1949 (昭和24)	53.0×65.5	油彩・画布	1面		
28	巖 光	1907-1946	海	1943 (昭和18)	72.3×90.7	油彩・画布	1面		
29	猪原 大華	1897-1980	梅	1957 (昭和32)	187.5×128.5	紙本彩色	1面	第13回日展	後期
30	児玉 希望	1898-1971	晩春	1925 (大正14)	122.5×433.0	絹本彩色	八曲一隻	第6回帝展	前期
31	児玉 希望		大川端	1955 (昭和30) 頃	81.0×88.5	絹本彩色	1面		後期
32	大島 祥丘	1907-1996	段圃宿雪	1967 (昭和42)	194.0×112.0	紙本彩色	1面	東丘社展	
33	船田 玉樹	1912-1991	春の鐘	1950 (昭和25)	180.0×68.0	絹本彩色	1面	第5回春の院展	
34	塩出 英雄	1912-2001	春山	1969 (昭和44)	176.0×242.0	紙本彩色	1面	第54回院展	
35	奥田 元宋	1912-2003	待月	1949 (昭和24)	130.4×204.2	絹本彩色	1面	第5回日展	
36	奥田 元宋		秋巒真如	1977 (昭和52)	156.5×197.5	紙本彩色	1面	第9回改組日展	
37	佐藤 太清	1913-2004	東大寺暮雪	1975 (昭和50)	223.0×168.0	紙本彩色	1面	第7回改組日展	
38	桑原 清明	1923-2007	巴峽の朝	1968 (昭和43)	165.0×225.0	紙本彩色	1面	第11回新日展	
39	平山 郁夫	1930-2009	黄河 (晨)	1986 (昭和61)	171.2×364.6	紙本彩色文	四曲一隻	第71回院展	

エピローグ 小さな箱に秘められた、大きな世界を感じて

No	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
40	川之辺一朝	1830-1910	金梨地瀧山水蒔絵料紙文庫	1902 (明治35)	高15.4 44.9×33.1	木・漆・蒔絵	1合		
41	船橋 舟珉	1859?	金地山水蒔絵手箱	1908 (明治41)	高14.8 25.8×22.9	木・漆・蒔絵	1合		
42	六角 紫水	1867-1950	大空と洋海の驚異手箱	1934 (昭和9)	高15.3 30.2×23.3	漆・蒔絵・平文	1合	第15回帝展	

Ⅲ 普及活動

1 第3回新県美展(第67回広島県美術展)

本展は「広く県民から美術作品を公募し、優れた作品を展示することにより、創作活動の振興を図るとともに、鑑賞の機会を提供し、もって芸術文化の向上に資すること」を目的に、昭和24年以来開催している。今回は、映像系部門・招待作家本県美術教育・美術文化への貢献者)・入館者人気投票の新設、副賞金の復活など昨年度の改変を引き継ぎ「第3回新県美展」として開催した。応募点数1,173点のうち490点が入選。うち、受賞作品61点(大賞7点、優秀賞13点、奨励賞41点)。また、期間中の入館者人気投票により入館者人気大賞3点、同敢闘賞6点が選定され、招待作家19名の作品を展示した。

主催

広島県

共催

三次市教育委員会・庄原市教育委員会・世羅町教育委員会・三原市教育委員会・福山市教育委員会・府中市教育委員会・竹原市・中国新聞社

後援

NHK広島放送局・中国放送・広島テレビ・広島ホームテレビ・テレビ新広島・広島エフエム放送・FMちゅーピー 76.6MHz・エフエムふくやま・尾道エフエム放送・FMはつかいち76.1MHz・リビングひろしま

開催会場、期間および観覧者数

市町名	会 場	会 期	観覧者数
広島市(中央展)	広島県立美術館	6月20日(土)～7月5日(日)	6,810人
三次市	美術館あーとあい・きさ	7月15日(水)～7月19日(日)	231人
庄原市	庄原市田園文化センター	7月22日(水)～7月26日(日)	236人
世羅町	世羅町せらにスタウンセンター	7月29日(水)～8月2日(日)	294人
三原市	三原リージョンプラザ	8月5日(水)～8月9日(日)	403人
福山市	ふくやま美術館	8月19日(水)～8月23日(日)	1,004人
府中市	府中市生涯学習センター	8月26日(水)～8月30日(日)	502人
竹原市	たけはら美術館	9月2日(水)～9月6日(日)	362人

合計 9,842人

入賞者名簿(※◎は大賞、○は優秀賞、無印は奨励賞)

絵 画 系	◎旗山 泰久	◎小川 公久	○長岡 明子	○隨行 町子	○岡田 睦生
	○安道 隆之	小曳 和孝	吉本 平二	穴迫 隆宏	三嶋 雪子
	大原 馨	石下百合江	竹広 国敬	奥田三知子	倉田喜久栄
	小竹 正治	伊藤 卓爾	田坂素恵子	大江 清治	
彫 塑 系	◎野路 孝司	○岡田 俊平	竹内 康雄	佐々木一則	
工 芸 系	◎巳之口 豊	○水野 哲朗	○向井 裕香	山本 俊子	吉山千鶴子
	高瀬 安芸	西原 和枝	福原 征子		
書 系	◎吉田 玉雪	○鶴川 恵子	○鶴川 稲山	宮下 和典	赤木 彩佳
	宮川 清圃	沖 玉舟	藤本 青楓	亀川 康恵	増山 恵子
	真田千恵子				
写 真 系	◎真田 正之	○佐々木輝義	○縫部 洋三	徳永 恭子	白石 淑子
	奥林奈津子	谷岡 隆	橋本 勝英	石川慎太郎	村田 惇
	清水 潔士				
デザイン系	◎小島 信行	○反田 龍治	北川 宏	長谷川優里	
映 像 系	○増田 萌衣	○篠原 祐木	相本 帆夏	橋本明日菜	

2 第4回広島県ジュニア美術展

この展覧会は「広島県の児童・生徒等の優れた作品を公募し、展示することにより、創作活動を奨励するとともに、鑑賞の機会を提供し、次世代の美術力(感じる力、考える力、みる・かく・つくる力)の向上を図ること」を目的に、平成24年度から開催した。このたびの第4回展では、応募点数3,206点のうち1,056点が入選。うち、受賞作品147点(大賞8点、優秀賞27点、奨励賞112点)。

主催

広島県

共催

広島県教育委員会・中国新聞社

後援

NHK広島放送局・中国放送・広島テレビ・広島ホームテレビ・テレビ新広島・広島エフエム放送・FMちゅーピー76.6MHz・エフエムふくやま・尾道エフエム放送・FMはつかいち76.1MHz・リビングひろしま

会場

広島県立美術館 (地階県民ギャラリー)

会期

平成27(2015)年12月16日(水)～平成27年12月24日(木)

※12月18日(金)は19時まで、12月24日(木)は13時30分まで開場

入館料

無料

観覧者数

4,691人

入賞者名簿(※◎は大賞、○は優秀賞、無印は奨励賞)

絵画系	◎吉井有羽	◎登田海琉	◎上村陸斗	◎田中幸子
	○橋本柊矢	○榎田智奈都	○撫空快	○山中さや香
	○北辰心渚	○小坂実愛	○米田峻	○山田泰雅
	○高橋花鈴	○加藤紗香	○加藤すみれ	○植野結葵
	○綾目穂香	○板垣朋華	廣田七海	鈴木真生
	川村楓	貞信優奈	鳥井唯禾	朝野結衣
	河津里奈	大澤依奈	佐藤優菜	岡本夏怜
	柏原健	惠谷真実	永井僚介	高橋里緒
	渡邊真理	中西恋雪	吉本英志	三宅楓
	米光ゆい	山本吟	小林南々帆	江田菜々美
	林未来	石田葵	岡本未空	山本啓太
	佐藤有希	川瀬花奈	森岡由季乃	南波来未
	林絢香	服部真輝	木村美優	山本晴翔
	浜村悠翔	杉田海	田村彩音	松本あやめ
	市場海沙	小浦夢絆	吉野愛音	山田佳奈
	林凜人	榎美花	三浦心晴	赤木頼都
	横山翔太	山崎祐輔	清水七海	村上さくら
	福嶋志雄	大名牙	川本侑奈	折口宗毅

	山藤	本井	遥愛	斗美	谷貞	莉湖	松	下	芽生	埜	遥真
彫刻系	◎藤堀	田	向聖	陽矢	○千束	惠里奈	○柴福	田井	涼菜	吉田	麻紗
工芸(工作)系	◎伊原	藤	勇琉	人旺	○名切	裕稀人	○本新	田庄	総太郎	○田藤	邊朱嘉
	○黒高	田盛	祥	平葵	○升堀	嘉美佳	大尾	田崎	り陽	北田	辰翔友
	曾大	田藤	碧快	一斗	宮丸	希美作大	中	川	希	古	端友恵
写真系	◎田岩	中崎	舞翔	雪平	○樋末	沙優輝	○澤福	崎間	太光	新林	庄光太郎
	伊ノ	木保	佑琳	衣佳	川井	一輝	湯	藤浅	弘斗	先田	拓幸莉
	藤澤	崎	愛由	菜						岸	沙
デザイン系	◎白	根	知彩	夏花	○中鮎	帆初	○中堀	本	風夏	○川世	明日香
	○段	原	彩	実音	橋神	修朝	酒今	井津	璃野	山	結愛乃
	森	賀	彩風	穂	木甲	京理	小渡	嶋邊	野乃	高	葵乃
	宮	山	満美	咲楓					優子	高	乃鈴一
	今川	脇城	村						倫	山	花悠

3 博物館実習

大学及び短期大学における博物館学講座の単位習得の一環として、博物館学を履修する学生を一時的に受け入れ、博物館現場における知識及び技能を修得させることにより、人材の育成を図ることを目的として実施している。

開設日時とカリキュラム、および受入先は次のとおり。

開設日時と内容

8月20日(木)	9:30～10:15	開講あいさつ・美術館と学芸活動
	10:15～11:00	オリエンテーション
	11:00～12:00	館長講話「大型美術展のできるまで：その舞台裏」
	13:00～14:00	美術館の展示環境
	14:00～15:00	「戦争と平和展」「HPAM(所蔵作品)展」見学
8月21日(金)	9:30～12:00	作品取扱い実習・調書作成(絵画)
	13:00～15:00	作品取扱い実習・調書作成(工芸)
	15:00～16:00	「藤子・F・不二雄展」見学
8月22日(土)	9:30～10:30	展覧会を取材する(館内取材・資料調査)
	10:30～12:00	展覧会を紹介する(短評作成・相互批評)
	13:00～14:00	ミニ企画展実習(2企画-討議)
	14:00～16:00	ミニ企画展実習(3企画-立案)
8月24日(月)	9:30～10:30	ミニ企画展実習(4企画-集約)
	10:30～12:00	ミニ企画展実習(5企画-制作)
	13:00～16:00	ミニ企画展実習(6企画-制作)
8月25日(火)	9:30～12:00	ミニ企画展実習(7企画-発表準備)
	13:00～14:30	ミニ企画展実習(8発表)
	15:00～16:00	受講生ディスカッション

受講生所属大学

尾道市立大学、神戸女子大学、東京農業大学、同志社女子大学、奈良女子大学、広島市立大学、広島女学院大学、広島大学、安田女子大学(計17名)

ミニ企画展実習

メインカリキュラムの「ミニ企画展実習」では、仮想の展覧会を企画することにより、美術館業務を体験することをねらいとする。受講生は4班に分かれ、グループワークにより、今回は、終戦(被爆)70周年に当たり、伝えたいメッセージを設定し、当館所蔵作品5点程度により展覧会を企画・構成し、あわせて、広報イメージ・子ども向けワークシート・関連イベント等を考案し、プレゼンテーションを行うという課題にとりくんだ。各班から提案された展覧会企画は次のとおり。

①	あの頃-戦前日本の人々の風景- ----- 広島ゆかりの画家による戦前の子ども達の日常を描いた作品を展示することにより、日常の中にある幸福とそれを奪った戦争を想起させ、平和の大切さを伝える。
②	ヒロシマのそれから、～つながる、平和への想い～ ----- 被爆地ヒロシマの記憶の風化・忘却が危惧される今日、被爆前、被爆後から今日に至る広島を描いた作品を展示することにより、記憶の継承の大切さを伝える。
③	FACE～生命の螺旋～ ----- 様々な年齢・性別の人物画を展示し、唯一無二の生命や受け継がれてきた生命の尊さを伝えることにより、生命を守り育む平和の大切さを訴える。
④	戦争と子ども展～明るい未来を創造するために伝えていくこと～ ----- 日常を平穏に過ごす子ども達を描いた作品と戦争や原爆で命を奪われた子ども達を描いた作品を対比させることにより、子ども達の未来が平和により守られるべきことを訴える。

(本研修担当者：宮本真希子)

4 学校、地域との連携事業

美術作品鑑賞教室

事業内容

所蔵作品や鑑賞補助教材を活用した授業や講座を出張して行うことにより、学校や地域における美術鑑賞活動を支援し、美術館と学校や地域との相互交流を促進する。

(1) 美術作品鑑賞教室（作品持参）

今日の学校における美術教育では、生活の中の造形や美術の働き、美術文化に関心をもって生涯にわたり主体的にかかわっていく態度を育むことが求められ、表現と並んで鑑賞指導の重要性が認識されていることから、児童・生徒の美術への関心や鑑賞力を高めることを目的として、当館が所蔵する美術作品を学校（年間3校）に持ち込み、本物の美術作品に身近に接する機会を提供する。

①福山市立内海中学校

学校からの「近代洋画の自画像の代表作を中心に」というリクエストを当館所蔵品に沿って「様々な人物表現を鑑賞する」に調整して実施した。絵画（油彩・日本画・版画）5点と工芸作品（陶芸）2点により、多様な素材と表現の人物像を鑑賞し、児童・生徒の美的体験の幅を広げた。各作品についてA4判ワークシートを準備し、クイズやパズル、作業、対話を取り入れて、児童・生徒が楽しみながら取り組み、受動に偏らない授業進行に努めた。同校校区内の小学校児童を加えて、合同授業として行った。

実施月日：平成27年10月29日（木）

鑑賞作品：田中万吉《自画像》、檜山武夫《自画像（黄色い）》、名井万亀《爆発》、
菅井汲《AUTOPORTRAIT（自画像）》、和高節二《旅芸人の顔》、
佐藤敏《MAN 面 MAN》、熊倉順吉《笑いの稽古》

参加人数：中学生1 - 3年生16名、小学生3 - 6年生24名

授業実施：宮本真希子（当館学芸員）

②府中町立府中北小学校

③呉市立広南小学校

両校からは特段のリクエストがなかったので、多様な表現や美的価値観に触れること「美術作品には様々な素材や表現法、価値観があり、良い作品は一つの基準では測れないこと、作品の受け止め方にも皆に共通する部分と個人により異なる部分があることを体験すること」を目的とする内容で実施した。鑑賞作品は絵画（油彩・版画）3点と工芸作品（陶芸）2点。授業を円滑に進めるため、A3両面摺りのワークシートを準備し、対話式（Q & A 式）で進めた。

実施月日：②平成27年11月2日（月）、③同年12月1日（火）

鑑賞作品：鯉江良二《vessel》、木村芳郎《碧釉躍り窺文大皿》、名井万亀《憩い》、
角浩《平和のメリーゴーランド》、菅井汲《FESTIVAL DE TOKYO》

参加人数：②6年生54名、③5 - 6年生41名

授業実施：宮本真希子（当館学芸員）

(2) 美術作品鑑賞教室（出張講座）

本講座は、県立美術館の学芸職員が公民館や生涯学習センター、学校などに出向き、スライドなど鑑賞補助教材を用いて行うもので次の2つのコースを設定した。

A コレクション・トーク 当館所蔵作品や地域文化などをテーマに行う講座（23 講座）

B 特別展のためのとくべつ講座 当該年度に開催する特別展を紹介する講座（5 講座）

平成 27 年度における実施状況は次表のとおりで、地域や学校における美術鑑賞活動を支援するとともに、特別展を普及広報し、美術館への関心や親しみを醸成した。

No.	開催日	会場	講師	講座コース・タイトル	参加(人)
1	7月1日(水)	北広島町立豊平小学校	宮本	鬚光(アートカード)	40
2	7月24日(金)	広島市牛田公民館	福田	タマネギの皮で3色染まってビックリ仰天!	20
3	7月29日(水)	広島市利松公民館	山下	広島・長崎 被爆70周年 - 戦争と平和展	19
4	8月7日(金)	福山市東駅家公民館	福田	タマネギの皮で3色染まってビックリ仰天!	25
5	8月8日(土)	千代田中央公民館	福田	シルクロードのパラオを作って食べよう!	20
6	8月10日(月)	竹原市立大井公民館	福田	タマネギの皮で3色染まってビックリ仰天!	20
7	8月17日(月)	坂町立坂中学校	福田	タマネギの皮で3色染まってビックリ仰天!	24
8	8月18日(火)	廿日市市友和市民センター	福田	タマネギの皮で3色染まってビックリ仰天!	20
9	8月20日(木)	福山市常金丸公民館	福田	タマネギの皮で3色染まってビックリ仰天!	20
10	8月28日(金)	宮島市民センター	向田	広島県の近代建築遺産	30
11	8月28日(金)	広島市大塚公民館	隅川	江戸の劇画家 歌川国芳の世界展	30
12	9月5日(土)	広島市吉見園公民館	福田	タマネギの皮で3色染まってビックリ仰天!	20
13	9月8日(火)	尾道市立栗原小学校	藤崎	よくみて発見 自画像のひみつ	95
14	9月14日(月)	広島市五月が丘公民館	福田	シルクロードのパラオを作って食べよう!	24
15	9月26日(土)	広島市五日市中央公民館	福田	タマネギの皮で3色染まってビックリ仰天!	51
16	9月30日(水)	府中市立上下北小学校	藤崎	絵画の探検 みんなで絵画探偵! 緒方亮平《南の室》	27
17	10月2日(金)	呉市立豊小学校	宮本	美術作品を通して郷土・瀬戸内について学ぶ	46
18	10月2日(金)	広島市己斐公民館	隅川	江戸の劇画家 歌川国芳の世界展	20
19	10月15日(木)	大芝集会所	向田	縮景園について学ぶ	48
20	10月21日(水)	広島市立大芝小学校	藤崎	絵画の探検 フジタさんの絵のヒミツ	161
21	10月22日(木)	三原市立幸崎小学校	藤崎	絵画の探検 みんなで絵画探偵! 緒方亮平《南の室》	39
22	10月30日(金)	広島市大塚公民館	石川	野外彫刻をめぐる旅～広島平和記念公園から	10
23	10月31日(土)	広島市中央公民館	藤崎	広島で絵画の探検 楽しみ方のヒント 日本の油絵編	15
24	11月9日(月)	広島市立深川小学校	福田	びじゅつかんのおしごと	81
25	11月12日(木)	府中町立府中東小学校	藤崎	絵画の探検 フジタさんの絵のヒミツ	68
26	11月13日(金)	広島市口田公民館	石川	野外彫刻をめぐる旅～広島平和記念公園から	60
27	12月1日(火)	広島市立山田小学校	藤崎	・自画像のひみつ ・みんなで絵画探偵! 緒方亮平《南の室》	68
28	12月16日(水)	広島市立落合東小学校	山下	ダリって誰?	78
29	12月17日(木)	廿日市市平良市民センター	宮本	美術作品を通して郷土・瀬戸内について学ぶ	30
30	12月18日(金)	広島市坪井公民館	向田	厳島神社の工芸品	19
31	12月18日(金)	広島市美鈴が丘公民館	山下	北斎の富士 - 富嶽三十六景と富嶽百景	30
32	12月21日(月)	広島市己斐上公民館	山下	北斎の富士 - 富嶽三十六景と富嶽百景	38

33	1月13日(水)	呉市立広南小学校	山下	北斎の富士-富嶽三十六景と富嶽百景	41
34	1月13日(水)	広島市立八幡東小学校	藤崎	絵画の探検 みんなで絵画探偵! 緒方亮平《南の室》	105
35	1月13日(水)	県立広島中央特別支援学校	宮本	漆芸家・六角紫水	3
36	1月14日(木)	広島市三篠公民館	山下	北斎の富士-富嶽三十六景と富嶽百景	50
37	1月15日(金)	広島市立観音小学校	山下	北斎の富士-富嶽三十六景と富嶽百景	93
38	1月16日(土)	広島市石内公民館	山下	北斎の富士-富嶽三十六景と富嶽百景	20
39	1月18日(月)	広島市竹屋公民館	山下	北斎の富士-富嶽三十六景と富嶽百景	20
40	1月18日(月)	可部公民館	山下	北斎の富士-富嶽三十六景と富嶽百景	40
41	1月25日(月)	広島市竹屋公民館	山下	北斎の富士-富嶽三十六景と富嶽百景	19
42	1月26日(火)	広島市立真亀小学校	山下	ダリって誰?	55
43	1月28日(木)	幕山公民館	山下	北斎の富士-富嶽三十六景と富嶽百景	17
44	2月6日(土)	広島市五月が丘公民館	向田	広島県の近代建築遺産	19
45	2月10日(水)	廿日市市立宮内小学校	山下	ダリって誰?	71
46	2月10日(水)	広島市立古田台小学校	石川	野外彫刻をめぐる旅~広島平和記念公園から	39
47	2月16日(月)	広島県立三次看護専門学校	藤崎	絵画の探検 楽しみ方のヒント	61
48	2月17日(火)	広島県立三次看護専門学校	向田	厳島神社の工芸品	61
49	2月20日(土)	広島市石内公民館	宮本	日本伝統工芸展	15
50	3月12日(土)	広島市彩が丘公民館	福田	タマネギの皮で3色染まってビックリ仰天!	15
51	3月13日(日)	東広島市東西条地域センター	向田	東広島市の石造物について	51

(全 51 会場 / 参加合計 2,091 人)

5 新規作成ワークシート・リスト

来館者の鑑賞を支援するため、おおむね小学校高学年以上を対象とした所蔵作品のワークシートを作成している。平成27年度は新たに9種類のワークシートを作成し、合わせて315種となった。

No.	所蔵品番号	作者名・制作地	作品名	制作年	材質・技法
1	PG-24	マン・レイ	解剖台の上でミシンとこうもり傘が偶然出会ったように美しい	1933年	写真
2	P-437	マリノ・マリニー	小さな踊り I	1973年	エッチング・紙
3	O-786	吉田 卓	裸婦	1926年	油彩・画布
4	O-787	石川 寅治	風景	1918年	油彩・画布
5	O-772	菅井 汲	V10	1980年	アクリル・画布
6	O-547	小林 千古	華厳の滝	1906年	油彩・画布
7	J-340	熊谷 直彦	十二ヶ月山水図	制作年不祥	絹・彩色・屏風(押絵貼)
8	HH-012	船木 倭帆	垂描文鉢	制作年不祥	吹きガラス
9	HH-021	船木 倭帆	ともえ皿	制作年不祥	吹きガラス

ワークシート作例

垂描文鉢
吹きガラス

クイズ
曇りのない透明感はガラスの最大の魅力です。この美しいガラスは、どんな材料から作られると思いますか？
次のうちから選んでみましょう。
1. 水 2. 土 3. 木 4. キャンディー

船木 倭帆 1895(昭和10)年—2013(平成25)年
鳥根県の江戸時代から続く窯元に生まれました。物作りの心を受け継ぎながら、日本では歴史の作りの道歩きました。広島県福山市の工房で、らしになじむ、「毎日使う音読書」のような温器を作りました。

解剖台の上でミシンとこうもり傘が偶然出会ったように美しい
1933年
ゼラチン・シルバー・プリント

マン・レイ 1890年—1976年
マン・レイはアメリカ南東部のフィラデルフィアに生まれました。人物を被写体とした肖像写真も多く手掛けていますが、シュルレアリスム(超現実主義)に影響を受け、本作のような写真も制作しました。

V10
1980(昭和55)年
アクリル・キャンパス

菅井 汲 1919(大正8)年—1986(平成8)年
兵庫県神戸市生まれ。本名は高田。デザイナーとして活躍していましたが、画家としての飛躍を目指して1952年に渡仏。土壁を思わせるデリケートな絵画や日本の書を描く表現で、すぐに人気作家になりました。1961年には日本国際美術展で優秀賞、翌年にはヴェネチア・ビエンナーレで金賞を受賞。1965年にはサンパウロ・ビエンナーレで外国作家最優秀賞を受賞するなど国際的に活躍。版画も精力的に取り組み、数々の国際展で受賞を獲りました。

6 学校等による利用状況

No.	学校名	住所	利用年月日	生徒	引率	計
1	広島大学付属小学校	広島市南区翠1丁目1-1	平成27年4月17日	63	2	65
2	矢掛町立矢掛中学校	岡山県小田郡矢掛町矢掛2957番地	5月8日	29	1	30
3	防府市立小野小学校	山口県防府市大字奈美633番地の1	5月8日	6	0	6
4	四日市市立塩浜中学校	三重県四日市市大字塩浜4096番地	5月12日	9	1	10
5	鹿児島市立甲南中学校	鹿児島市高麗町36-32	5月14日	15	1	16
6	岡山市立建部中学校	岡山市北区建部町建部上734番地	5月14日	0	1	1
7	済美高等学校	愛媛県松山市湊町7丁目9-1	5月15日	130	12	142
8	安田女子高等学校	広島市中区白島北町1-41	5月19日	39	1	40
9	岩国市立麻理布中学校	山口県岩国市室の木町2丁目7-11	5月20日	62	0	62
10	安田女子高等学校	広島市中区白島北町1-41	5月20日	36	1	37
11	安田女子高等学校	広島市中区白島北町1-41	5月21日	37	2	39
12	岡山県笠岡市立笠岡東中学校	岡山県笠岡市西大島新田15番地3	5月22日	49	1	50
13	岩国市立岩国中学校	山口県岩国市錦見2丁目5-80	5月22日	95	1	96
14	山口県萩市立福川小学校	山口県萩市大字福井下4024番地	5月28日	5	2	7
15	三原市立宮浦中学校	広島県三原市宮浦5丁目29-1	7月22日	12	2	14
16	三原市立第二中学校	三原市中之町2丁目14-1	7月23日	10	1	11
17	岩国市立岩国中学校	岩国市錦見2-5-80	7月23日	37	4	41
18	大分県生活環境部私学振興・青少年課	大分市大手町3丁目1番1号	7月27日	558	36	594
19	飛鳥未来高校	広島市南区稲荷町1-27	7月28日	5	1	6
20	邑南町立石見中学校	島根県邑智郡邑南町中野2645番地	7月29日	23	3	26
21	廿日市市立七尾中学校	廿日市市平良2丁目2-34	7月30日	22	1	23
22	下松市立下松中学校	山口県下松市古川町2-1-1	7月31日	27	1	28
23	比治山女子中学校	広島市南区西霞町5-16	8月29日	85	5	90
24	広島市己斐中学校	広島市西区己斐上3丁目35-1	9月4日	3	2	5
25	中川学園広島総合教育専門学校	広島市東区愛宕町3番14号	9月24日	16	1	17
26	安芸高田市立来原小学校	安芸高田市高宮町原田3375	10月2日	27	4	31
27	中川学園広島総合教育専門学校	広島市東区愛宕町3番14号	10月6日	21	1	22
28	竹原市立大乘小学校	竹原市高崎町185-7	10月6日	32	5	37
29	広島大学付属小学校	広島市南区翠1丁目1-1	10月15日	63	2	65
30	北広島町教育委員会千代田公民館	広島県山県郡北広島町有田1220-1	10月18日	14	2	16
31	守山市立守山小学校	滋賀県守山市勝部1丁目13-1	11月14日	17	1	18
32	広島市立可部小学校	広島市安佐北区可部4-9-1	12月8日	118	5	123
33	広島市立深川小学校	広島市安佐北区深川5丁目12-1	12月9日	77	4	81
34	広島市立落合小学校	広島市安佐北区落合南2丁目13-1	12月10日	77	4	81
35	広島市立幟町小学校	広島市中区幟町3-10	平成28年1月14日	87	4	91
36	広島市立亀山小学校	広島市安佐北区亀山南3-28-2	2月2日	87	4	91
37	鶴岡市立鶴岡第二中学校	山形県鶴岡市宝田2丁目8-34	2月18日	18	0	18
38	広島市立白島小学校	広島市中区西白島町26-3	3月2日	67	5	72
39	広島市立白島小学校	広島市中区西白島町26-3	3月3日	70	2	72
40	小井出ファッションビューティー専門学校 家政高校課程	広島市東区矢賀2丁目10-67	3月7日	80	7	87
41	呉市立広南小学校	呉市広長浜4丁目1番26号	3月10日	17	2	19
計				2,245	135	2,380

7 県民ギャラリー利用状況

平成27年3月30日～平成28年3月28日まで

利用団体数		延べ開催日数	入場者数
入場有料の場合	9団体	54日	43,945人
入場無料の場合	89団体	534日	88,828人
計	98団体	588日	132,773人

平成27年度県民ギャラリー利用団体一覧表

展覧会名	会期	展示室	内 容	出品点数	入 場 料 金	入場者数
アートサロンますむら絵画展	3/30～4/6	1 2	絵画、デザイン	140点	無料	1,546
第1回 広島一水会展・第35回 路展	3/30～4/6	3 4	絵画	79点	無料	1,344
第11回 手織適塾SAORI 広島展	3/30～4/6	5	工芸	100点	無料	500
第55回 新制作広島グループ展	4/6～4/13	1 2	絵画、彫塑	33点	無料	960
第51回 広島形象派展	4/6～4/13	3	絵画	55点	無料	767
ボーダレスアート12人展	4/6～4/13	4	絵画、彫塑	61点	無料	669
第8回 広島県水墨作家協会展	4/6～4/13	5	平面作品	28点	無料	926
第18回 全陶展広島支部展	4/13～4/20	1	工芸	27点	無料	640
第36回 関西綜美会展	4/13～4/20	3 4 5	絵画、彫塑、工芸、書、写真	126点	無料	1,204
第78回 自由美術展	4/20～4/27	1 2 3 4 5	絵画	115点	無料	718
第21回 グループ宙遊展	4/27～5/4	1	絵画	33点	無料	641
第18回 広島水墨画会作品展	4/27～5/4	2 3	絵画	74点	無料	786
第11回 墨韻会展	4/27～5/4	4 5	絵画、書	73点	無料	816
第10回 六陶展	5/4～5/11	1	工芸	51点	無料	655
第49回 みのん展	5/4～5/11	2	絵画	64点	無料	910
第46回 広島県日本画展	5/4～5/11	3 4 5	絵画	76点	無料	1,857
第57回 新協展	5/11～5/18	1 2 3 4 5	絵画	105点	一 般 600円 高 大 生 500円 中学生以下無料	2,252
第12回 Petals 美術展	5/18～5/25	1	絵画	38点	無料	375
第24回 波の会展	5/18～5/25	2 3 4 5	絵画	196点	無料	2,138
第101回 光風会展	5/25～6/1	1 2 3 4 5	絵画、工芸	188点	一 般 当日 600円 高 大 生 当日 500円 中学生以下無料	9,628
第63回 光陽展	6/1～6/8	1 2 3 4 5	絵画	134点	一 般 500円 高校生以下無料	1,896
越川道江クローキョー展	6/8～6/15	1	絵画	105点	無料	424
第18回 広島県伝統工芸能面展	6/8～6/15	2	工芸	78点	無料	500
第20回 墨林会水墨画展	6/8～6/15	3	絵画	53点	無料	637
第50回 広島県写真連盟展	6/8～6/15	4 5	写真	297点	無料	1,155
陰山明枝 文字の景色展	7/13～7/20	1	書、版画	21点	無料	343
武蔵野美術大学校友会広島支部 第44回 MUSABI展	7/13～7/20	2	絵画、彫塑、工芸	23点	無料	691
守長グループ絵画展	7/13～7/20	3 4	絵画	98点	無料	751
第12回 むいち会展	7/13～7/20	5	絵画	52点	無料	551
フェーシング ヒストリーズ イン ヒロシマ	7/20～7/27	1	絵画	104点	無料	679
第38回 グループ「集」展	7/20～7/27	2	絵画	26点	無料	833
第55回記念 日本版画会展(広島会場)	7/20～7/27	3 4 5	絵画	151点	無料	1,465

展 覧 会 名	会期	展示室	内 容	出品点数	入 場 料 金	入場者数
第81回 東光展	7/27 ~ 8/3	1 2 3 4 5	絵画	171点	一 般 600円 高 大 生 500円 中学生以下無料	4,748
第54回 大調和会広島巡回展	8/3 ~ 8/10	1 2 3	絵画	62点	無料	1,363
第58回 広島県児童連盟展	8/3 ~ 8/10	4	絵画、工芸、その他	428点	無料	889
第47回 黄人展	8/3 ~ 8/10	5	絵画、彫塑、工芸	38点	無料	840
第40回 全国高等学校総合文化祭 特別支援学校部門展示部門プレ大会	8/10 ~ 8/17	1 2	絵画、彫塑、工芸、書、写真、 デザイン、その他(共通テーマ作品)	1,900点	無料	564
第50回 グループいしがき展	8/10 ~ 8/17	3 4 5	絵画、工芸	171点	無料	969
第29回 日洋展広島会場	8/17 ~ 8/24	1 2 3 4 5	絵画	137点	一般前売り券 500円 一般当日券 600円 高 大 生 以下 無料	3,451
第67回 毎日書道展中国展	8/24 ~ 8/31	1 2 3 4 5	書	900点	一 般 800円 高校生以下無料	5,219
第31回 一般社団法人新興美術院広島支部展	8/31 ~ 9/7	1	絵画	22点	無料	806
第34回 互の会日本画展	8/31 ~ 9/7	2	絵画	90点	無料	1,138
第27回 クロッキー同好会「人物素描展」	8/31 ~ 9/7	3	絵画	70点	無料	849
第18回 広島墨彩画展	8/31 ~ 9/7	4 5	絵画	131点	無料	1,045
LIFE ART 奥田グループ展	9/7 ~ 9/14	1	絵画	40点	無料	661
第19回 グループ「Z」水彩展	9/7 ~ 9/14	2	絵画	18点	無料	626
奥田敏雄 画業50周年記念 個展	9/7 ~ 9/14	3	絵画	22点	無料	764
廣陽カメラ倶楽部写真展	9/7 ~ 9/14	4 5	写真	177点	無料	1,242
第25回 風の会写真展「四季讃歌」	9/14 ~ 9/21	1	写真	52点	無料	743
第27回 アートグループ「滴」展	9/14 ~ 9/21	2	絵画	40点	無料	1,004
第7回 広島国展(絵画・工芸)	9/14 ~ 9/21	3 4 5	絵画、工芸	67点	無料	854
第43回 広島彫刻会展	9/21 ~ 9/28	1	彫塑	22点	無料	486
第24回 ぐるーぶNAN作品展	9/21 ~ 9/28	2	絵画	60点	無料	620
第61回 広島職場美術展	9/21 ~ 9/28	3 4	絵画、工芸、書、写真	128点	無料	830
第14回 凜の会展	9/21 ~ 9/28	5	絵画	40点	無料	661
第32回 産経国際書展瀬戸内展	9/28 ~ 10/5	1 2 3 4 5	書	299点	無料	975
アルファフォト 第1回 作品展	10/5 ~ 10/12	1	写真、その他	104点	無料	784
第37回 二科会写真部広島支部公募展	10/5 ~ 10/12	2 3 4 5	写真	449点	無料	2,076
第29回 NOA写真展	10/12 ~ 10/19	1	写真、その他(挨拶)	65点	無料	637
躍動する太陽社2015年展 -竹澤丹一先生17回忌追悼- つなげる	10/12 ~ 10/19	2 3	書、工芸	63点	無料	1,233
広島YMCA学園 2015 生徒作品展 「芸大美大受験科」「美術教室」	10/12 ~ 10/19	4 5	絵画、立体	400点	無料	733
鎌倉彫一陽会浅野恵山教室「日本の季」展	10/19 ~ 10/26	1	工芸	130点	無料	446
第34回 中国七宝協会展と公募展	10/19 ~ 10/26	2	工芸	55点	無料	485
京都造形芸術大学 通信教育部 広島学習会 第11回 歩展	10/19 ~ 10/26	3	絵画、陶芸	48点	無料	337
第23回 ROSÉ野ばら会作品展	10/19 ~ 10/26	4 5	絵画	85点	無料	691
第33回 ARGグループ絵画展	10/26 ~ 11/2	1	絵画	42点	無料	741
第4回 新構造広島巡回展	10/26 ~ 11/2	2 3 4	絵画、工芸、写真、版画	78点	無料	1,661
第45回 渦展	10/26 ~ 11/2	5	絵画	55点	無料	908
あいサポートアート展	11/2 ~ 11/9	1 2 3 4 5	絵画、工芸、書、版画、立体造形、陶芸	454点	無料	1,227
第40回 全国高等学校総合文化祭2016ひろしま総文フ大会 写真部門プレ大会 第39回 広島県高等学校総合文化祭	11/9 ~ 11/16	1 2 3 4 5	写真	348点	無料	301
第47回 広島県高等学校写真展						
第40回 全国高等学校総合文化祭2016ひろしま総文フ大会 美術・工芸部門プレ大会 第39回 広島県高等学校総合文化祭	11/16 ~ 11/23	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、工芸、デザイン	510点	無料	1,842
第47回 広島県高等学校美術・工芸展(中央展)						

展覧会名	会期	展示室	内 容	出品点数	入 場 料 金	入場者数
第4回 「木絆会」版画展	11/23～11/30	1	絵画	47点	無料	660
第99回 北翔展	11/23～11/30	2	絵画	45点	無料	750
第44回 合同美術展	11/23～11/30	3 4	絵画、工芸、書、写真、水墨画、つまみ絵	154点	無料	871
第12回 フォルマーレ展	11/23～11/30	5	絵画	48点	無料	460
第2回 ぐるーぶNAN 旅展	11/30～12/7	1	絵画	40点	無料	700
第46回 元陽展 広島会場	11/30～12/7	2 3 4	絵画	100点	無料	2,950
第59回 三師会展	11/30～12/7	5	絵画	50点	無料	850
第79回 新制作絵画展	12/7～12/14	1 2 3 4 5	絵画	92点	一般 600円 高大生以下無料 団体(20名～) 500円	3,455
第100回 二科展(第60回広島巡回展)	1/4～1/11	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、写真、デザイン	570点	一般 600円 高大生 400円 中学生以下無料	7,225
第68回 広島県児童生徒書道展	1/11～1/18	1 2 3 4 5	書	3,500点	無料	6,400
比治山大学短期大学部美術科 本科 第48回卒業制作展 専攻科 第14回修了制作展	1/18～1/25	1 2 3 4 5	絵画、工芸、デザイン、マンガ、 映像	186点	無料	651
第24回 広島県シルバー作品展	1/25～2/1	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、工芸、書、写真	282点	無料	2,100
第69回 二紀展 第45回記念 広島巡回展	2/1～2/8	1 2 3 4 5	絵画、彫塑	131点	一般 600円 高大生 500円 中学生以下無料	6,071
第47回 安田女子大学書道学科卒業制作展 (併催)安田女子大学書道学科展(1,2,3年) 安田学園小・中・高等学校併設展	2/8～2/15	1 2 3 4 5	書	265点	無料	1,338
平成27年度 広島県立熊野高等学校 芸術類型美術コース・書道コース卒業作品展	2/15～2/22	1 2	絵画、工芸、書、写真、 その他(挨拶、パネル、ポर्टフォリオ)	129点	無料	1,557
2016 全日本写真連盟 広島県本部展 第16回広島県本部展 第75回国際写真サロン展 第32回日本の自然写真展 第19回朝日写真サロン中国展	2/15～2/22	3 4 5	写真	383点	無料	1,158
第54回 広島大学大学院教育学研究科 造形芸術教育学専修・教育学部造形芸術系コース 修了・卒業制作展/論文発表会	2/22～2/29	1 2 3	絵画、彫塑、デザイン、 その他(論文パネル、卒業論文)	56点	無料	551
第39回 広島県工芸美術作家協会展	2/22～2/29	4	工芸	26点	無料	415
アトリエ野口作品展	2/22～2/29	5	絵画	46点	無料	658
第64回 書の友全国書道展覧会	2/29～3/7	1 2 3 4 5	書	3,397点	無料	2,519
穴吹デザイン専門学校 卒業・修了制作展 2016	3/7～3/14	1 2 3	絵画、インテリア、プロダクト、 その他	213点	無料	678
ひろしま美術研究所・広島芸術専門学校 合同作品展 及び 第31回 広島芸術専門学校 卒業制作・修了制作展	3/7～3/14	4 5	絵画、工芸、立体	410点	無料	601
第34回 彩友会展	3/14～3/21	2 3	絵画	74点	無料	641
シード展 シード美術研究所2015年度在席生徒作品展	3/14～3/21	4	絵画	176点	無料	510
第2回 Free angle展	3/14～3/21	5	絵画、立体	33点	無料	444
第3回 はんが女子展	3/21～3/28	1	絵画	50点	無料	1,005
第28回 広島日展会展	3/21～3/28	2 3 4 5	絵画、彫塑、工芸、書	145点	無料	2,849
合 計						132,773

8 友の会事業報告

「すぐれた美術作品に接し、それを鑑賞する楽しさを分かち合いながら、自分自身を高めてゆく」ことを目的に昭和47年1月21日に発足した。平成3年から平成8年までの新館工事中は会自体が休止状態にあったが、リニューアルオープンを機に友の会もボランティアで運営する新しい組織となり、会員相互の親睦と美術館の事業にも協力・支援することを目的として、平成9年4月1日付けで再出発した。

会員数 892人(個人629人 家族245人 学生6人 賛助11人 特別賛助1人)

1. 会報の発行

発行 71号、72号、73号、74号

配布先 会員、美術館関係他

2. 美術情報及び友の会ニュースの発行

・美術情報 100号、101号、102号、103号

・友の会ニュース 132号～139号

3. 所蔵作品展(HPAMコレクション展)のボランティアによる ギャラリーガイド

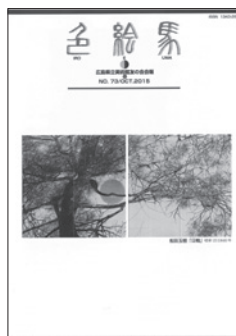
- ・定時 火曜日～金曜日は毎日 14時から実施
土曜日、日曜日、祝日 11時及び14時から実施
特別展開催中は、月曜日も14時から実施
- ・臨時 団体申し込み及び美術館の要請により随時実施
- ・ギャラリーガイド実績
定時 838名(ガイド延人員 412名)
臨時 15件(鑑賞者 329名、ガイド人員 23名)



『色絵馬』No.71



『色絵馬』No.72



『色絵馬』No.73



『色絵馬』No.74

4. ボランティア・ギャラリーガイド研修

所蔵作品展(HPAMコレクション展)研修(美術館と共催・展示替えの時期)

平成27年6月6日(土) 22名、8月1日(土) 24名、12月5日(土) 23名、

平成28年3月5日(土) 24名

◆ギャラリーガイド研修会

◇平成27年9月20日(日) 「銅版画制作・実習」 参加：19名

講師：釣谷 幸輝(広島市立大学芸術学部講師)

10月17日(土) 七宝の製作実習 参加：5名

10月18日(日) 七宝の講義 参加：18名

講師：菅坂 安子(七宝作家、日本工芸会正会員)

◇美術館研修

平成27年11月8日(日) 蘭島閣美術館「鬚光とゆかりの画家たち」展

三之瀬御本陣芸術文化館「須田国太郎の足跡をたどる」展

呉市立美術館「北斎とリヴィエール」展 参加：12名

◇英語ボランティアガイド養成講座

平成28年3月5日(土) 講師：長尾 光恵(ひろしま通訳・ガイド協会スタッフ) 参加：15名

5. 日本伝統工芸出張授業の支援

- ◆平成27年12月11日(金) 山根 興哉(陶芸) 福山市立山手小学校
12月15日(火) 今田 拓志(陶芸) 安芸大田町立戸河内小学校
 - 平成28年1月19日(水) 小松 松斎(木工) 廿日市市立吉和小学校
2月9日(火) 田代 昭夫(漆芸) 三原市立沼田西小学校
- 参加児童 115名、ボランティア 11名

6. 講演会(美術館と共催)

- ◆平成27年4月11日(土)「磯江毅」展
演題：「磯江毅－スペイン・リアリズムを超えて－」
講師：木下 亮(昭和女子大学大学院教授)
参加：136名
- ◆平成27年8月2日(日)「広島・長崎 被爆70周年 戦争と平和展」
演題：「〈戦争の世紀〉と葛藤する美術－二つの世界大戦とその狭間で」
講師：河本 真理(本展学術協力者、日本女子大学教授)
参加：67名
- ◆平成27年9月12日(土)「歌川国芳」展
演題：「江戸の劇画家 国芳の時代」
講師：中右 瑛(本展監修者、国際浮世絵学会常任理事)
参加：155名
- ◆平成28年1月11日(月・祝)「北斎の富士」展
演題：「世界を驚かせた北斎」
講師：浦上 満(浦上蒼穹堂代表、国際浮世絵学会常任理事)
参加：268名
- ◆平成28年2月28日(日)「第62回日本伝統工芸」展
演題：「藍染木綿紬／倉吉紬の魅力～その伝統と創作～」
講師：福井 禎(鳥取県無形文化財保持者、染織家、日本工芸会正会員)
参加：111名



1月11日 浦上満氏講演会

7. 「もっと知ろうシリーズ」(美術館と共催)

- ◆第38回 平成27年5月21日(木)
演題：「コラボトーク：作家たちの技とところ」
講師：福田 浩子(広島県立美術館主任学芸員)
隅川 明宏(広島県立美術館学芸員)
参加：41名
- ◆第39回 平成27年7月12日(日)
演題：「山路商のひととなり」
講師：塩谷 篤子(翻訳家)
藤崎 綾(広島県立美術館主任学芸員)
参加：40名

- ◆第40回 平成27年11月29日(日)
演題：「わしがやらねば、たれがやる－平櫛田中の木彫」
講師：倉橋 清方(元呉市立美術館長)
参加：38名

8. 美術鑑賞の旅

- ◆お散歩美術鑑賞会
 - ◇広島市現代美術館 「ライフ=ワーク」展
平成27年9月5日(土) 10:30～ 参加：32名
ギャラリートーク：松岡 剛(広島市現代美術館学芸員)
 - ◇はつかいち美術ギャラリー「エコパリーパリーに咲いた異邦人の夢」展
平成27年12月12日(土) 11:00～ 参加：26名
ギャラリートーク：上田 美穂(はつかいち美術ギャラリー学芸員)
 - ◇ひろしま美術館 「もうひとつの輝き 最後の印象派」展
平成28年2月21日(日) 11:00～ 参加：59名
ギャラリートーク：森 静花(ひろしま美術館学芸員)
- ◆日帰り美術鑑賞旅行
 - ◇神戸市立博物館「チューリヒ美術館」展
平成27年4月15日(水) 参加：36名
 - ◇島根県立美術館「伊藤若冲と京の美術」展
奥田元宋・小由女美術館「ゴッホとポン＝タヴァンの画家たち」展
 - ・1班 平成27年9月18日(金) 参加：39名
 - ・2班 平成27年9月19日(土) 参加：36名
 - ◇福岡市立美術館「モネ展」
平成28年2月5日(金) 参加：33名
- ◆宿泊美術鑑賞旅行
 - ◇「箱根・信濃・甲州路の美術館めぐり」 2泊3日
平成27年8月26日(水)～8月28日(金)
訪問美術館：昇仙峡影絵の森美術館、山梨県立美術館、八ヶ岳倶楽部、
原田泰治美術館、北澤美術館、ハーモ美術館、岡田美術館
参加：42名
 - ◇「大分の美術館めぐり」 1泊2日
平成27年10月28日(水)～10月29日(木)
訪問美術館：二階堂美術館、別府市美術館、朝倉文夫記念館、
大分市立美術館、大分県立美術館、的山荘
参加：39名



10月29日 大分県立美術館

9. その他

- ◆「京都市美術館名品展」イベント支援
平成27年11月7日(土)「カード織りで紐作りを体験しよう」
講師：久保田寛子、佐藤 衣里、平濱あかり
(広島市立大学芸術学部TA博士前期課程在籍)
参加：20名 支援ボランティア：3名

Ⅳ 事業実施状況

事業名	事業内容	実施期間
展覧会開催事業 入館者数 321,820名		
所蔵作品展 入館者数 74,545名	広島県ゆかりの美術作品、日本とアジアの工芸作品、1920-30年代の美術作品をテーマとする当館の所蔵作品を展示し、県民の鑑賞に供した。	常時
特別展 入館者数 247,275名	県民に多様な美術作品の鑑賞機会を提供し本県の芸術文化の向上に資するため、特別展を開催した。	
スペイン・リアリズム絵画の異才 磯江毅 - 広島への遺言 - 入館者数 20,820名	リアリズム絵画に鮮烈な足跡を残した磯江毅の初期から絶作までの代表作約100点を一堂に集め、彼の藝術の軌跡をたどるとともに、その稀有な画業を紹介した。	平成27年3月25日 ～5月24日
広島県主催事業 第3回新県美展 (第67回広島県美術展) 入館者数 6,810名	県民の創作活動の奨励と鑑賞の機会を提供するための公募展を開催した。 応募総数1,173点 大賞7点、優秀賞13点、奨励賞41点、入選数490点	平成27年6月20日 ～7月5日
生誕80周年記念 藤子・F・不二雄展 入館者数 111,934名	原画をはじめ、室内型4Dプロジェクションマッピングを体感できる「SFシアター」、体験型フォトスポット「なりきりキャラひろば」など、様々な角度から藤子・F・不二雄の世界を紹介した。	平成27年7月18日 ～9月6日
広島・長崎 被爆70周年 戦争と平和展 入館者数 8,267名	広島・長崎の両県立美術館が協働し、両館のコレクションと国内の美術館・大学等の所蔵品約200点を通じて、戦争の惨禍と、その対極にある恒久平和への希求を照らし出す展覧会を開催した。	平成27年7月25日 ～9月13日
浮世絵師 歌川国芳展 入館者数 41,081名	身近な動物を愛らしく擬人化した戯画、洋風の遠近法や陰影法を取り入れた風景画など。代表作から希少な肉筆画の里帰り品まで、約200点により、幕末の江戸で喝采を浴びた奇想天外な世界を紹介した。	平成27年9月11日 ～10月18日
京都市美術館名品展 うわしの京都 あこがれの美 入館者数 10,171名	京都市美術館所蔵の日本画作品の中から精選した72点の名品を通して、明治・大正・昭和にいたる女性像のさまざまな表現と変遷を紹介した。	平成27年10月31日 ～12月23日
広島県主催事業 第4回広島県ジュニア美術展 入館者数 4,691名	県内の児童・生徒達を対象に創作活動を奨励するとともに鑑賞の機会を提供し、次世代の美術力の向上を図ることを目的として公募展を開催した。	平成27年12月16日 ～12月24日
北斎の富士 富嶽三十六景と富嶽百景 入館者数 34,360名	江戸後期の画人・葛飾北斎の二大連作「富嶽三十六景」、「富嶽百景」全148点と関連作品を一堂に展示した。	平成28年1月2日 ～2月14日
第62回日本伝統工芸展広島展 入館者数 9,141名	わが国の優れた工芸技術を受け継いだ陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸作品を、人間国宝から新進気鋭の若手まで広島県内作家を含め日本を代表する作家の作品323点で紹介した。	平成28年2月24日 ～3月13日
学習支援事業	所蔵作品展、特別展等それぞれの事業に応じた学習の機会を提供することにより、県民の美術作品に対する関心を高め、理解を深めた。	
一般		
美術講演会 871名		
(136名)	「磯江毅 - スペイン・リアリズムを超えて -」 講師：木下 亮(昭和女子大学大学院生活機構研究科教授)	平成27年4月11日 (13:30～)
(68名)	「描かれた戦争：ナポレオン時代を中心として」 講師：千足 伸行(広島県立美術館長)	平成27年7月26日 (13:30～)
(67名)	「〈戦争の世紀〉と葛藤する美術 - 二つの世界大戦とその狭間で」 講師：河本 真理(本展学術協力者、日本女子大学教授)	平成27年8月2日 (13:30～)
(155名)	「江戸の劇画家 国芳の時代」 講師：中右 瑛(本展監修者、国際浮世絵学会常任理事)	平成27年9月12日 (13:30～)
(66名)	「美人画というジャンルの使命とは」 講師：尾崎 真人(京都市美術館学芸課長)	平成27年10月31日 (13:30～)

事業名	事業内容	実施期間
(268名)	「世界を驚かせた北斎」 講師：浦上 満(浦上蒼穹堂代表、国際浮世絵学会常任理事)	平成28年1月11日 (13:30～)
(111名)	「藍染木綿緋／倉吉緋の魅力～その伝統と創作～」 講師：福井 禎(染織(倉吉緋)作家、日本工芸会正会員、鳥取県無形文化財保持者)	平成28年2月28日 (10:30～)
平山郁夫連続セミナー 140名	「平山郁夫絵画の美と人生を語る」をテーマにして連続セミナーを開催した。	
(35名)	「平和を希求した平山作品の軌跡」 講師：白鳥 正夫(文化ジャーナリスト)	平成27年9月5日 (10:30～)
(48名)	「玄奘三蔵の求めた旅」 講師：村上 太胤(奈良・薬師寺副住職)	平成27年10月4日 (10:30～)
(33名)	「シルクロードの仏教」 講師：入澤 崇(龍谷大学文学部教授、龍谷ミュージアム前館長)	平成27年11月7日 (10:30～)
(24名)	「文化財赤十字構想と実践」 講師：平山 助成(平山郁夫美術館長)	平成27年12月13日 (10:30～)
特別セミナー等 97名		
(32名)	「戦時中のファッションを考える」 講師：津島由里子(安田女子大学非常勤講師) 協力：石田あさきトータルファッション専門学校	平成27年8月16日 (13:30～)
65名 (21名) (13名) (31名)	被爆体験継承講話「平和の語り部」 各回11:00～	平成27年8月7日 8月21日 9月4日
ギャラリートーク 1,950名	特別展等について、展覧会場で作品に接しながら、分かりやすく作品解説をした。	
425名 (32名) (18名) (8名) (31名) (3名) (21名) (42名) (20名) (39名) (52名) (11名) (48名) (62名) (38名)	磯江毅展 当館主任学芸員 角田 新	平成27年3月27日 (11:00～) (18:00～) 4月3日 4月10日 (11:00～) (18:00～) 4月17日 4月24日 (11:00～) (18:00～) 5月1日 5月8日 (11:00～) (18:00～) 5月15日 5月22日 (11:00～) (18:00～)
57名 (11名) (21名) (12名) (13名)	戦争と平和展 当館学芸員 山下 寿水	平成27年7月31日 8月14日 8月28日 9月11日

事業名	事業内容	実施期間
201名 (54名) (32名) (34名) (38名) (43名)	歌川国芳展 当館学芸員 隅川 明宏	平成27年9月18日 9月25日 10月2日 10月9日 10月16日
142名 (18名) (42名) (31名) (26名) (8名) (17名)	京都市美術館名品展 当館主任学芸員 福田 浩子	平成27年11月6日 (11:00~) (17:00~) 11月20日 12月4日 12月11日 12月18日
276名 (18名) (67名) (64名) (28名) (28名) (34名) (37名)	北斎の富士展 当館学芸員 山下 寿水	平成28年1月8日 1月15日 1月22日 1月29日 1月30日 2月5日 2月12日
615名	日本伝統工芸展	
(23名)	宮本真希子(当館主任学芸員)	平成28年2月26日
(82名)	部谷きよみ(人形)	2月27日
(25名)	松岡 裕治(木工)	2月27日
(85名)	井戸川 豊(陶芸)	2月28日
(27名)	宮本真希子(当館主任学芸員)	3月4日
(29名)	田代 昭夫(漆芸)	3月5日
(41名)	栗根 仁志(七宝)	3月6日
(39名)	小林 良巳(陶芸)	3月6日
(29名)	宮本真希子(当館主任学芸員)	3月11日
(31名)	菅坂 安子(七宝)	3月12日
(62名)	佐故 龍平(金工)	3月12日
(85名)	金城一国斎(漆芸)	3月13日
(57名)	今田 拓志(陶芸)	3月13日
121名	新県美展	
(20名)	久保田辰男(絵画系)	平成27年6月20日
(18名)	吉田 幸弘(デザイン系)	6月20日
(20名)	大塚 智嗣(工芸系)	6月27日
(18名)	高木 茂登(彫塑系)	6月27日
(22名)	岩崎 日照(写真系)	6月28日
(23名)	日比野貞勝(書系)	6月28日
113名	所蔵作品展(HPAMコレクション展)	
(32名)	コラボトーク「『民芸のこころ』に迫る！」 講師：角田 新、福田 浩子(当館主任学芸員)	平成27年5月29日
(19名)	コラボトーク「このハイパーテクニクを見よ！ 彫刻×工芸×日本画」 講師：福田 浩子、石川 哲子、隅川 明宏(当館学芸員)	平成27年6月12日
(20名)	学芸員トーク「作品から伝わるメッセージ」 解説：宮本真希子(当館主任学芸員)	平成27年8月14日

事業名	事業内容	実施期間
	(16名) ミニギャラリートーク「広島の前衛画家－巖光と船田玉樹」 講師：藤崎 綾(当館主任学芸員)	平成27年11月14日
	(26名) ギャラリートーク 講師：角田 新(当館主任学芸員)	平成28年2月7日
美術講座	特別展等に関連したテーマのもと、学芸員を講師として開催した。	
	162名	
	(35名) 「国内外の展覧会から見る美術と戦争」 講師：山下 寿水(当館学芸員)	平成27年9月5日 (13:30～)
	(127名) 「国芳の魅力を探る」 講師：隅川 明宏(当館学芸員)	平成27年9月27日 (13:30～)
シンポジウム		
	117名	
	(82名) 「戦争画と『原爆の凶』をめぐって－その政治性と芸術性の問題－」 講師：平瀬 礼太(美術史家)、岡村 幸宣(原爆の凶丸木美術館学芸員)、 大井 健地(広島市立大学名誉教授)、西原 大輔(広島大学大学院教授) 司会：谷藤 史彦(ふくやま美術館学芸課長)	平成27年8月1日
	(35名) 「〈現代〉戦争の表象－絵画／写真／文学が交差する戦場」 講師：河本 真理(本展学術協力者、日本女子大学教授)、 飛嶋 隆信(東京農工大学大学院准教授)、 久保 昭博(関西学院大学准教授)、山下 寿水(本展担当学芸員) 司会：谷藤 史彦(ふくやま美術館学芸課長)	平成27年8月23日 (13:30～)
美術作品鑑賞教室 (出張講座)	所蔵作品や特別展について、当館の館長及び学芸員を講師として公民館や生涯学習センターなどで、見どころをわかりやすく紹介した。	
	2,091名	
	(40名) 北広島町立豊平小学校 (主任学芸員 宮本真希子)	平成27年7月1日
	(20名) 広島市牛田公民館 (主任学芸員 福田 浩子)	7月24日
	(19名) 広島市利松公民館 (学芸員 山下 寿水)	7月29日
	(25名) 福山市東駅家公民館 (主任学芸員 福田 浩子)	8月7日
	(20名) 千代田中央公民館 (主任学芸員 福田 浩子)	8月8日
	(20名) 竹原市立大井公民館 (主任学芸員 福田 浩子)	8月10日
	(24名) 坂町立坂中学校 (主任学芸員 福田 浩子)	8月17日
	(20名) 廿日市市友和市民センター (主任学芸員 福田 浩子)	8月18日
	(20名) 福山市常金丸公民館 (主任学芸員 福田 浩子)	8月20日
	(30名) 宮島市民センター (学芸統括マネージャー 向田 裕始)	8月28日
	(30名) 広島市大塚公民館 (学芸員 隅川 明宏)	8月28日
	(20名) 広島市吉見園公民館 (主任学芸員 福田 浩子)	9月5日
	(95名) 尾道市立栗原小学校 (主任学芸員 藤崎 綾)	9月8日
	(24名) 広島市五月が丘公民館 (主任学芸員 福田 浩子)	9月14日
	(51名) 広島市五日市中央公民館 (主任学芸員 福田 浩子)	9月26日
	(27名) 府中市立上下北小学校 (主任学芸員 藤崎 綾)	9月30日
	(46名) 呉市立豊小学校 (主任学芸員 宮本真希子)	10月2日
	(20名) 広島市己斐公民館 (学芸員 隅川 明宏)	10月2日
	(48名) 大芝集会所 (学芸統括マネージャー 向田 裕始)	10月15日
	(161名) 広島市立大芝小学校 (主任学芸員 藤崎 綾)	10月21日
	(39名) 三原市立幸崎小学校 (主任学芸員 藤崎 綾)	10月22日
	(10名) 広島市大塚公民館 (主任学芸員 石川 哲子)	10月30日
	(15名) 広島市中央公民館 (主任学芸員 藤崎 綾)	10月31日
	(81名) 広島市立深川小学校 (主任学芸員 福田 浩子)	11月9日
	(68名) 府中町立府中東小学校 (主任学芸員 藤崎 綾)	11月12日
	(60名) 広島市口田公民館 (主任学芸員 石川 哲子)	11月13日
	(68名) 広島市立山田小学校 (主任学芸員 藤崎 綾)	12月1日
	(78名) 広島市立落合東小学校 (学芸員 山下 寿水)	12月16日
	(30名) 廿日市市平良市民センター (主任学芸員 宮本真希子)	12月17日
	(19名) 広島市坪井公民館 (学芸統括マネージャー 向田 裕始)	12月18日

事業名	事業内容	実施期間
(30名)	広島市美鈴が丘公民館 (学芸員 山下 寿水)	12月18日
(38名)	広島市己斐上公民館 (学芸員 山下 寿水)	12月21日
(41名)	呉市立広南小学校 (学芸員 山下 寿水)	平成28年 1月13日
(105名)	広島市立八幡東小学校 (主任学芸員 藤崎 綾)	1月13日
(3名)	県立広島中央特別支援学校 (主任学芸員 宮本真希子)	1月13日
(50名)	広島市三篠公民館 (学芸員 山下 寿水)	1月14日
(93名)	広島市立観音小学校 (学芸員 山下 寿水)	1月15日
(20名)	広島市石内公民館 (学芸員 山下 寿水)	1月16日
(20名)	広島市竹屋公民館 (学芸員 山下 寿水)	1月18日
(40名)	可部公民館 (学芸員 山下 寿水)	1月18日
(19名)	広島市竹屋公民館 (学芸員 山下 寿水)	1月25日
(55名)	広島市立真亀小学校 (学芸員 山下 寿水)	1月26日
(17名)	幕山公民館 (学芸員 山下 寿水)	1月28日
(19名)	広島市五月が丘公民館 (学芸統括マネージャー 向田 裕始)	2月6日
(71名)	廿日市市立宮内小学校 (学芸員 山下 寿水)	2月10日
(39名)	広島市立古田台小学校 (主任学芸員 石川 哲子)	2月10日
(61名)	広島県立三次看護専門学校 (主任学芸員 藤崎 綾)	2月16日
(61名)	広島県立三次看護専門学校 (学芸統括マネージャー 向田 裕始)	2月17日
(15名)	広島市石内公民館 (主任学芸員 宮本真希子)	2月20日
(15名)	広島市彩が丘公民館 (主任学芸員 福田 浩子)	3月12日
(51名)	東広島市東西条地域センター (学芸統括マネージャー 向田 裕始)	3月13日
ワークショップ	所蔵作品展及び開催中の特別展に関連したワークショップを開催した。	
158名		
22名	磯江毅展	
(22名)	「ちょこっと磯江体験」 講師：森永 昌司(広島市立大学准教授)	平成27年 5月10日
23名	戦争と平和展	
(23名)	「キッズゲルニカ・ワークショップ」 講師：加藤 宇章(アトリエばお代表)	平成27年 8月10日
22名	歌川国芳展	
(22名)	「フィギュアで楽しむ国芳キャラクター」 講師：松尾真由美(広島市立大学芸術学部講師)	平成27年10月10日
36名	京都市美術館名品展	
(18名)	「カード織りで紐作りを体験しよう！」 講師：久保田寛子、佐藤 衣里、 平濱あかり(広島市立大学芸術学部TA博士前期課程在籍)	平成27年11月 7日
(18名)	「はんなり和色吹寄せ(わいろふきよせ)」 講師：松尾真由美(広島市立大学芸術学部講師)	平成27年12月12日
20名	北斎の富士展	
(20名)	「私の富士さん」 講師：松尾真由美(広島市立大学芸術学部講師)	平成28年 1月23日
35名	日本伝統工芸展	
(35名)	「みんなでけん玉を楽しみ、木工芸の伝統を学ぼう！」 講師：今田 弘武(公益社団法人日本けん玉協会西中国地区総支部長)	平成28年 3月 5日
147名	コレクションを描いてみよう♪	
(40名)		平成27年 6月14日
(28名)	スペシャル「平和ってどんなこと？作品から感じてみよう」	8月15日
(40名)		10月25日
(39名)	スペシャル「絶景を描いてみよう！」	平成28年 3月13日
各種イベント	開催中の特別展にちなんだイベントを開催した。	
1,987名		
257名	磯江毅展	

事業名	事業内容	実施期間
(257名)	スペインフェア スペイン産の生ハム、オリーブオイル、ワイン等の販売	平成27年4月25日
65名	戦争と平和展	
(65名)	被爆手記朗読劇「夏の雲は忘れない」 公演：夏の会	平成27年7月25日 (15:00～)
1,250名	藤子・F・不二雄展	
(100名)	みんな大好き！人気キャラクターとの握手会	平成27年7月18日
(100名)	ドラえもん	7月25日
(150名)		8月12日
(150名)	パーマン	平成27年7月19日
(150名)		7月26日
(150名)		8月29日
(150名)	オバケのQ太郎	平成27年7月20日
(150名)		8月11日
(150名)		8月30日
15名	歌川国芳展	
(15名)	着物で国芳展をたのしもう！「着物デー」 特典：着物を着て国芳展にご来場のお客様先着50名様に「奇想天外！国芳ふせん〜とびだす国芳ワールド〜」をプレゼント	平成27年9月26日
40名	京都市美術館名品展	
(40名)	アートと私の美味しい時間「ノヴェットと京野菜で楽しむイタリアン」 解説：福田 浩子(当館主任学芸員)	平成27年11月6日
235名	北斎の富士展	
(235名)	「富士山に登って記念撮影しよう！」 特別展示《裾野を歩く、山腹に寝転がる》で記念撮影	平成28年1月31日
49名	日本伝統工芸展	
(49名)	日本酒イベント「アートと私の美味しい時間」 ゲスト：金城一国斎(本展出品作家(漆芸)、日本工芸会正会員、広島県無形文化財保持者)、坂田 賀昭(美和桜酒造有限会社社長) 解説：宮本真希子(当館主任学芸員)	平成28年2月26日
91名	ウェブレポーター	
(14名)	磯江毅展	平成27年3月27日
(26名)	藤子・F・不二雄展	平成27年7月24日
(4名)	戦争と平和展	平成27年7月31日
(22名)	歌川国芳展	平成27年9月11日
(7名)	京都市美術館名品展	平成27年11月6日
(15名)	北斎の富士展	平成28年1月15日
(3名)	日本伝統工芸展	平成28年2月26日
コンサート	開催中の特別展に関連したコンサートや木管楽器や弦楽器などの演奏会を1階メインロビー等で開催することにより、来館者に美術鑑賞と一体となった憩いのひとときを提供した。	
7,000名		
5,110名	ロビーコンサート	
(171名)	演奏者：秋友ともみ	平成27年4月4日
(109名)	演奏者：永井 祐子、松岡由希子	4月11日
(106名)	演奏者：ホァン・オルティス	4月18日
(132名)	演奏者：平福 知夏、三島 良子、飯島 聡志	4月25日
(82名)	演奏者：大野内 愛、枝川 泰子	5月2日
(71名)	演奏者：久保田美穂、中本有紀子、木村 仁美、日高さおり	5月9日
(172名)	演奏者：石原有希子、奥村 静香、浅田 真生	5月16日
(125名)	演奏者：上田 愛彦、宮本 祥子	5月23日
(64名)	演奏者：広島文化学園大学	6月20日
(82名)	演奏者：カウオティム・リコーダー・アンサンブル	6月27日

事業名	事業内容	実施期間
(112名)	演奏者：広島文化学園大学	7月4日
(177名)	演奏者：石原有希子、大下枝里子、浅田 真生	7月18日
(102名)	演奏者：静間 千聖	7月25日
(128名)	演奏者：上野 眞樹、吉野 妙	8月1日
(106名)	演奏者：城本 朝子、笠井 悦子	8月8日
(112名)	演奏者：上田 愛彦ほか	8月15日
(154名)	演奏者：ムジーク・ノイエス(永井 匠子、宮本 尚代、西原知加子、梅田 真由美、岡崎謙一郎)	8月22日
(106名)	演奏者：高橋 正実	8月29日
(131名)	演奏者：平福 知夏、松田亜希子、藤本佳奈美	9月5日
(82名)	演奏者：塩見 貴子	9月12日
(111名)	演奏者：高橋 洋子、赤木奈穂子、進行：江森 早穂	9月19日
(87名)	演奏者：山崎 賀子、長増 野枝、濱田 結衣	9月26日
(91名)	演奏者：常政 俊樹、豎本 義一	10月3日
(122名)	演奏者：末永 幸子、梶矢 民子	10月10日
(137名)	演奏者：森岡 奏山、高橋 洋子、豊田雅佳容	10月17日
(237名)	演奏者：二野宮賀子、福政 歩	10月31日
(131名)	演奏者：上谷遼太郎、下瀬 智子	11月7日
(83名)	演奏者：平井千香子、上田尾茉耶	11月14日
(104名)	演奏者：河口 愛幸	11月21日
(91名)	演奏者：竹本 直子、河越 香織	12月5日
(76名)	演奏者：MEGU	12月12日
(82名)	演奏者：若岡 史子、福島 由美、川崎 吹山	12月19日
(226名)	演奏者：上野 眞樹、近藤 智子、吉野 妙	平成28年1月2日
(149名)	演奏者：福原 一閑、岩村 尚子	1月3日
(119名)	演奏者：武安 宏子、下瀬 智子	1月9日
(84名)	演奏者：chicky	1月16日
(83名)	演奏者：piko*toano(尼子 結衣、松尾 友紀)	1月23日
(194名)	演奏者：デ・アリード(道田 伸久、上野 友隆、佐崎 明宏、道田 奈美)	2月6日
(153名)	演奏者：石原有希子、大下枝里子	2月13日
(165名)	演奏者：森岡 奏山、高橋 洋子ほか	2月27日
(159名)	演奏者：松本安貴子、龍山 沙羅	3月5日
(102名)	演奏者：広島文化学園大学	3月12日
171名	磯江毅展	
(171名)	「秋友ともみフラメンコライブ」 出演：秋友ともみ(バイレ/踊り)、スペイン舞踏スタジオ「秋」-Aqui-メン バー(バイレ/踊り)、梶原 龍(ギター)	平成27年4月4日 14:30~ 15:30~
237名	京都市美術館名品展	
(237名)	ロビーコンサート「たおやかな麗人“柳原白蓮”の短歌を歌う」 出演者：二野宮賀子(ソプラノ)、福政 歩(ピアノ)	平成27年10月31日
1,420名	大植英次プロデュース「威風堂々クラシック in Hiroshima」	
(720名)	演奏：尾崎 有飛、甲斐 史郎、大植 英次、保屋野美和(ピアノ) 小林 良子(ソプラノ)、佐々木有紀(アルト)、澤原 行正(テノール)、 折河 宏治(バリトン)、広島心音合唱団 I	平成27年11月28日
(700名)	演奏：保屋野美和、尾崎 有飛、大植 英次(ピアノ)、広島心音合唱団 II	平成27年11月29日
62名	北斎の富士展	
(62名)	ロビーコンサート番外編「謡&北斎展トーク」 出演・講師：山下 寿水(当館学芸員)	平成28年1月30日
ハイビジョンブース	当館制作のハイビジョン番組(22番組)の視聴	常時
デジタルミュージアム	当館の案内や所蔵作品の検索、世界の美術館の情報などを検索	常時
美術館ホームページ運用	当館のホームページで、当館の情報を自由に検索 http://www.hpam.jp/	常時

事業名	事業内容	実施期間
児童・生徒		
学校、地域との関連事業 美術作品鑑賞教室(作品持参) 135名	当館の所蔵作品を学校へ持ち込み、学芸員が自ら解説を行うことにより、児童生徒が豊かな感性を育む機会を提供するとともに、学校連携を深めることに努めた。	
(40名)	福山市立内海中学校(中学生1-3年生、小学生3-6年生)	平成27年10月29日
(54名)	府中町立府中北小学校(6年生)	11月2日
(41名)	呉市立広南小学校(5-6年生)	12月1日
親子ギャラリートーク 8名	子どもたちが保護者とともに美術作品に親しめるよう、主に小学5、6年生(特別支援学校の相当学年を含む。)を対象として、友の会ギャラリーガイドが所蔵作品展示をわかりやすく解説した。	毎月第4土曜日 (11:00~)
ワークシートの作成	所蔵作品を鑑賞する児童・生徒に対し、学習補助教材として主要作品のワークシートを提供した。 (現在315種)	
日本伝統工芸展出張授業 124名	希望校に日本工芸会正会員等が出向いて授業を行うことで、児童の制作の現場に接する機会を提供し、伝統工芸への理解を促進した。	
(19名)	福山市立山手小学校 講師：山根 宏造(陶芸)	平成27年12月10日
(45名)	安芸太田町立戸河内小学校 講師：今田 拓志(陶芸)	12月15日
(24名)	廿日市市立吉和小学校 講師：小林 松斎(木工)	平成28年1月19日
(9名)	県立尾道特別支援学校 講師：栗根 仁志(七宝)	1月28日
(27名)	三原市立沼田西小学校 講師：田代 昭夫(漆芸)	2月9日
手で見る展覧会	縮景園の「梅実収穫行事」に併せ、特別支援学校(視覚障害)の児童・生徒が作品に直接触れて美術を鑑賞する機会を提供した。	平成27年5月26日
各種リーフレット作成	施設案内、年間スケジュール等の美術館の活動について、広く県民へ告知した。	
友の会ギャラリーガイド	県立美術館友の会のボランティアのギャラリーガイドにより所蔵作品展の解説をした。	
(一般ガイド) 838名 (団体ガイド) 329名	火~金曜日の14:00から実施(土・日・祝日は11:00からも実施)	
展示施設等貸出	展示施設等(県民ギャラリー・講堂)を貸出することにより、生涯学習の発表の場及び機会を提供し、県民の創作活動を支援した。	
観覧者等 132,773名	県民ギャラリー 利用団体数98団体、利用日数588延日 講堂(県民ギャラリー全室利用に併せ、展示室として利用)	平成27年4月1日 ~平成28年3月31日
利用者 5,680名	講堂 利用団体数50団体、利用日数67日	平成27年4月1日 ~平成28年3月31日

V 業務一覧

広島県立美術館学芸員が平成27年度に行なった業務を報告する。

内容は、1. 美術館内での業務等(館主体事業)、2. 美術館外での業務等(他からの招聘等)、3. 調査・研究活動、4. 社会貢献活動等、に分類・配列し、記載している。

学芸課職員の構成及び担当分野は次のとおり。

向田 裕始(学芸統括マネージャー)	宮本真希子(主任学芸員、工芸)
角田 新(主任学芸員、日本洋画)	福田 浩子(主任学芸員、工芸)
石川 哲子(主任学芸員、彫塑)	藤崎 綾(主任学芸員、日本洋画)
山下 寿水(学芸員、西洋美術)	隅川 明宏(学芸員、日本画)

■ 向田 裕始

1 美術館内での業務

【担当業務】

- ・学芸課の総括

【教育支援(教育普及)】

- ・博物館実習講義「美術館と学芸業務」
- ・美術作品鑑賞教室(出張講座)

8/28 宮島市民センター、10/15 広島市三篠公民館、12/18 広島市坪井公民館、
11/28 広島県立三次看護学校、2/6 広島市五月が丘公民館、2/17 広島県立三次看護専門学校

2 美術館外での業務

【講座・講演等】

- ・9/19 広島県ヘリテージマネージャー養成講習会講師「文化財保護制度」、「広島県の文化財」(広島県建築士会)
- ・3/13 第19回文化財講演会講師「東広島市の石造物について」(東広島市東西条地域センター)

3 調査研究活動

- ・「第63回全国博物館大会報告 分科会2 博物館と異業種連携」執筆『博物館研究』第51巻第3号 通巻573号
- ・「指定文化財解説」『三原市の文化財』執筆

4 社会貢献活動

【外部委員等】

- ・「近世・近代の石見焼の研究」客員研究員検討会協力員(島根県教育庁)
- ・三原市文化財保護審議会委員(三原市教育委員会)
- ・世羅町文化財保護委員会委員(世羅町教育委員会)
- ・世羅町大田庄歴史館運営委員会会長(世羅町教育委員会)
- ・三原市佛通寺文化財等調査委員会委員(三原市教育委員会)
- ・廿日市市宮島歴史民俗資料館協議会委員(廿日市市教育委員会)

■ 宮本真希子

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・特別展「第62回日本伝統工芸展」(主担当)
- ・所蔵作品展第2期「日本とアジアの工芸作品～つながる心 平和の礎～」(2階第4展示室)(主担当)

【教育支援(教育普及)】

- ・博物館実習
見学実習：6/25(県立広島大学人間文化学部4名)、7/2(県立広島大学人間文化学部4名)、11/28(広島大学学芸員資格取得特定プログラム50名)、12/12(広島修道大学人文学部人間関係学科教育学専攻28名)、12/12(広島市立大学国際学部24名)
館園実習：8/20～8/25(5日間、9大学17名)
- ・美術作品鑑賞教室(作品持参)
10/29(福山市立内海中学校1-3年生16名、同校区内小学校3-6年生24名)、11/2(府中町立府中北小学校6年生54名)、12/1(呉市立広南小学校5-6年生41名)
- ・出張講座
7/1(「鬚光(アートカード)」、北広島町立豊平小学校40名)、10/2(「美術作品を通して郷土・瀬戸内について学ぶ」、呉市立豊小学校46名)、12/17(「美術作品を通して郷土・瀬戸内について学ぶ」、廿日市市平良市民センター30名)、1/13(「漆芸家・六角紫水」、県立広島中央特別支援学校3名)、2/20(「日本伝統工芸展」、広島市石内公民館15名)
- ・「第62回日本伝統工芸展」
ギャラリートーク：2/26、3/4、3/11(23-29名/回)
親子ガイドブック作成(A4判16ページ、6000部)
- ・第2期所蔵作品展展示室内閲覧用カタログ作成(A4判30ページ)

【広報活動】

- ・所蔵作品展第2期「日本とアジアの工芸作品～つながる心 平和の礎～」テレビ出演：NHK広島放送局ローカルニュース(7月)
- ・所蔵作品展第2期広島県立美術館ブログ投稿7回(7～9月)
- ・「第62回日本伝統工芸展」寄稿(作品解説11篇)：朝日新聞(2/24、2/25、2/26、2/27、2/29、3/4)
- ・「第62回日本伝統工芸展」ラジオ出演：NHK広島放送局「金曜どお～かいの」(2/19)

2 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・清水南山に関する調査研究：三原市リージョンプラザ(7月)、南山資料館(7月・1月)、東京藝術大学大学美術館・東京藝術大学工芸科彫金研究室(9月)、所蔵者宅(東京、9月)、東京藝術大学教育学部教育資料編纂室・東京藝術大学附属図書館・東京文化財研究所(12月)、靖国神社(3月)、所蔵者宅(東京、3月)、住吉大社(3月)、法隆寺(3月)
- ・寄贈作品調査：所蔵者宅(福山市、4月)、所蔵者宅(呉市、12月)

3 社会貢献活動

【所属学会、外部委員、審査員など】

- ・日本漆工史学会
- ・第28回東広島市美術展覧会審査－彫刻・工芸・部門－
- ・第36回伝統文化ポラ賞推薦
- ・第26回タカシマヤ美術賞推薦

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・特別展「スペイン・リアリズム絵画の異才 磯江毅 -広島への遺言展-」(主担当)
- ・特別展「浮世絵師 歌川国芳」(副担当)
- ・特別展「広島・長崎 被爆70周年 戦争と平和展」(副担当)
- ・特別展「北斎の富士 富嶽三十六景と富嶽百景」(副担当)
- ・特別展「第62回日本伝統工芸展」(副担当)
- ・特別展「天下太平 徳川名宝展」(次年度・副担当)
- ・コレクション展Ⅳ期「形と彩りの前衛-高橋秀を中心に」(主担当)

【教育支援(教育普及)】

- ・磯江毅展ギャラリートーク：3/27、4/3、4/10、4/17、4/24、5/1、5/8、5/15、5/22 各11:00～
3/27、4/10、4/24、5/8日、5/22 各18:00～
参加者：計425人
- ・博物館実習(美術館の展示環境について)：8/20
- ・博物館実習(作品取扱い)：8/21
- ・友の会ギャラリーガイドレクチャー：9/6
- ・NHK文化センター広島教室講座：1/13「形と彩りの前衛-高橋秀を中心に」展出品作品について

【広報活動】

- ・広島交響楽団第348回定期演奏会プログラム
「スペイン・リアリズム絵画の異才 磯江毅 広島への遺言」展 紹介(4月17日)
- ・エフエムおのみち『よっちゃんのちょっといい話』(4月7日)
- ・エフエムはつかいち『いきいきファクトリー』(4月8日)
- ・エフエムはつかいち『昼はまるごと! 761』(4月28日)
- ・エフエム広島『柏村武昭のだんらんラジオ』(5月1日)
- ・エフエムふくやま『GO! GO! Bびんご〜』(5月5日)
- ・「特別展の紹介 磯江毅」『色絵馬』(広島県立美術館友の会会報 No.71)
- ・広島県立美術館ホームページ・ブログ投稿(3/12「磯江毅展目下準備中(1)《磯江氏のアトリエに行ってきました。》」)
- ・広島県立美術館ホームページ・ブログ投稿(3/17「磯江毅展目下準備中(2)《磯江氏のアトリエに行ってきました②。》」)
- ・広島県立美術館ホームページ・ブログ投稿(3/26「磯江毅展目下準備中(3)《磯江展 開幕です》」)
- ・広島県立美術館ホームページ・ブログ投稿(4/6「磯江毅展開幕しました《今回は開幕前を振り返って展示作業のご紹介です》」)
- ・広島県立美術館ホームページ・ブログ投稿(3/26「磯江毅展の会場から(1)《鯛》」)
- ・広島県立美術館ホームページ・ブログ投稿(3/26「磯江毅展の会場から(2)《ワークショップ『ちょこっと磯江体験』》」)
- ・広島県立美術館ホームページ・ブログ投稿(3/26「磯江毅展の会場から(3)《デッサン芸術を切り拓く》」)

2・3 美術館外での業務等・調査研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・広島ゆかり作家・作品調査：南薫造(5/18- 5/19)、久保俊寛(8/7)、太田忠(9/25)、
吉田卓他(12/5・1/30)

【館内出版物への執筆】

- ・「広島・長崎 被爆70周年-戦争と平和展」図録執筆：作品解説

4 社会貢献活動等

- ・広島県環境月間ポスター審査員(4/8)
- ・公益社団法人広島市文化財団「美術ひろしま」編集委員
- ・東広島市市立美術館美術品等収集評価委員会委員
- ・広島市公文書館「被爆70年史編修研究会」会員
- ・平成27年度広島市立大学芸術資料館購入予定作品評価委員

■ 福田 浩子

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・所蔵作品展第1期「民芸運動の旗手たち－河井寛次郎を中心に」(主担当)
- ・特別展「京都市美術館名品展 うるわしの京都 あこがれの美」(主担当)
- ・28年度特別展「徳川家康没後400年記念 天下太平 徳川名宝展」(サポート)

【教育支援(教育普及)】

- ・所蔵作品展第1期「民芸運動の旗手たち－河井寛次郎を中心に」ギャラリートーク 5月21日、コラボトーク 5月29日
- ・所蔵作品展第1期「驚くべき技と美」コラボトーク 6月12日
- ・京都市美術館名品展ギャラリートーク(11/6、20、12/4、11、18、11/6は2回)
- ・京都市美術館名品展団体解説(11/20、11/27、12/2、12/9)
- ・京都市美術館名品展ワークショップ「カード織りで紐作りを体験しよう！」11月7日
- ・手で見ると見ると 5月26日
- ・出張講座「タマネギで三色染まってビックリ仰天！」7月24日広島市牛田公民館、8月7日福山市駅家東公民館、8月10日竹原市立大井公民館、8月17日坂町立坂中学校、8月18日廿日市市友和文化センター、8月20日福山市常金丸公民館、9月5日広島市吉見園公民館、3月12日広島市彩が丘公民館
- ・出張講座「シルクロードのパラオを作って食べよう！」8月8日千代田中央公民館、9月14日広島市五月が丘公民館、9月26日広島市五日市中央公民館
- ・出張講座「びじゅつかんのおしごと」11月9日広島市立深川小学校、11月28日廿日市串戸市民センター
- ・広島大学教育学部講座「美術館と学校の連携について」1月29日

【研修・自己啓発】

- ・ラック研究会・講演会(2/13京都府立大学)
- ・ブータン織物構造研究(2/26-29)

【広報活動】

- ・4月19日 NHK広島放送局 ニュース 所蔵作品展第1期「民芸運動の旗手たち－河井寛次郎を中心に」
- ・12月10日 毎日新聞 備後面「京都市美名品展」
- ・11月1日 NHK広島放送局 ニュース(京都市美名品展)
- ・11月3日 エフエムおのみち 展覧会紹介(京都市美名品展)
- ・11月27日 エフエムふくやま 展覧会紹介(京都市美名品展)

広島県立美術館メールマガジン

- ・5月28日 No.341 「民芸運動の旗手たち－河井寛次郎を中心に」 みどころ[1]
- ・6月9日 No.343 「民芸運動の旗手たち－河井寛次郎を中心に」 みどころ[2]
- ・6月19日 No.344 「民芸運動の旗手たち－河井寛次郎を中心に」 みどころ[3]あるいはバーナード・リーチの料理
- ・6月24日 No.345 「民芸運動の旗手たち－河井寛次郎を中心に」 みどころ[4]あるいはバーナード・リーチのライスカレーレシピ
- ・10月21日 No.371 京都市美術館名品展 うるわしの京都 あこがれの美 開幕直前特集！ 予習篇(その1)日本画大作72点を一堂に！

- ・10月27日 No.372 京都市美術館名品展 うるわしの京都 あこがれの美 開幕直前特集！ 予習篇(その2)音声ガイドも楽しみに！
- ・11月16日 No.376 京都市美術館名品展 うるわしの京都 あこがれの美 みどころ[1]
- ・11月20日 No.377 京都市美術館名品展 うるわしの京都 あこがれの美 みどころ[2]
- ・11月24日 No.378 京都市美術館名品展 うるわしの京都 あこがれの美 みどころ[3]
- ・12月1日 No.380 京都市美術館名品展 うるわしの京都 あこがれの美 みどころ[4]
- ・12月5日 No.381 京都市美術館名品展 うるわしの京都 あこがれの美 みどころ[5]
- ・12月9日 No.382 京都市美術館名品展 うるわしの京都 あこがれの美 みどころ[6]

2 美術館外での業務等

【講座・講演・シンポジウム等】

- ・岩立フォークテキスタイルミュージアム「中央アジアの刺繍布スザニー針と糸の宇宙」(8/25東京都目黒区)
- ・広島大学附属三原中学校鑑賞授業「学芸員の仕事について」講師(11/11、12/5三原市)

【その他】

- ・メキシコ・グアナファト州との友好提携に関わる展示コーナー(1/20～6/8 地階ロビー)

3 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・陶磁作品調査(5/29、10/19)
- ・漆工作品調査(4/4、4/6、5/27)
- ・染織作品調査(6/2、9/1、9/20、3/22)
- ・ブータン王国工芸品調査(9/7-11)

4 社会貢献活動

【所属学会】

- ・日本中央アジア学会、漆工史学会、全国美術館会議情報・資料研究部会

■ 石川 哲子

美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・特別展「生誕80周年記念 藤子・F・不二雄展」(主担当)
- ・広島県ジュニア展(主担当)
- ・所蔵作品展3期「新しい仲間たちを紹介！－平成26年度に収集した作品を中心に」(彫刻担当)

【教育支援(教育普及)】

- ・作品解説会
所蔵作品展1期コラボトーク 6/12
- ・出張講座
「野外彫刻をめぐる旅～広島平和記念公園から」10/30 広島市大塚公民館、11/30 広島市大塚公民館、
2/10 広島市立古田台小学校

【所属学会、審査員】

- 美術史学会、美学会
- 広島県献血推進ポスター審査員

■ 藤崎 綾

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・特別展「磯江毅」展(副担当)
- ・広島県美術展(主担当)
- ・広島県ジュニア美術展(副担当)
- ・コレクション展Ⅲ期「新しい仲間たちを紹介！－平成26年度に収集した作品を中心に」(主担当)
- ・東山魁夷展(次年度・主担当)

【教育支援(教育普及)】

- ・友の会「もっと知ろうシリーズ」39：7/12(山路商)
- ・友の会ギャラリーガイドレクチャー：8/1
- ・博物館実習(作品取扱い)：8/21
- ・コレクション展Ⅲ期リーフレット解説
- ・美術作品鑑賞教室(出張講座)：9/8「よく見て発見 自画像のひみつ」(尾道市立栗原小学校)、9/30「みんなで絵画探偵！(緒方亮平《南の室》)」(府中市立上下北小学校)、10/21「フジタさんの絵のヒミツ(藤田嗣治《婦人像(リオ)》)」(広島市立大芝小学校PTC)、10/22「みんなで絵画探偵！」(三原市立幸崎小学校)、10/31「広島で絵画の探検 楽しみ方のヒント 日本の油絵編」(広島市中央公民館)、11/12「フジタさんの絵のヒミツ」(府中町立府中東小学校)、12/1「よく見て発見 自画像のひみつ」(4年生)・「みんなで絵画探偵！」(5・6年生)(広島市立山田小学校)、「みんなで絵画探偵！」(5年)1/13(広島市立八幡東小学校)、2/16「絵画の探検 楽しみ方のヒント 広島で見られる日本の油絵」(広島県立三次看護専門学校)
- ・コレクション展ミニギャラリートーク：11/14「広島の前衛画家－鬘光と船田玉樹」
- ・NHK文化センター広島・文化講座：11/18「コレクション展Ⅲ期4室『新しい仲間たちを紹介！』に見る 日本の油絵作品」

【広報活動】

- ・「所蔵品紹介 鶴岡政男」『色絵馬』(広島県立美術館友の会会報)No.73
- ・広島県立美術館メールマガジン(10/2コレクション展見どころ－緒方亮平《南の室》)
- ・広島県立美術館ホームページ・ブログ投稿(10/26「HPAMコレクションから 鬘光《花》」、11/30「HPAMコレクションから 緒方亮平《南の室》」)
- ・「あーと散歩」『プレスネット』(10/17新収蔵品作品展から)
- ・「表紙作品解説 川瀬巴水《巖島の雪》」『色絵馬』(広島県立美術館友の会会報)No.74
- ・「東山魁夷展(2016年必見の展覧会ベスト200)」『美術の窓』2016年2月号

2 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・広島ゆかり作家・作品調査：山路 商(5/12)、南 薫造(5/18-5/19)、久保 俊寛(8/7)、太田 忠(9/25)、国盛 義篤(3/29)、山路 商作品調査(3/6)

【館内出版物への執筆】

- ・(作家・作品解説)『戦争と平和展』図録

【館外出版物への執筆・発表】

- ・(作家紹介)入野 忠芳『ヒロシマ70』展パンフレット(会期：6/4-7/12 於：泉美術館)

3 美術館外での業務等

- ・全国美術館会議・地域美術研究部会第3回(口頭発表)「広島の近代洋画史に見る山路商、鬘光の時代」(11/25)
- ・第18回版画史研究会(口頭発表)「南薫造の版の仕事－関連資料との比較と作例紹介」(12/19)

4 社会貢献活動・所属学会等

- ・全国美術館会議 地域美術研究部会

■ 山下 寿水

1 美術館内での業務

【担当展覧会】

- ・特別展「広島・長崎被爆70周年 戦争と平和展」(主担当)
- ・特別展「北斎の富士 富嶽三十六景と富嶽百景」(主担当)
- ・特別展「大恐竜展 よみがえる世界の恐竜たち」(主/副担当、次年度開催)
- ・特別展「だまし絵の巨匠エッシャー展 不思議な版画の世界」(主担当、次年度開催)

【教育支援(教育普及)】

- ・学校の団体利用に関すること(担当)
- ・美術品等の補修整備に関すること(担当)
- ・広島県美術館ネットワークに関すること(担当)
- ・「戦争と平和展」ギャラリートーク(一般向け): 7/31、8/14、8/28、9/11
- ・「戦争と平和展」ギャラリートーク(団体向け): 7/30、8/29、9/9
- ・「戦争と平和展」シンポジウム講師: 8/23
- ・「戦争と平和展」美術講座講師: 9/5
- ・「北斎の富士展」ギャラリートーク(一般向け): 1/8、1/15、1/22、1/29、2/5、2/12
- ・「北斎の富士展」ギャラリートーク(団体向け): 1/14、1/15、1/30、2/10
- ・「北斎の富士展」ロビーコンサート演者: 1/30
- ・美術作品鑑賞教室・出張講座「ダリって誰?」: 12/16、1/26、2/10
- ・美術作品鑑賞教室・出張講座「戦争と平和展」: 7/29
- ・美術作品鑑賞教室・出張講座「北斎の富士展」: 12/18、12/21、1/13、1/14、1/15、1/18(同日2回)、1/25、1/28
- ・NHK文化センター「広島県立美術館所蔵作品の魅力」講師: 3/16

【広報活動】

- ・「戦争と平和展」テレビ・ラジオ出演: 7/25、7/28、8/3、8/4、8/6、8/14
- ・「北斎の富士展」テレビ・ラジオ出演: 12/22、1/1、1/5(2回)、1/7、1/14、2/1
- ・「戦争と平和展」新聞寄稿: 公明新聞(7/1)、新美術新聞(7/21)、読売新聞広島版(8/23)、毎日新聞備後版(8/27)、中国新聞(9/5)
- ・「戦争と平和展」雑誌等寄稿: 『色絵馬』72号(広島県立美術館友の会)、『美術の窓』2015年8月号(生活の友社)
- ・「北斎の富士」新聞原稿寄稿: 1/21
- ・広島県立美術館メールマガジン執筆: 「戦争と平和展」関連(7/25、8/12、8/29、9/2)
- ・広島県立美術館メールマガジン執筆: 「北斎の富士展」関連(12/25、1/2、1/10、1/20、2/6、2/12)

2 美術館外での業務等

【講座・講演・シンポジウム等】

- ・講座「芸術家はいかに戦争と向き合ってきたのかー戦争と平和展から見る『平和』の表象」、広島西南ロータリークラブ例会卓話(ANAクラウンプラザホテル広島): 8/11
- ・トークショー「絵画のメディアムとは」、「HAL(L)O! SOMEWHERE」展トークショー(創治朗-Contemporary Art Gallery-、伊丹): 11/8
- ・「ギャラリーさんぽ」コンダクター、広島ギャラリーマップ関連企画「広島写真」関連イベント(gallery G、ギャラリーブラック、NSA、ギャラリー交差611): 3/4

3 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・独立行政法人国立美術館キュレーター研修(東京国立近代美術館)：10/27-12/15

【館内出版物への執筆】

- ・「広島・長崎 被爆70周年－戦争と平和展」図録執筆：
小論「広島・長崎における希望の表象－生き残るイメージ」、章解説、作品解説

【館外出版物への執筆】

- ・「現代作家が描く画家たちと戦争 後藤靖香」、『美術手帖』2016年9月号[特集：画家たちと戦争]、美術出版社
- ・シンポジウム「戦争画と「原爆の図」をめぐって－その政治性と芸術性の問題」報告、『広島芸術学会会報』134号、広島芸術学会
- ・「『記憶の継承』に取り組む」、『月刊美術』2015年12月号[特集：アート・オブ・ザ・イヤ－2015]、サン・アート
- ・「想起される記憶、あるいは答え無き空想」、鹿田義彦「Dual Thinking」展(10/27-11/1開催)テキスト

4 社会貢献活動等

【所属学会、外部委員、審査員など】

- ・広島芸術学会 幹事

■ 隅川 明宏

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・広島県美術展(副担当)
- ・特別展「浮世絵師 歌川国芳」(主担当)
- ・特別展「京都市美術館名品展 うるわしの京都 あこがれの美」(副担当)
- ・特別展「天下太平 徳川名宝展」(次年度・主担当)

【教育支援(教育普及)】

- ・所蔵作品展ギャラリーガイド・レクチャー：3/5
- ・所蔵作品展コラボトーク：5/21、6/12
- ・特別展「浮世絵師 歌川国芳」に関する
 - ①美術講座「国芳の魅力を探る」：9/27
 - ②出張講座：8/28、10/2
 - ③ギャラリートーク(一般)：9/18、9/25、10/2、10/9、10/16
 - ④ギャラリートーク(団体)：9/18、9/28、10/6、10/16、10/17
 - ⑤ワークショップ補助：10/10
- ・特別展「京都市美術館名品展」ギャラリートーク：12/11
- ・NHK文化センター「広島県立美術館所蔵作品の魅力」講師：12/16

【広報活動】

- ・特別展「浮世絵師 歌川国芳」に関する
 - ①テレビ、ラジオ(出演)：8/31、9/12、9/15、9/16、9/23、9/29、10/1
 - ②新聞、雑誌(寄稿)：『中国新聞』文化面(9/26)、『毎日新聞』備後面「毎日美術館」(10/1)、『月刊 経済春秋』9月号、『Grandeひろしま』秋号、『色絵馬』73号
 - ③美術館公式メールマガジン(執筆)：9/5、9/16
- ・特別展「天下太平 徳川名宝展」に関する雑誌(寄稿)：『月刊 経済春秋』3月号

2 美術館外での業務等

【講座・講演・シンポジウム等】

- ・安芸高田市民文化セミナー「児玉希望と和高節二」講師：12／9

3 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・広島の近世美術に関する調査・研究
- ・寄贈・寄託申込み作品等に関する調査・研究

【館内出版物への執筆】

- ・「広島・長崎 被爆70周年－戦争と平和展」図録(作家・作品解説)

4 社会貢献活動

【所属学会、外部委員、審査員など】

- ・所属学会
文化史学会

Ⅵ 入館者数一覧

展覧会名	所蔵作品展	特 別 展					
		磯江毅展	第3回新県美展 (第67回広島県美術展)	藤子・F・ 不二雄展	戦争と平和展	歌川国芳展	
開催期日	H27.04.01 } H28.03.31	H27.03.25 } H27.05.24	H27.06.20 } H27.07.05	H27.07.18 } H27.09.06	H27.07.25 } H27.09.13	H27.09.11 } H27.10.18	
開催日数	344 日	61 日	16 日	51 日	51 日	38 日	
個人	一 般	1,741	9,075	3,313	30,843	2,695	12,002
	高・大学生	170	372	87	1,854	421	373
	小・中学生	—	283	72	11,913	—	622
	小 計	1,911	9,730	3,472	44,610	3,116	12,997
団体	一 般	2,092	6,215	641	29,658	1,876	21,113
	高・大学生	311	487	8	1,029	75	1,019
	小・中学生	—	112	13	9,737	—	873
	小 計	2,403	6,814	662	40,424	1,951	23,005
有料入館者数	4,314	16,544	4,134	85,034	5,067	36,002	
招待者等	70,231	4,276	2,676	26,900	3,200	5,079	
合計 (観覧者総数)	74,545	20,820	6,810	111,934	8,267	41,081	
一日あたり 観覧者数	217	341	426	2,195	162	1,081	

(注) 1日あたり観覧者数は、小数点以下第1位を四捨五入。

所蔵作品展の団体人数には、所蔵作品展と縮景園の共通入館者を含む。

所蔵作品展の「高・大学生」欄は、平成14年度の条例改正の無料化により、高校生を含まない。

所蔵作品展の招待者等には、減免及び無料入館者を含む。(平成14年度の条例改正により無料化した小・中・高校生で内数。)

「第3回新県美展(第67回広島県美術展)」、「第4回広島県ジュニア美術展」以外は実行委員会主催。

団体人数には、前売り及び割引入館者を含む。

「戦争と平和展」、「日本伝統工芸展」は中学生以下を無料とした。

展 覧 会 名	特 別 展					合 計	総 計
	京都市美術館 名品展	第4回 広島県ジュニア美術展	北斎の富士展	第62回 日本伝統工芸展			
開 催 期 日	H27.10.31 ┆ H27.12.23	H27.12.16 ┆ H27.12.24	H28.01.02 ┆ H28.02.14	H28.02.24 ┆ H28.03.13			
開 催 日 数	54 日	9 日	44 日	19 日	343 日	687 日	
個 人	一 般	3,400	—	10,577	3,124	75,029	76,770
	高・大学生	128	—	383	85	3,703	3,873
	小・中学生	53	—	528	—	13,471	13,471
	小 計	3,581	0	11,488	3,209	92,203	94,114
団 体	一 般	3,803	—	16,621	3,593	83,520	85,612
	高・大学生	85	—	273	128	3,104	3,415
	小・中学生	117	—	805	—	11,657	11,657
	小 計	4,005	0	17,699	3,721	98,281	100,684
有料入館者数	7,586	0	29,187	6,930	190,484	194,798	
招待者等	2,585	4,691	5,173	2,211	56,791	127,022	
合 計 (観覧者総数)	10,171	4,691	34,360	9,141	247,275	321,820	
一日あたり 観 覧 者 数	188	521	781	481	721	468	

Ⅶ 美術品等収集状況

分野別収集美術品数一覧

(平成28年3月31日現在)

種 目		一般購入	基金購入 (H2年度以降)	購入総数	寄 附	所 管 換	合 計	受 託
絵 画	日 本 画	46	60	106	232 (2)	3	341 (2)	12
	油 彩 画	230	62	292	491 (2)	4	787 (2)	207 (6-0)
	水 彩 画	89	4	93	148	0	241	1
	素 描	44	20	64	291	0	355	20
	パステル画 アクリル画	1	0	1	6	0	7	0
	版 画	53	180	233	331	0	564	0
	拓 本	26	0	26	51	0	77	0
	平面造形ほか	3	56	59	2	0	61	0
彫 塑	8	23	31	70 (2)	0	101 (2)	6 (4-0)	
工 芸	112	1,184	1,296	296 (33)	4	1,596 (33)	5	
書	5	0	5	93	1	99	0	
美 術 資 料	2	2	4	668	0	672	2	
合 計	619	1,591	2,210	2,679 (39)	12	4,901 (39)	253 (10-0)	

※()内は27年度の収集点数。受託欄は、左側が受託数、右側が返還数、合計欄は差引数。

収集美術品一覧

No.	分類	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	材質・技法	取得区分
1	油彩画	吉田 卓	裸婦	1926(大正15)頃	91.0×72.5×D2.4	画布・油彩	寄附
2	油彩画	石川 寅治	風景	1918(大正7)	45.6×38.0×D1.9	画布・油彩	寄附
3	日本画	熊谷 直彦	十二ヶ月山水図	不詳	各128.5×49.5	絹本彩色・押絵貼	寄附
4	日本画	名草 逸峰	玉堂富貴図	1885(明治18)	137.5×52.3	紙本墨画	寄附
5	漆 工	六角 紫水	福槌	不詳	6.3×4.2×8.7	陶胎か・漆・螺鈿	寄附
6	漆 工	六角 紫水	刀筆銀文額 松に鳥	不詳	17.3×23.4(額23.3×29.4)	漆・銀・刀筆	寄附
7	漆 工	六角 紫水	菱文螺鈿煙草盆	1919(大正8)	20.5×29×高10	漆・螺鈿・蒔絵	寄附
8	漆 工	六角 紫水	刀筆アルマイト文初秋之橋畔香合	不詳	径6.5×高1.4	漆・アルマイト・刀筆	寄附
9	漆 工	六角 紫水	漆絵鉢 万両	不詳	径28×高4	漆	寄附
10	漆 工	高中 惣六	乾漆蒔絵手箱 紫陽花	1933(昭和8)	29.2×35.5×高16.5	乾漆・蒔絵	寄附
11	漆 工	石井 馨堂	讃岐彫重箱	不詳	24.2×24.2×高44	木彫・彩漆	寄附
12	金 工	山本 晃	切嵌象嵌接合せ鉢「青凜」	2005(平成17)	高14.3 径19.5	銀・彫金	寄附
13	金 工	山本 晃	切嵌象嵌接合せ香炉「白鷺」	2012(平成24)	高12.5 最大幅13.5	銀・彫金	寄附
14	金 工	山本 晃	切嵌象嵌接合せ香炉「夕陽」	2012(平成24)	高12.5 最大幅12.0	銀・彫金	寄附
15	ガラス	船木 倭帆	垂描文鉢	不詳	径25.3×高19.4	吹きガラス	寄附
16	ガラス	船木 倭帆	花文鉢	不詳	径26.5×高8.9	吹きガラス	寄附
17	ガラス	船木 倭帆	翼文鉢	不詳	径23.3×高8.0	吹きガラス	寄附
18	ガラス	船木 倭帆	巴皿	不詳	径20.5×高1.4	吹きガラス	寄附
19	ガラス	船木 倭帆	巴皿	不詳	径20.0×高2.2	吹きガラス	寄附
20	ガラス	船木 倭帆	巴皿	不詳	径20.7×高2.0	吹きガラス	寄附
21	ガラス	船木 倭帆	リーフ文花瓶	不詳	径15.5×高27.8	吹きガラス	寄附
22	ガラス	船木 倭帆	渦巻プラント花瓶	不詳	径15.0×高23.7	吹きガラス	寄附
23	ガラス	船木 倭帆	線巻プラント花瓶	不詳	径10.2×高26.3	吹きガラス	寄附
24	ガラス	船木 倭帆	モール花瓶	不詳	径13.5×高25.4	吹きガラス	寄附
25	ガラス	船木 倭帆	飾双耳一輪挿し	不詳	幅9.8×高18.0	吹きガラス	寄附
26	ガラス	船木 倭帆	線巻蓋物	不詳	径11.0×高13.6	吹きガラス	寄附
27	ガラス	船木 倭帆	線巻蓋物	不詳	径12.8×高15.4	吹きガラス	寄附
28	ガラス	船木 倭帆	カラーモール筆立	不詳	径7.5×高11.9	吹きガラス	寄附
29	ガラス	船木 倭帆	インク壺	不詳	径6.0×高9.8	吹きガラス	寄附
30	ガラス	船木 倭帆	栓付角瓶	不詳	幅7.5×25.7	吹きガラス	寄附
31	ガラス	船木 倭帆	線巻レーマー杯	不詳	径7.5×高11.8	吹きガラス	寄附
32	ガラス	船木 倭帆	イチゴプラントレーマー杯	不詳	径8.3×高16.8	吹きガラス	寄附
33	ガラス	船木 倭帆	イチゴプラントレーマー杯	不詳	径7.5×高14.7	吹きガラス	寄附
34	ガラス	船木 倭帆	アラレモール脚ワイングラス	不詳	径7.0×高15.0	吹きガラス	寄附
35	ガラス	船木 倭帆	モール脚ワイングラス	不詳	径6.7×高13.6	吹きガラス	寄附
36	ガラス	船木 倭帆	カラーツイストワイングラス	不詳	径7.5×高20.0	吹きガラス	寄附
37	ガラス	船木 倭帆	ツイスト脚ワイングラス	不詳	径6.6×高16.8	吹きガラス	寄附
38	木 彫	中谷 翫古	題目踊	1922(大正11)	H98×W38.2×D34.8	木・彩色	寄附
39	鑄 造	上田 直次	杉本五郎像	1938(昭和13)	H90×W60×D65	ブロンズ	寄附
40	油彩画	太田 忠	雪景	1941(昭和16)	129.1×97.8	油彩・画布	受託
41	油彩画	太田 忠	備後の風景	1951頃(昭和26)	31.8×41.0	油彩・画布	受託
42	油彩画	太田 忠	ビルの裏街	1955(昭和30)	162.3×130.4	油彩・画布	受託
43	油彩画	太田 忠	晩秋	不詳	61.1×80.6	油彩・画布	受託
44	油彩画	太田 忠	カラック風景	1969(昭和44)	61.0×73.3	油彩・画布	受託
45	油彩画	太田 忠	農村の秋(オーベルニュ地方)	1970(昭和45)	131.0×162.3	油彩・画布	受託
46	木 彫	三沢 厚彦	Animal 2003-06	2003(平成15)	H70×37×162	木・彩色	受託
47	木 彫	三沢 厚彦	Animal 2006-05	2006(平成18)	H40×29×41	木・彩色	受託
48	木 彫	三沢 厚彦	Animal 2008-04	2008(平成20)	H48×45×80	木・彩色	受託
49	木 彫	三沢 厚彦	Dog 2009-02	2009(平成21)	H42.8×14.5×42	木・彩色	受託

○新収蔵作品より

吉田 卓《裸婦》

吉田卓(1897・明治30年－1929・昭和4年)は吉田弘蔵の次男(6人姉弟の第5子)として生れる。吉田家は代々福山藩の家老職をつとめた家柄の旧家。旧制の福山中学校(誠之館)に通学したが中途退学して上京、神田区の私立正則中学校に転校した。卒業後、川端画学校洋画科に入学、さらに本郷洋画研究所に転じた。大正11年(1922年)第9回二科展に「椅子に凭る」で初入選、以来、32歳で亡くなる昭和4年(1929年)の第16回展まで連続出品。同時に、日本水彩画会や中央美術展にも出品している。その作風は、初期の緻密な描写から写実、印象派風、セザンヌ風、分析的キュビズム、幻想的な画風、新古典主義風、フォービスム風など多様に変化している。二科展初入選時の作品では粗い筆致のフォービスム風、翌大正12年(1923年)の出品作では穏健な表現主義的作品。また大正13年(1924年)頃からは一転して立体主義的画風に変るが、大正14年(1925年)には新古典主義的作風の「横たわれる裸婦」を出品。大正15年(1926年)「羽扇を持てる裸婦」により、二科会の最高賞である二科賞を林重義、木下義謙、佐伯祐三とともに受賞。本作品は、第13回二科展(大正15(1926年))の出品作と伝わるもの。吉田はこの第13回二科展に出品した《羽扇を持てる裸婦》で林重義、木下義謙、佐伯祐三とともに二科賞を受賞しているが、本作は当時の吉田作品に共通する特徴的な雰囲気がよく現れた佳品と言える。キャンバスもコンディションから1920-30年代のものと考えられるが、当時としては大きなもので何等の展覧会出品作であったことが推測される。また、吉田卓は、T. yoshida もしくは 卓 のサインを使っているが、本作品のサインのように「T」が「J」のように見える作品は、1926、27年頃に数点認められ、さらに「羽扇を持てる裸婦」のサインに酷似していることから、同じ第13回二科展出品作である可能性は低くない。こうしたことから、本作品は吉田の基準となる作品の一つと考える。暗い色調ながらバランスのとれた温和な表現に、充実した作者の力量が見て取れる。

熊谷 直彦《十二ヶ月風景図》

熊谷直彦(1828・文政11年－1913・大正2年)は本姓を山本とする。京都に生まれ、養子となって広島藩京詰衣紋方の熊谷家を継いだ。幕末の頃には四条派の絵師として画名を上げるかたわら、尊王攘夷を唱えて東奔西走。明治4(1871)年に藩職を辞した後、侯爵・浅野長勲の家職として国内外の展覧会に出品、明治37年には帝室技芸員を拝命した。その作品は山水・人物に秀いで、代表作に《雨中山水》(東京国立博物館)などがある。本作においては、四条派らしい温雅な筆致と彩色によって山水風景を風趣豊かに表現するなかに、近代感覚豊かな写実味を展開している。作者円熟の技量がよく表われている。年紀等はないが、明治30年代頃の作品であろう。なお、熊谷直彦の作品について、当館での収蔵はこれまでなく、十二ヶ月図という形式においても初収蔵となる。

六角 紫水の漆工作品

六角紫水(1867・慶応3年－1950・昭和25年)は現在の江田島市大柿町に生まれ、東京美術学校(現・東京藝術大学)漆芸科を第一期生として卒業。若き日は岡倉天心の影響のもと、古社寺保存法による国宝指定調査に奔走して文化財保護制度の基盤整備に貢献し、以後、創作活動はもとより、漆芸に関する歴史的学術研究と科学的研究開発、時代の変遷に応じた応用範囲の拡大など多岐にわたり活躍。日本近代漆芸の先導者として重要な役割を果たした。東京美術学校教授、芸術院会員などを歴任。《福槌》は四分一風の灰色地で胴に鶴(表)と亀甲(裏)を黒漆で描き、鉈の両側面には黒漆地に渦紋の螺鈿を嵌入する。共箱蓋表に「福槌 紫水」蓋裏に「六角紫水作 福槌 好宗(易)」と記される。《刀筆銀文額 松に鳥》は薄肉の松樹に彫刻(刀筆)を加え、銀板レリーフによる鳥を貼り付ける。画面右下に「紫水」の刻銘がある。《煙草盆》は口縁部下方から強い胴張のある黒漆塗長方形の箱。口縁部に螺鈿と金蒔絵による菱文をめぐらせ、四隅には金銅製三つ葉形金具をとりつける。昭和12年5月6日大阪美術倶楽部「尾道小西_ニ某家所蔵品入札」の目録により六角紫作《螺鈿入梨地蒔絵会席家具》(大正8年制作)に含まれるものであることが確認できる。《刀筆アルマイト文初秋之橋畔香合》は橋畔の風景を表した金色アルマイトのレリーフを蓋上部中央に貼り付け、周囲側面は金平塵地。銀覆輪を巡らせ、内側は砂子風金地、底裏は黒漆塗で「紫水(花押)」の刻銘がある。共箱蓋表に「刀筆アルマイト文初秋之橋畔香合」、蓋裏に「紫水作(朱印)」と記される。《漆絵鉢 万両》は円形鉢の見込みに漆絵により万両の図を描く。左下方に草書体で「紫水(花押)」と記される。収納箱の蓋表に「飾皿」、蓋裏に「万両図 紫水作」「寿(光)識(朱文方印)」と記される。

山本 晃の金工作品

山本晃(1944・昭和19年-)は、昭和19(1944)年山口県生まれ。東京デザイナー学院工芸工業デザイン科卒業後、工業デザイナーになったものの、自由な表現を求めて帰郷し、ジュエリーデザイナーを経て現在の金工に取り組むようになった。金、銀、銅の配合比率を変えることで中間色を自作、金属の板を文様に合わせて切り抜き、同じ形に切った別の金属の板を象嵌する切嵌象嵌(きりばめぞうがん)や、パーツを接合して面を作る接合せ(はぎあわせ)といった独自の金工技術を駆使して制作を行う。多種の合金によるグラデーションや自然の事象など繊細な表現が特徴的。日本伝統工芸展を中心に作品を発表し、平成26(2014)年には重要無形文化財(彫金)保持者の認定を受けた。後進の育成にも力を入れている。《切嵌象嵌接合せ鉢「青凜」》は、竹林がモチーフとなった鉢で、銀に加え、金属比率を変えた多色の合金によるグラデーション効果が発揮されている。第52回日本伝統工芸展(平成17年)出品作。《切嵌象嵌接合せ香炉「白鷺」》は、四脚付で肩のある丸い器体に、片面に白鷺二羽が配され、もう片面には水と水草が表現される。蓋のつまみはトンボを象る。《切嵌象嵌接合せ香炉「夕陽」》は、八面に面取りした平たい器体の香炉で、側面に水上を飛ぶ銀と赤銅のトンボ、蓋にトンボの透彫を施す。

船木 倭帆のガラス作品

船木倭帆(1935・昭和10年－2013・平成25年)は鳥根県松江市に生まれる。生家は松江藩藩政事業として興された布志名窯窯元。父・道忠は民芸運動の要人と親しく交わりながらも創作的個性を表明して「後期民芸派」を自称したが、この生育環境と父の姿勢が作者の進む道に影響を与えた。鳥根大学を卒業後、大阪の清水硝子製作所、各務クリスタル製作所、九州民芸村ガラス研究所などを経て、昭和63年広島県福山市神南辺町に工房「グラスヒュッテ」を設立。日本におけるスタジオグラスの先導者として、宙吹きガラス実作者の第一人者として活躍した。国画会等所属団体展への出品のほか、公募展・企画展への招待出品多数、東京以西の広域で個展活動を展開した。吹きガラスの第一人者である船木倭帆による作品群。「日本の暮らしに馴染むガラス器の創作」「日常の生活に供される用と美の工芸」を基本に、ガラスという素材の持つ透明性や流体性といった特質や、工程における重力や遠心力といった自然の摂理と一体となり、これらと自らの創造性とを相乗させる制作姿勢をとった。その造形は自然で温かく、流れるように柔らかく、重量感と安定感がある。作者は成形中のガラスに別の色ガラスを溶着し、本体をさらに過熱してよく馴染ませ、回しながら宙吹きして仕上げる方法を盛んに試みており、線巻・リーフ文・小花文・垂描文などと表現のバリエーションに対応して名付けている。また、プラント(ルツボから巻き取ったガラスを植えるようにガラスの表面に接着する)、モール(金属製の格子状の型にガラスを吹き込むと金属に接した部分は急冷されて接しない部分と伸び方に違いが生じ、ふくらますと厚みにむらぎできて筋文様を生じる)なども作者の好む装飾法。受贈23点は作者の技法上の特色が伺える鉢や花瓶、その制作基盤を示す生活雑器(特にワイングラスを好んだ)などで構成され、作者の創作活動の全体像を思料することができる内容になっている。

中谷 翫古《題目踊》

中谷翫古(1868・明治元年－1937・昭和12年)は、現在の広島市中区出身。大阪に出た後、鈴木雷齋に洋画を学ぶとともに、彫刻は父親である人形師・中谷省古(なかたにせいこ)に学んだ。省古の門人には平櫛田中らがいた。1891年日本美術協会で褒状一等を受け、以降、日本美術協会、東京彫工会で受賞を重ねた。宮内省の買い上げ作品も多い。1920年第二回帝展で初入選。以降、帝展へ出品を続けた。「題目踊り」とは、「何妙法蓮華経」の題目を唱えながら、太鼓に合わせて踊る伝統的な踊り。14世紀に始まり、現在も京都市左京区の湧泉寺等に伝わる。翫古は、本作に見られるように彩色による女性風俗像を得意とした。はじめ油土で原型をつくり、木に彫った後、自ら顔料で彩色を行った。

上田 直次《杉本五郎像》

上田直次(1880・明治13年－1953・昭和28年)は、広島県賀茂郡川尻村(現在の呉市)に生まれる。父親は、郷里で第一人者といわれた宮大工上田治作。長男・薫、次男・繁直ともに彫刻家。27歳の時に単身で上京、明治44(1911)年第5回文展に初入選、以降、文展・帝展で活躍した。旧広島藩第12代藩主浅野長勲(1842-1937)に認められ、田中義一内閣や岡田内閣で逓信大臣などを務めた広島出身の望月圭介(1867-1941)の庇護を受けた。終戦後は郷里に戻り、第1回～第4回広島県美術展彫刻部門の審査員を務めた。当館では《豊太閣像》(石膏)を1点所蔵する。杉本五郎(1900－1937)は、日中戦争で戦死した広島の歩兵第11連隊第2中隊長少佐(死後中佐)。広島県安佐郡三篠町(現在の広島市西区)に生まれた。出征前、9年間にわたり三原市にある臨濟宗大本山佛通寺に通うなど、禅の教義に傾倒。杉本の思想やふるまいが記された手紙をもとに死後出版された『大義』はベストセラーとなった。山岡荘八『軍神杉本中佐』、城山三郎『大義の末』等でも知られる。作品は、杉本の精神に深く感銘した広島の高志家の出資をもとに、1938年歩兵第11連隊正門脇(現在の広島市中区基町)に設置された。戦時、金属供出されたと思われていたが、第二次大戦後、原爆で焼け残った宇品の船舶司令部の倉庫で発見され、杉本の親族の邸内に置かれたという。上田直次の第4回第三部会への出品作は、この石膏像と思われる。

Ⅷ 美術品等の貸出し

種別	作者名など	作品名	貸出先	目的(展覧会名)	会期・場所
油彩画	ルネ・マグリット	人間嫌いだち	独立行政法人国立美術館 国立新美術館 京都市美術館 読売新聞東京本社	ルネ・マグリット	27.03.25～06.29(国立新美術館) 27.07.11～10.12(京都市美術館)
金工 漆工	清水 南山 六角 紫水 六角 紫水	波に龍文水瓶 花を弄ぶ人 婦人用二重文箱 国宝當麻寺蔵 俱利伽羅龍蒔絵経箱(模写)	奈良県立美術館	奈良礼賛 ～岡倉天心、フェノロサが愛した近代美術と奈良の美～	27.04.11～05.24(奈良県立美術館)
版画 平面造形	サルバドール・ダリ マン・レイ マン・レイ	マルドロールの歌(No1～30) サルバドール・ダリ シュルレアリスム展におけるサルバドール・ダリのオブジェ	公益財団法人諸橋近代美術館	アメリカが愛したダリ	27.04.20～06.28(諸橋近代美術館) ※展示は、3作品とも半期
日本画	児玉 希望	景清	井原市立田中美術館	平家物語を描く - 近代によみがえった古典 -	27.04.27～05.31(井原市立田中美術館)
日本画	速水 御舟	山茶花	世田谷美術館	速水御舟とその周辺	27.05.02～07.05(世田谷美術館) ※展示は、半期
水彩画	パウル・クレー	ある音楽家のための楽譜	宇都宮美術館 兵庫県立美術館 読売新聞東京本社 美術館連絡協議会	パウル・クレー だれにもないしょ。	27.07.05～09.06(宇都宮美術館) 27.09.19～11.23(兵庫県立美術館) ※展示は、各会場とも半期
水彩画 漆工	南 薫造 六角 紫水 六角 紫水	小憩 刀筆文線の行通ひ香盆(双鳥之図丸盆) 銀嵌刀筆天部奏楽の図飾箱	神奈川県立近代美術館 新潟県立万代島美術館 岐阜県美術館 北海道立近代美術館 都城市立美術館 福岡アジア美術館 読売新聞東京本社 美術館連絡協議会	日韓近代美術家の眼 - 『朝鮮』で描く -	27.07.09～08.23(岐阜県美術館) 27.09.01～10.12(北海道近代美術館) 27.10.23～12.06(都城市立美術館) 27.12.17～02.02(福岡アジア美術館) ※《小憩》(半期)、《刀筆文線の行通ひ香盆(双鳥之図丸盆)》の展示は、岐阜・北海道会場のみ ※《銀嵌刀筆天部奏楽の図飾箱》は、宮崎・福岡会場のみ
日本画 油彩画	丸木 位里 鬨 光 桂 ゆき	柳暗 海春	三重県立美術館	20世紀日本美術再見 1940年代	27.07.11～09.27(三重県立美術館) ※《柳暗》の展示は、半期
油彩画	桂 ゆき	土	東京都美術館 大阪市立美術館 石橋財団石橋美術館 公益社団法人二科会 産経新聞大阪本社	二科100年展	27.07.18～09.06(東京都美術館) 27.09.12～11.01(大阪市立美術館) 27.11.07～12.27(石橋美術館 [久留米])
日本画	宮川 啓五	太田川	公益財団法人廿日市市文化スポーツ振興事業団	宮川啓五展 - ヒロシマの記憶 -	27.07.31～08.30(はつかいち美術ギャラリー)
染織	森口 邦彦 森口 邦彦	友禅着物 「溪流」 友禅訪問着 「光波」	公益財団法人岡田茂吉美術文化財団 MOA美術館	平松礼二・森口邦彦展	27.09.04～10.13(MOA美術館)
油彩画	鬨 光 鬨 光	魚(ひもの) 静物(柿)	公益財団法人蘭島文化振興財団	鬨光とゆかりの画家たち	27.09.19～11.16(蘭島閣美術館)

種別	作者名など	作品名	貸出先	目的(展覧会名)	会期・場所
日本画 油彩画 水彩画 素描 版画 平面造形 鑄造 絵画資料	浜崎左 髪子 平山 郁夫 丸木 位里 宮川 啓五 巖 光 アルカンダー・カノット 入野 忠芳 入野 忠芳 入野 忠芳 大木 茂 神田 周三 寺田 政明 名井 万亀 藤田 嗣治 ベン・シャーン 松本 竣介 宮崎 進 ライトネル・ファインガー ヘンリー・ムーア ガザール・メラヴィチ ガザール・メラヴィチ ジョアン・ミロ ジョージ・グロス パウル・クレー パウル・クレー パブロ・ピカソ パブロ・ピカソ パブロ・ピカソ パブロ・ピカソ パブロ・ピカソ パブロ・ピカソ パブロ・ピカソ マックス・エルンスト マックス・ベックマン 片岡 脩 クルト・シュヴァイツァース 芥川 永 芥川 永 芥川 永 ジャン(ハンス)・アルプ ライトネル・ファインガー	広島夕景 広島生変図 竹林 太田川 帽子をかむる自画像 静物 浮遊 原爆ドームの内壁 不確かな行方ー待つー赤 壁C・ドームの中 被爆後風景 さかな(悲哀) 地獄の港 婦人像(リオ) 強制収容所 車庫近く さいはて 海辺の夕暮 テイルベリー・シェルター アロギズム(1つの正方形、2つの長方形、2つの円、2つの円錐) シュプレマティスムの素描(2つの正方形) スペインを救え 群盗 お金を数える老人 何で走っているのだろう フランコの夢と嘘(Iの第1刷) フランコの夢と嘘(Iの第2刷) フランコの夢と嘘(IIの第1刷) フランコの夢と嘘(IIの第2刷) フランコの夢と嘘(IIの第3刷) フランコの夢と嘘(IIの第4刷) フランコの夢と嘘(IIの第5刷) 流行に栄あれ、芸術よ墜ちろ ヤールマルクト LOVE PEACE メルツ394、ピナコテーク 太田川(近くの声/太田川1) 水のむ子(水/太田川4) もどれない風(太田川2) 目覚め バウハウス宣言書表紙	長崎県美術館	広島・長崎 被爆70周年 戦争と平和展	27.09.20~10.25(長崎県美術館) ※《竹林》、《太田川》、《群盗》、 《フランコの夢と嘘》7点、 《流行に栄あれ、芸術よ墜ちろ》、 《ヤールマルクト》、《バウハウス宣言書表紙》の展示は、半期
日本画	岡 岷山 ほか	諸家書画帖	広島県立歴史博物館	没後160年記念 頼山陽を愛した女流画人 平田玉蘊展	27.10.09~11.23(広島県立歴史博物館)
日本画	不 詳	巖島図	広島市現代美術館	被爆70周年：ヒロシマを見つめる三部作 第二部 俯瞰の世界図	27.10.10~12.06(広島市現代美術館)
日本画	猪原 大華 猪原 大華	果樹 月	公益財団法人タカヤ文化財団 華鶴大塚美術館	-自然と語らう- 猪原大華展	27.10.24~11.29(華鶴大塚美術館)
日本画	横山 大観	井筒	川越市立美術館	この絵、私がつけてました。 - 収集家・安齊羊造と近代日本画家との愉快な交流 -	28.02.26~03.21(川越市立美術館)
日本画 水彩画 油彩画	田中 頼璋 和高 節二 南 薫 造 南 薫 造 南 薫 造	庭園 村の子供 うしろむき ピアノ 小童	島根県立石見美術館 神戸ファッション美術館 東京都庭園美術館 読売新聞東京本社事業局 美術館連絡協議会	子どもとファッション展	28.02.27~04.11(島根県立石見美術館) 28.04.23~06.05(神戸ファッション美術館) 28.07.16~08.31(東京都庭園美術館) ※《庭園》、《村の子供》、《うしろむき》の展示は、島根会場のみ

Ⅸ 関係法規

広島県立美術館条例

(昭和43年3月26日)
広島県条例第20号

全部改正 平成8年条例第16号

最終改正 平成28年3月22日

(設置)

第1条 美術に関する県民の知識及び教養の向上に資するため、博物館法(昭和26年法律第285号)第18条の規定に基づき、広島県立美術館(以下「美術館」という。)を設置する。

(位置)

第2条 美術館の位置は、広島市中区上鞆町とする。

(業務)

第3条 美術館は、次の業務を行う。

- (1) 美術品等を収集し、保管し、又は展示して、県民の利用に供すること。
- (2) 美術品等の展示施設(以下「展示施設」という。)その他の美術館の施設を美術品等の展示等のための利用に供すること。
- (3) 美術品等に関する専門的及び技術的な調査研究を行うこと。
- (4) その他県民の美術に関する知識、教養、調査研究等に資するために必要な事業を行うこと。

(職員)

第4条 美術館に、館長その他必要な職員を置く。

2 館長は、前条第1号及び第3号に掲げる業務並びに同条第2号及び第4号に掲げる業務のうち次条第2項第1号に掲げる業務を除いたものを掌理し、所属職員を指揮監督する。

(指定管理者による管理)

第5条 美術館の管理は、広島県公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例(平成16年広島県条例第28号)の定めるところにより、教育委員会が指定した法人その他の団体(以下「指定管理者」という。)に行わせるものとする。

2 指定管理者が行う業務の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 第三条第二号及び第四号に掲げる業務のうち教育委員会規則で定めるものを行うこと。
- (2) 美術館の展示施設及び講堂(以下「展示施設等」という。)並びに駐車場の利用の許可に関すること。
- (3) 展示施設等及び駐車場その他の美術館の施設並びに附属設備の維持及び修繕に関すること。
- (4) 美術館が所蔵する美術品等の展示(以下「所蔵作品展」という。)の観覧並びに展示施設等及び駐車場の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)の収受に関すること。
- (5) 教育委員会が単独で開催する所蔵作品展以外の展示(以下「特別展」という。)の観覧に係る入館料(以下「入館料」という。)の徴収に関すること。
- (6) その他教育委員会が別に定める業務を行うこと。

(開館時間等)

第6条 美術館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、金曜日は、午後7時まで開館時間を延長する。

2 講堂及び駐車場の利用時間は、次のとおりとする。

- (1) 講堂 午前9時から午後9時まで
- (2) 駐車場 午前9時から午後9時15分まで

3 前2項の規定にかかわらず、教育委員会又は指定管理者は、特に必要があると認めるときは、第1項の開館時間又は前項の利用時間を変更することができる。この場合においては、指定管理者は、あらかじめ教育委員会の承認を得なければならない。

(休館日等)

第7条 美術館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。)に規定する休日に当たる場合を除く。)
- (2) 12月25日から翌年の1月1日までの日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会又は指定管理者は、特に必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。この場合においては、指定管理者は、あらかじめ教育委員会の承認を得なければならない。

(利用の許可)

第8条 展示施設等及び駐車場を利用しようとする者は、教育委員会規則及び指定管理者の定めるところにより、指定管理者の許可を受けなければならない。

2 指定管理者は、前項の許可(以下「利用許可」という。)をする場合においては、美術館の管理上必要な限度において条件を付することができる。

(利用許可の制限)

第9条 指定管理者は、展示施設等及び駐車場の利用の目的又は方法が、次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可をしてはならない。

- (1) 公益を害し、又は風俗を乱すおそれがあると認められるとき、その他住民の福祉を増進する目的に照らし適当でないと認められるとき。
- (2) 展示施設等及び駐車場並びに附属設備を損傷するおそれがあると認められるとき。
- (3) 集団的に又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。
- (4) その他美術館の管理及び運営上支障があると認められるとき。

(展示施設等の利用期間)

第10条 展示施設等の利用期間は、引き続き7日を超えることはできない。ただし、指定管理者が必要と認めるときは、この限りでない。

(入館料の納付等)

第11条 美術館の特別展を観覧する者は、1人1回2,090円以内で知事が定める入館料を納付しなければならない。

- 2 入館料は、知事が別に定める場合を除き、前納とする。
- 3 既納の入館料は、返還しない。

(利用料金の納付等)

第12条 美術館の所蔵作品展を観覧する者並びに展示施設等及び駐車場を利用する者は、指定管理者が別表第1から別表第3までに定める金額の範囲内で教育委員会の承認を受けて定める利用料金を納付しなければならない。

- 2 所蔵作品展に係る利用料金は、教育委員会が別に定める場合を除き、前納とする。
- 3 展示施設等及び駐車場に係る利用料金は、教育委員会が別に定める場合を除き、利用許可を受ける際に納付しなければならない。
- 4 既納の利用料金は、返還しない。ただし、利用許可を受けた者がその責めに帰することができない理由により利用できない場合その他教育委員会が別に定める場合には、指定管理者は、利用料金の全部又は一部を返還することができる。

(入館料の減免)

第13条 知事は、次の各号のいずれかに該当する者が特別展を観覧するときは、入館料を減免することができる。

- (1) 祝日法第2条に規定するに規定するこどもの日に入館する小学校の児童、中学校の生徒又はこれらに準ずる者
- (2) 祝日法第2条に規定する文化の日に入館する者
- (3) ひろしま教育の日を定める条例(平成13年広島県条例第40号)第3条に規定するひろしま教育ウィークに入館する小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者
- (4) その他知事が別に定める者

(利用料金の減免)

第14条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者が所蔵作品展を観覧するときは、所蔵作品展に係る利用料金を減免することができる。

- (1) 身体障害者手帳の交付を受けている者
- (2) 戦傷病者手帳の交付を受けている者
- (3) 療育手帳の交付を受けている者
- (4) 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者
- (5) 65歳以上の者
- (6) 県内の大学又はこれに準ずる学校に在学する外国人留学生
- (7) 小学校、中学校、高等学校又はこれらに準ずる学校の校長が学校教育活動であることを証明した場合の小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者の引率者
- (8) 祝日法第2条に規定するみどりの日又は文化の日に入館する者
- (9) 特別展と併せて観覧する者
- (10) その他教育委員会が別に定める者

2 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、展示施設等の利用料金を減免することができる。

- (1) 教育委員会が、主催する事業のために展示施設等を利用するとき。
- (2) 前項第1号から第4号までに掲げる者(以下「身体障害者等」という。)又は身体障害者等が主体となつて構成する団体が、美術活動として展示施設等を利用するとき。
- (3) 国又は地方公共団体が、身体障害者等の美術の振興を図る行事のために展示施設等を利用するとき。
- (4) 社会福祉事業を推進する団体が当該団体の設立の目的のために利用するとき。

(5) 幼保連携型認定こども園又は幼稚園、小学校、中学校若しくはこれらに準ずる学校の校長(幼保連携型認定こども園及び幼稚園にあつては、園長)が学校教育活動であることを証明した場合において、当該幼保連携型認定こども園の幼児又は当該幼稚園の幼児、当該小学校の児童、当該中学校の生徒若しくはこれらに準ずる者が利用するとき。

(6) その他教育委員会が別に定める場合

3 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、駐車場の利用料金を減免することができる。

(1) 教育委員会が、主催する事業のために駐車場を利用するとき。

(2) 身体障害者等が、自ら車両を運転し、又は介護者の運転する車両に同乗して駐車場を利用するとき。

(利用料金の収入)

第15条 第12条第1項の規定により所蔵作品展を観覧する者並びに展示施設等及び駐車場を利用する者が納付する利用料金は、指定管理者の収入とする。

(利用許可の取消し等)

第16条 指定管理者は、利用許可を受けた者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可の全部若しくは一部を取り消し、利用の方法を制限し、又は利用の停止を命じることができる。

(1) 許可された利用目的以外に展示施設等を利用したとき。

(2) 第九条各号のいずれかに該当するに至つたとき。

(3) 偽りその他不正な手段により利用許可を受けたとき。

(4) この条例若しくはこの条例に基づく教育委員会規則の規定又は第8条第2項の規定により付された条件に違反したとき。

(5) 利用許可に基づく権利を譲渡し、又は他人に利用させたとき。

2 前項の規定により利用許可を取り消し、利用の方法を制限し、又は利用の停止を命じたことによつて、利用許可を受けた者に損失が生じることがあつても、県又は指定管理者は、これに対して補償する義務を負わない。

(遵守事項)

第17条 美術館においては、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 展示施設等及び駐車場その他の美術館の施設並びに附属設備をき損し、又は汚損しないこと。

(2) 展示資料、展示設備等に触れないこと。

(3) 許可を受けずに、展示資料の模写又は撮影をしないこと。

(4) 館内においては、静粛にし、他人に迷惑を掛ける行為又は他人に嫌悪の情を催させる行為をしないこと。

(5) 所定の場所以外の場所で喫煙し、又は飲食しないこと。

(6) 指定管理者の指示に従うこと。

(7) その他教育委員会が定める事項

(禁止行為)

第18条 美術館においては、次に掲げる行為をしてはならない。ただし、教育委員会の許可を受けた場合は、この限りでない。

(1) 寄附の募集

(2) 爆発物その他危険物等の持込み

(3) 行商その他これに類する行為

(4) 宣伝その他これに類する行為

(5) 広告物等の掲示若しくは配布又は看板、立札類の設置

(入館の制限等)

第19条 教育委員会又は指定管理者は、前2条の規定に違反するおそれのある者又はこれらの規定に違反した者に対して、美術館への入館を拒否し、又は美術館からの退去を命じることができる。

(原状回復義務)

第20条 展示施設等の利用者は、その利用を終了したとき(利用許可を受けた者が第16条第1項の規定により利用許可を取り消されたときを含む。)は、直ちに利用場所を原状に復し、指定管理者の検査を受けなければならない。

(損害賠償義務)

第21条 展示施設等及び駐車場その他の美術館の施設、附属設備又は展示資料等をき損し、汚損し、又は滅失した者は、これによつて生じた損害を賠償しなければならない。

(委任規定)

第22条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

1 この条例は、昭和43年4月1日から施行する。

2 第5条第1項の規定にかかわらず、別表の通常の展示の場合に係る入館料は、この条例の施行の日後において知事とその徴収を開始すべき日を定めて公示するまでの間は、これを徴収しないものとする。

附 則(平成19年3月15日条例第21号抄)

(施行期日)

1 この条例は、規則で定める日から施行する。(平成20年1月規則第2号で、平成20年4月1日から施行)

(経過措置)

3 この条例の施行前にこの条例による改正前のそれぞれの条例(これに基づく規則その他の規程を含む。)の規定によってした処分、手続その他の行為であつて、この条例による改正後のそれぞれの条例(これに基づく規則その他の規程を含む。)中相当する規定があるものは、それぞれこれらの相当する規定によってした処分、手続その他の行為とみなす。

4 この条例の施行前にこの条例による改正前のそれぞれの条例(これに基づく規則その他の規程を含む。)の規定により利用の許可を受けている者に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則(平成19年12月25日条例第56号)

この条例は、学校教育法等の一部を改正する法律(平成19年法律第96号)附則第1条本文に規定する政令で定める日から施行する。
(定める日=平成19年12月26日)

附 則(平成22年6月28日条例第31号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成23年7月11日条例第31号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成26年3月26日条例第23号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成27年3月16日条例第三号)

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成28年3月22日条例第7号)

この条例は、平成28年4月1日から施行する。

別表第1(第12条関係)

所蔵作品展の利用料金の範囲

区 分	個 人	団体(20人以上の場合とする。)	広島県縮景園との 共通券による場合
大学生及びこれに準ずる者	1人1回につき410円以内	1人1回につき320円以内	1人1回につき320円以内
その他15歳以上の者 (中学校及び高等学校の生徒を除く。)	1人1回につき670円以内	1人1回につき540円以内	1人1回につき540円以内

別表第2(第12条関係)

展示施設等の利用料金の範囲

利用区分	施設区分	第1展示室	第2展示室	第3展示室	第4展示室	第5展示室	講堂
		1時間につき	1,750円以内	2,990円以内	2,990円以内	2,990円以内	3,190円以内
入場料有料の場合	1日につき	13,380円以内	23,870円以内	23,870円以内	23,870円以内	25,310円以内	
	1時間につき	930円以内	1,550円以内	1,550円以内	1,550円以内	1,650円以内	2,470円以内
入場料無料の場合	1日につき	6,690円以内	11,940円以内	11,940円以内	11,940円以内	12,660円以内	
	電気設備を利用する場合	実費を基準として教育委員会が定める範囲とする。					

備考

- この表において「1日」とは、美術館の開館時間とする。
- 日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日における入場料有料の場合の利用料金の額は、指定管理者が定める額の2割を加算する。
- 展示物の搬入及び撤去に係る利用料金の額は、指定管理者が定める額に2分の1を乗じて得た額とする。
- 利用料金の額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。

別表第3(第12条関係)

駐車場の利用料金の範囲

駐車することができる自動車の範囲	単 位	利用料金の範囲
道路運送車両法(昭和26年法律第185号)第3条に規定する自動車のうち、普通自動車並びに2輪自動車以外の小型自動車及び軽自動車	1台につき 1時間まで 1時間を超える時間30分までごとに	410円以内 210円以内

広島県博物館協議会条例

(平成13年3月26日)
広島県条例第3号

(設置)

第1条 広島県教育委員会(以下「教育委員会」という。)に、広島県博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、広島県立美術館、広島県立歴史民俗資料館、広島県立歴史博物館の運営に関し教育委員会の諮問に応じるとともに、教育委員会に対して意見を述べる機関とする。

(組織)

第2条 協議会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、教育委員会が任命する。

(委員の任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が召集し、会長がその議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第6条 協議会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(雑則)

第7条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成13年4月1日から施行する。

(広島県立美術館協議会条例の廃止)

2 広島県立美術館協議会条例(昭和43年広島県条例第38号)は、廃止する。

広島県立美術館管理運営規則

(昭和43年4月1日)
教育委員規則第1号

最終改正 平成25年2月18日教育委員会規則第1号

(趣 旨)

第一条 この教育委員会規則は、広島県立美術館(以下「美術館」という。)の管理及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第二条 広島県立美術館条例(昭和四十三年広島県条例第二十号。以下「条例」という。)第五条第二項第一号の教育委員会規則で定める業務は、次に掲げる業務とする。

- 一 美術館の利用促進に関すること。
- 二 美術館の利用案内に関すること。
- 三 県民の美術に関する学習活動の支援に関すること。

(開館時間等の周知)

第三条 条例第六条第三項又は第七条第二項の規定により、美術館の開館時間若しくは講堂若しくは駐車場の利用時間を変更し、又は美術館の全部若しくは一部を臨時に休館し、若しくは休館日に開館する場合は、あらかじめ、その旨を美術館に掲示する等周知のために必要な措置を講じなければならない。

(展示施設等の利用の申込み等)

第四条 美術館の展示施設及び講堂(以下「展示施設等」という。)を利用しようとする者は、展示施設等利用申込書を指定管理者に提出し、条例第八条第一項の許可(以下「利用許可」という。)を受けなければならない。

2 前項の規定による利用の申込みは、次に掲げる期間内にしなければならない。ただし、特別の事情があると指定管理者が認

める場合は、この限りでない。

- 一 展示施設 利用開始日の一年前から一月前まで
- 二 講堂 利用開始日の四月前から七日前まで

(展示施設等利用許可書の交付)

第五条 指定管理者は、利用許可をしたときは、展示施設等利用許可書を申込者に交付するものとする。

2 展示施設等利用許可書は、展示施設等を利用する際必ず携帯し、係員の請求があるときは、これを提示しなければならない。

(駐車場の利用手続)

第六条 駐車場を利用しようとする者(以下「駐車場利用者」という。)は、自動車を入庫させる際、駐車券の発給を受けるものとする。この場合においては、当該発給を受けたときに利用許可を受けたものとみなす。

2 駐車場利用者が自動車を出庫させようとする際は、駐車時間に応じた利用料金を納付しなければならない。

(利用料金の周知)

第七条 指定管理者は、条例第十二条第一項の規定により教育委員会の承認を受けて利用料金を定めたときは、美術館に掲示する等周知のために必要な措置を講じなければならない。

(利用料金の返還)

第八条 条例第十二条第四項ただし書の規定により、指定管理者は、利用許可を受けた者がその責めに帰することができない理由により利用することができない場合は、当該利用料金の全額を返還する。

2 前項の規定により利用料金の返還を受けようとする者は、利用料金返還申請書に第五条第一項の展示施設等利用許可書を添えて、指定管理者に提出しなければならない。

(利用料金の減免)

第九条 条例第十四条第一項第一号から第九号まで、同条第二項第一号又は同条第三項第一号若しくは第二号に該当する場合は、利用料金(条例別表第二に規定する電気設備を利用する場合の利用料金を除く。以下本条において同じ。)を免除する。

2 条例第十四条第二項第二号又は第三号に該当する場合は、利用料金の額の二分の一に相当する額を減額する。

3 条例第十四条第二項第四号又は第五号に該当する場合は、利用料金の額の五分の一に相当する額を減額する。

4 前二項の規定により算定した減額後の利用料金の額に十円未満の端数が生じたときは、その端数を切り捨てるものとする。

(利用料金の減免の申請)

第十条 前条第一項の規定により利用料金の免除を受けようとする者のうち条例第十四条第一項第一号から第七号まで又は同条第三項第二号に該当するものは、該当することを証する書類を指定管理者に提示しなければならない。

2 前条第二項又は第三項の規定により利用料金の減額を受けようとする者は、第四条第一項の展示施設等利用申込書の提出時に併せて利用料金減額申請書を指定管理者に提出し、その承認を受けなければならない。

(補 則)

第十一条 この教育委員会規則に定めるもののほか、美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、別に定める。

(施行期日)

1 この教育委員会規則は、広島県縮景園設置及び管理条例及び広島県立美術館条例の一部を改正する条例(平成十九年広島県条例第二十一号)の施行の日から施行する。(施行の日=平成二〇年四月一日)

附 則(平成二一年三月二四日教育委員会規則第三号)

この教育委員会規則は、平成二十一年四月一日から施行する。

附 則(平成二四年四月一日教育委員会規則第七号)

この教育委員会規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成二五年二月一八日教育委員会規則第一号)

この教育委員会規則は、平成二十五年四月一日から施行する。

広島県立美術館美術品等収集評価委員会設置要領

最終改正 平成12年2月1日

(設 置)

第1条 広島県立美術館(以下「美術館」という。)に広島県立美術館美術品等収集評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(意見の聴取)

第2条 美術館長は、美術品等を収集しようとするときは、当該美術品等の収集及び評価についてあらかじめ委員会の意見を徴するものとする。但し、「文化財保護法」第27条の規定により指定された国宝・重要文化財及び「美術品の美術館における公開の促進に関する法律」第3条の規定により登録された美術品並びに広島県文化財保護条例第3条の規定により指定された広島県重要文化財はこの限りでない。

(委員の構成等)

第3条 委員会は、委員8人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから美術館長が委嘱する。

- (1) 美術館、博物館、大学、研究所等の職員
- (2) 美術評論家
- (3) その他、館長が適当と認める者

3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は再任することができる。

(臨時委員)

第4条 美術館長が審議のため必要と認めた場合は、専門的知識を持つ者を臨時委員に委嘱できる。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 委員長は、委員会の会議を総理する。

3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は(以下「会議」という。)は、必要に応じ美術館長が召集する。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、議事を開くことができない。

(守秘義務)

第7条 委員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

(庶務)

第8条 委員会に関する庶務は、美術館において行う。

(雑則)

第9条 この要領に定めるもののほか、委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、美術館長が別に定める。

附 則

この要領は、平成元年7月11日から施行する。

広島県立美術館美術品等収集基本方針

(昭和63年12月9日)

広島県立美術館の美術品等収集に関する基本方針を次のとおり定める。

- 1 本県ゆかりの作家の美術品等については、次項に準拠しつつ、各作家ごとの体系的なコレクションの形成につとめる。
- 2 次に掲げる美術品等の収集に主眼を置き、日本美術の特質を味わうことのできる体系的なコレクションの形成につとめる。
 - (1) 近・現代作家の特色ある美術作品
近代から現代にいたる絵画等の平面・立体造形作品のうち、時代の特徴と制作意図の明確な作品。
 - (2) 近代の工芸作品
わが国工芸の特色を示す陶芸、染色、漆芸、金工等のうち、主として近代以降に制作された作品。
 - (3) 近代の彫塑作品
近代以降のわが国の彫塑界で特に重要と認められる作家の作品。
 - (4) その他の美術作品
上記(1)～(3)に掲げる美術作品のほか、美術館において収蔵するにふさわしいと認められる美術工芸作品。
 - (5) 美術資料
収蔵する美術品等に関する作家並びに美術作品を理解するうえで必要な日記、書簡、下絵等の美術資料等。
 - (6) 補助的関連資料
収集する美術品等に関する調査研究及び教育普及事業に必要な視聴覚教材、図書、複製品等の補助的関連資料
- 3 その他、美術館において所蔵するにふさわしい東洋・西洋の美術品等を収集する。

広島県立美術館美術品等特別収集基本方針

(平成3年3月8日 館長決裁)

- 1 本県ゆかりの作家の作品並びに本県にゆかりのある美術品等
 - (1) 本県ゆかりの作家の作品及び美術資料
 - (2) 本県ゆかりの作家に関連する系譜的作品

- (3) 本県ゆかりの美術品等
- 2 近世から現代までの造形的に優れたわが国の美術作品及びこれらの作品を理解するために必要な外国作品
 - (1) 絵画作品
 - 1) 近世絵画の流れが理解できる作品のうち、主として花鳥画を主題とする作品及び近代日本画確立期の作品
 - 2) 油彩画等の受容と展開を示す明治・大正・昭和三代の代表的作家の作品
 - 3) 戦後における国際的評価の高い作家の作品
 - (2) 工芸作品
 - 1) 東洋的伝統を受け継ぐわが国の代表的作家又は様式の作品
 - 2) わが国と関係の深いアジア各国の工芸作品
 - 3) 近代工芸確立期（1920年代）及び戦後昂揚期（1960年代）の作品
 - 4) 収蔵作品を理解するために必要な外国作品及び特に注目される現代の工芸作品
- 3 国際的視野から特色をもった作品
 - 1920-1930年代の両大戦間を中心とする世界美術の多様性が理解できる作品
 - 1) 欧米作家等の作品
 - 2) 日本人作家の作品
- 4 近代以降の彫刻(立体)作品
 - (1) 主として戦後期に活躍した作家の作品
 - (2) “手で見る彫刻”作品
 - (3) 新館及び街区等、周囲の環境に即した作品

県立美術館特別収集重点方針

- 1 本県ゆかりの作家の作品など
 - 近代以降の美術界に大きな足跡をのこした作家の作品を中心に収集し、その系譜的作品も併せて収集する。
- 2 日本及びアジアの工芸作品など
 - わが国とアジア各国の優れた工芸作品(陶磁、染色、漆芸など)を収集する。
- 3 1920-1930年代(両大戦間)の美術作品など
 - 現代美術に先行する両大戦間美術の多様性を示す作品を世界と日本との関連で収集する。

広島県立美術館美術品等取扱要綱

(趣 旨)

第1条 広島県立美術館(以下「美術館」という。)で取り扱う美術品及び美術資料の管理、寄託、寄附及び貸付けについては、広島県物品管理規則(昭和39年規則第33号。)に定めるもののほか、この要綱の定めるところによる。

(定 義)

第2条 この要綱において「美術品等」とは、美術作品及び美術に関する資料をいう。

(管 理)

第3条 美術館で管理する美術品等については、別表の美術品等分類表により区分するとともに、別記様式第1号による備品出納簿を備え付け、その出納及び保管の状況を記録管理しなければならない。

(寄 託)

第4条 美術品等を、美術館に保管又は展示するために寄託しようとする者は、広島県立美術館長(以下「館長」という。)に別記様式第2号による美術品等寄託申請書を提出し、寄託の承認を受けなければならない。

2 館長は、前項の規定により寄託を承認した場合は、美術品等を寄託する者(以下「寄託者」という。)に対して別記様式第3号による受託証書を交付するものとする。

3 前項の規定により寄託を承認した美術品等(以下「寄託品」という。)の記録管理は、別記様式第4号による受託カードにより行うものとする。

(寄託期間)

第5条 寄託期間は3年とする。ただし、館長が特別の理由があると認めた場合は、寄託者の承諾を得て寄託期間を変更することができる。

(一時返還)

第6条 寄託者は、寄託品の一時返還を受けるときは、館長に別記様式第5号による寄託品一時返還願を提出しなければならない。

(返還の手続)

第7条 館長は、寄託者に寄託品を返還するとき、受託証書と引換えに返還するものとする。

2 寄託者の代理人が、寄託品の返還を受けようとするときは、館長に委任状その他これを証する書類を受託証書に添付して提出しなければならない。

(受託証書の記載事項変更)

第8条 寄託者は、受託証書の記載事項について、譲渡、相続その他の事情により変更があったときは、館長に記載事項の変更を証する書類を受託証書に添付して提出し、記載事項の書換えを受けなければならない。

(受託証書の再交付)

第9条 寄託者は、受託証書を破り、汚し、又は失ったときは、館長に別記様式第6号による受託証書再交付申請書を提出して、受託証書の再交付を受けなければならない。

(寄託品の保管)

第10条 館長は、寄託品を常に良好な状態で保管しなければならない。

(寄託品の修繕)

第11条 館長は、寄託品に修繕をする必要を認めるときは、寄託者に対して適正な指示を行うことができる。

(寄 附)

第12条 美術品等を、美術館に保管又は展示するために寄附をしようとする者は、館長に別記様式第7号による寄附申込書を提出しなければならない。

2 館長は、前項の規定により寄附申込書の提出があったときは、寄附を受けることについて適否を決定し、美術品等を寄附しようとする者に対して適否を通知するものとする。

(貸付け)

第13条 館長は、美術館の事業に支障を及ぼさないと認めるときは、美術品等を他の美術館又はこれに準ずる施設に無償で貸し付けることができる。

2 美術品等を、前項の規定により貸付けを受けようとする者は、館長に別記様式第8号による美術品等借受願願又は別記様式第8号に準じた書面を提出しなければならない。ただし、貸付けを受けようとする美術品等が寄託品である場合は、寄託者の承諾書を美術品等借受願に添付するものとする。

3 館長は、第1項の規定により美術品等の貸し付けを決定したときは、貸付けを受けようとする者に対して貸し付けの通知をするものとする。

(借用書の提出)

第14条 前条第3項の規定により通知を受けた者は、館長に別記様式第9号による借用書又は別記様式第9号に準じた書面を提出しなければならない。

(貸付け期間)

第15条 貸付け期間は60日以内とする。ただし、館長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(貸付けの条件)

第16条 第13条第1項の規定により美術品等を貸し付ける場合の条件は、次の各号に定めるとおりとする。

- (1) 貸付けを受けた者(以下「借用者」という。)は、貸し付けを受けた美術品等(以下「借用美術品等」という。)を転貸し、又は貸し付けにより生じた権利を担保に供し、若しくは譲渡してはならない。
- (2) 借用者は、借用美術品等を常に良好な状態で保管しなければならない。
- (3) 借用者は、借用美術品等を失い、又は傷付けたときは、直ちにその損害を賠償しなければならない。
- (4) 美術品等の貸付けに必要な経費は、借用者が負担するものとする。
- (5) 館長は、前各号に定めるもののほか、美術品等の貸し付けに必要な条件を付することができる。

(報告義務)

第17条 館長は、第12条第2項の規定により美術品等の寄附受納を決定した場合及び第13条第3項の規定により美術品等の貸付けを決定した場合は、速やかに広島県環境県民局長(以下「局長」という。)に報告しなければならない。

(補 則)

第18条 館長は、前各条に規定する事務のうち、重要及び異例若しくは疑義のある事項については、あらかじめ局長に報告し、局長は広島県教育委員会に協議をして、その承認を受けなければならない。

附 則

この要綱は、昭和58年7月1日から施行する。

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

広島県立美術館展示施設等運営要領

(平成8年7月24日 館長決裁)

この要領は、広島県立美術館管理運営規則(昭和43年4月1日教育委員会規則第1号)に基づき美術館の展示施設及び講堂の適正かつ効果的な運営を図るため、利用の形態及び許可の基準その他の必要な事項を定めるものとする。

1 利用形態

① 常設展示室(2階)

第1から第4展示室及び彫刻展示スペースは、所蔵作品による常設展示を行う。

② 企画展示室(3階)

北、東、西及び展示前室は、美術館が企画・主催し又は共催する展覧会事業に使用する。ただし、美術館が共催する展覧会は、国若しくは地方公共団体(その機関を含む。)又は公共性の高い機関が企画・主催する事業で、美術館が共催するにふさわしい、開催意義の高い事業に限る。

なお、これらの展覧会を実施しても、なお、空室が生じる場合は、「広島県教育委員会の共催・後援・協賛に関する基準について(昭和54年3月29日)」に基づき共催・後援に該当する展覧会に限り使用することができる。

③ 県民ギャラリー(地階)

条例第1条により、団体又は個人が美術に関する事業を目的として利用する場合に、これを許可する。

④ 講堂兼ハイビジョンギャラリー(地階)

通常はハイビジョンギャラリーとして入館者が自由に鑑賞できるように毎日一定時間使用する。また、団体又は個人が芸術に関する県民の知識及び教養の向上に資する目的で講演会などの催しのために利用する場合には、美術館が企画・主催する事業に支障のない範囲内でこれを許可する。

⑤ 図書館(1階)

美術に関する図書及び参考図書を公開し、利用者に提供する。また、室内にハイビジョン・データ・ブースを設置し、美術館の所蔵品に関するデータベースを提供して利用者の学習の便を図る。

⑥ 情報ギャラリー(1階)

ポスター、パンフレットなど、さまざまな広報媒体を掲示して、利用者に情報を提供するとともに、時機に応じて比較的小規模の企画展示を行う。また、一部にハイビジョン・ブースを設置し、美術館の所蔵品に関するオリジナル番組を提供して、利用者の作品理解の一助とする。

2 利用の申込み

県民ギャラリーの利用の申込みは、原則として年度を前・後期に分け、前期については、前年度の9月1日から9月30日まで、後期については、前年度の3月1日から3月31日までの間に受け付けるものとする。

講堂の利用の申込みは、利用日の2ヶ月前から随時行うものとする。

3 利用の期間及び回数

県民ギャラリーの利用期間は原則2週間をこえないこととし、利用回数は同一の団体又は個人につき原則年1回とする。

広島県立美術館評価委員会設置要項

(設置)

第1条 広島県立美術館(以下「美術館」という。)の業務の実績を評価し改善策を提示するとともに、美術館運営に関して助言を行うため、美術館に広島県立美術館評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(組織)

第2条 委員会は、委員8名をもって組織する。

2 委員は、美術館の運営及び事業に関係する分野に見識を有する者のうちから、美術館長が委嘱する。

3 委員の任期は、2年間とする。ただし再任を妨げない。

4 委員に欠員が生じた場合は、美術館長は新たに委員を委嘱することができる。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第3条 委員会に委員長を置く。

2 委員長は、美術館長が指名する委員をもって充てる。

3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

(会議)

第4条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員会の会議は、委員の半数以上の出席を必要とする。

3 委員会は次の事項について審議する。

- (1) 美術館の評価方法に関する事
- (2) 美術館の事業計画の評価に関する事
- (3) 美術館の事業実績の評価に関する事
- (4) その他、美術館運営に関する助言・指導に関する事

4 委員長が必要と認めるときは、会議に必要な経験・知識を有する者を招き、意見を聴取することができる。

(庶務)

第5条 委員会の庶務は、美術館において行う。

(その他の事項)

第6条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に際し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

(施行期日)

この要綱は、平成23年6月29日から施行する。

X 名 簿

美術品等収集評価委員会

委員長	白石和己	山梨県立美術館長
委員	井関和代	大阪芸術大学芸術学部教授
〃	島田康寛	神戸市立小磯記念美術館長
〃	菅村亨	広島大学大学院教育学研究科教授
〃	中林和雄	独立行政法人国立美術館東京国立近代美術館企画課長
〃	谷新	宇都宮美術館長
〃	山梨俊夫	国立国際美術館長

広島県立美術館評価委員会委員

委員長	蓑豊	兵庫県立美術館長
委員	大小田博之	(株)JTB中国四国代表取締役社長
〃	河野高信	己斐商事(株)代表取締役
〃	柴川敏之	美術作家・就実短期大学教授
〃	竹内泰彦	広島県立美術館友の会会長
〃	永野正雄	(株)テレビ新広島代表取締役会長
〃	水沢勉	神奈川県立近代美術館長
〃	山下治子	雑誌ミュゼ編集長

職員

館長	千足伸行
副館長兼 学芸課長	前田恭正
総務課長	下瀬浩三
専門員	三浦緑
専門員	寶諸亜希子
主任	小寺康弘
学芸統括 マネージャー	向田裕始
主任学芸員	宮本真希子
〃	角田新
〃	福田浩子
〃	石川哲子
〃	藤崎綾
学芸員	山下寿水
〃	隅川明宏

平成27年度

広島県立美術館年報

平成28年12月22日発行

発行者 **広島県立美術館**
〒730-0014 広島市中区上幟町2-22
電話 (082) 221-6246

印刷所 株式会社 タクトープリントメディア
〒730-0052 広島市中区千田町3丁目2-30
電話 (082) 244-1110

(人名については、敬称略)